

TOTO

施工説明書

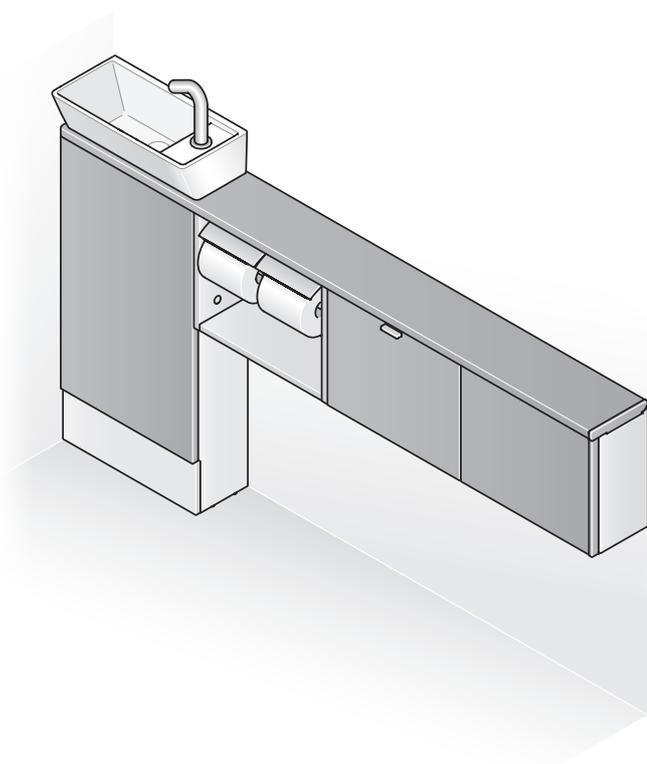
レストルームドレッサー コンフォートシリーズ

単体キャビネット (ULR B)
 カウンターキャビネット (ULR C/D/E)
 ハーフキャビネット (ULR F/G)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
 本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



商品の確認 2~5

- | | |
|-------------|---|
| 1. 商品タイプの確認 | 2 |
| 2. 商品の構成 | 3 |
| 3. 施工ダイジェスト | 4 |

情報編 7~22

- | | |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 8 |
| 2. 取付前のご注意 | 10 |
| 3. 部品の確認 | 17 |

手順編 23~74

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
 お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。



商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

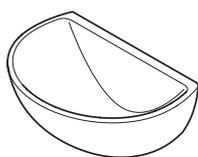
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器

※手洗器ありの場合のみ

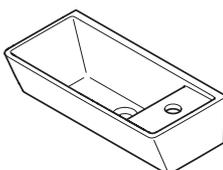
ベッセルタイプ(丸形)

品番：ULR*3～



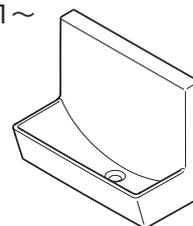
ベッセルタイプ(角形)

品番：ULR*2～



ハイバックタイプ

品番：ULR*1～



水栓金具

※手洗器ありの場合のみ

自動水栓

ハンドル式水栓

ベッセルタイプ(丸形)

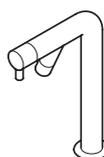
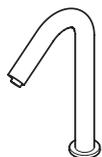
ベッセルタイプ(角形)

ハイバックタイプ

ベッセルタイプ(丸形)

ベッセルタイプ(角形)

ハイバックタイプ



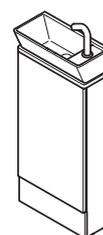
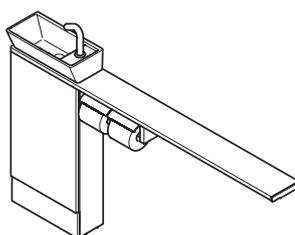
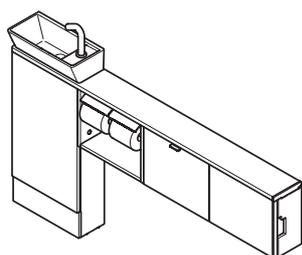
キャビネットタイプ

※図はベッセルタイプ(角形)の場合

ハーフキャビネット

カウンターキャビネット

単体キャビネット



手洗器位置

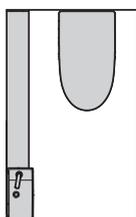
※図はベッセルタイプ(角形)の場合

側面設置

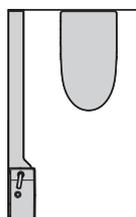
左勝手

右勝手

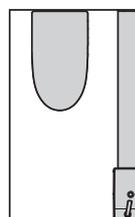
Mサイズ



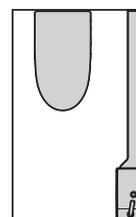
Sサイズ



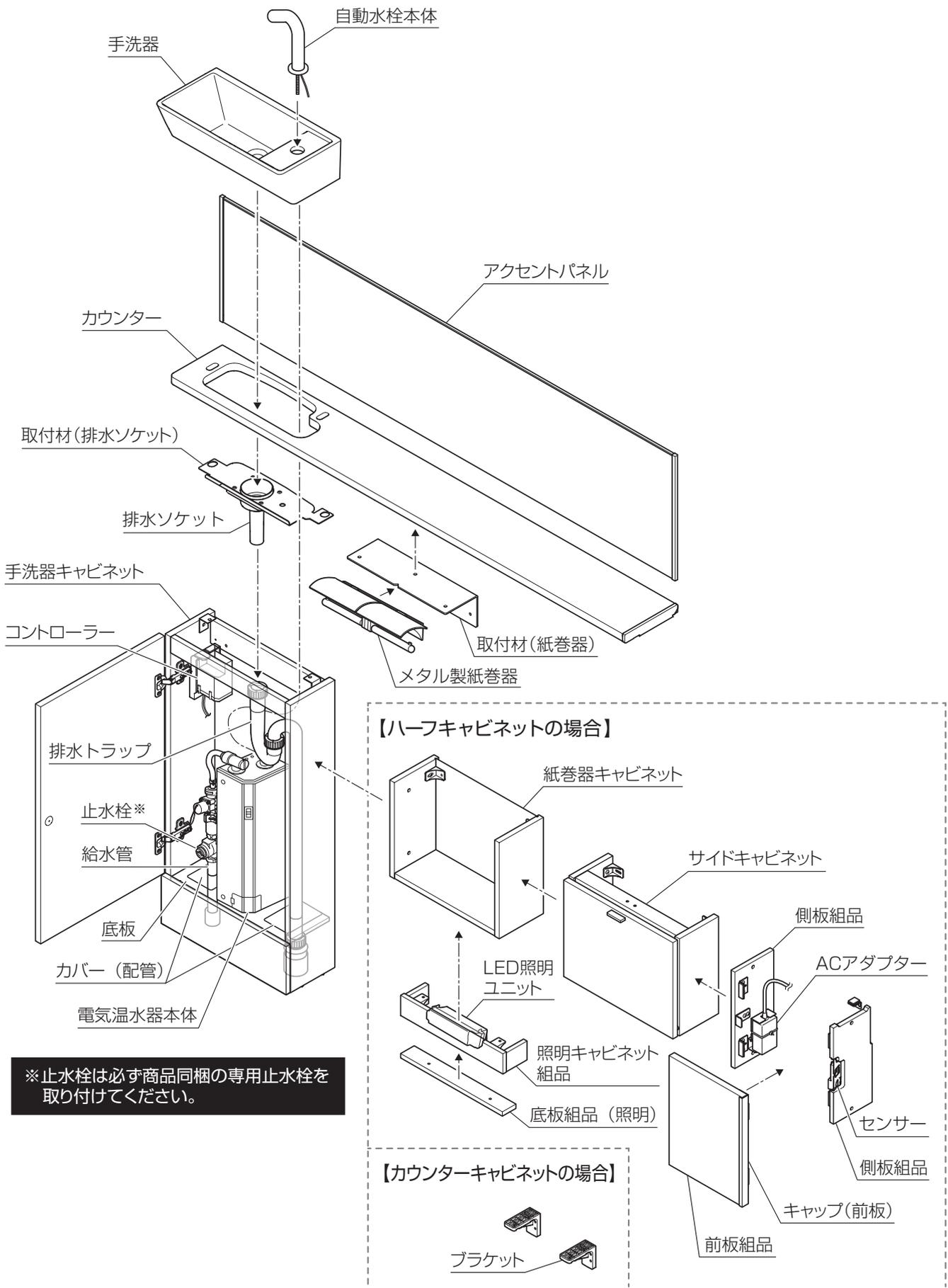
Mサイズ



Sサイズ



商品の構成



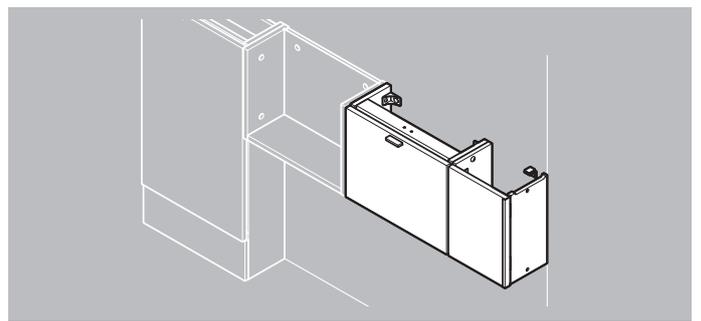
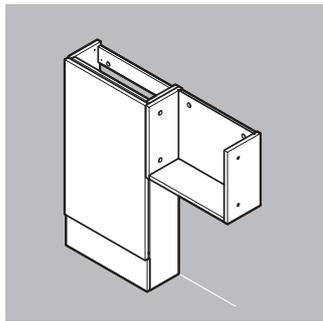
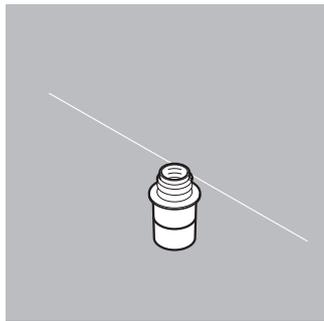
※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

※図は左勝手 ベッセルタイプ(角形) / 自動水栓 / 床給水・床排水 / カウンターキャビネット / Mサイズ / メタル製紙巻器の場合

施工ダイジェスト

施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。

施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。



0. 施工前の準備

▶ 本編 P.24

1. 排水ソケット

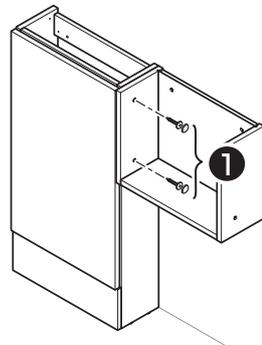
[VU40]



[VP40]



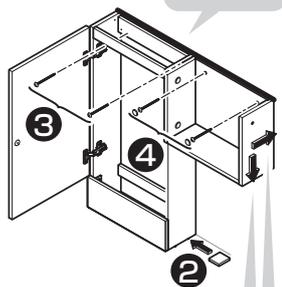
2. 手洗器キャビネット 紙巻器キャビネット フロア収納キャビネット



手締め

十字穴付低頭タッピンねじ
(4.5×25) (2本) キャップ付

水平確認



押し当てる

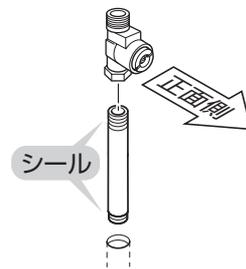
けがき→下穴φ3

③ 十字穴付トラスタッピンねじ
(4×50) (2本)

けがき→下穴φ3

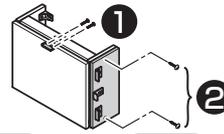
④ 十字穴付低頭タッピンねじ
(4.5×50) (2本) キャップ付

3. 止水栓



4. サイドキャビネット・間口調整フィラー

1. サイドキャビネット



手締め

① 十字穴付
トラス小ねじ
(M3×20) (2本)

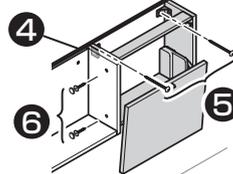
手締め

② 十字穴付トラス
タッピンねじ
(4×20) (2本)

③

けがき→下穴φ3

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×50) (4本)



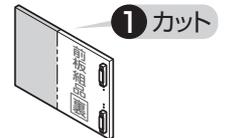
けがき→下穴φ3

⑤ 十字穴付トラスタッピンねじ
(4.5×50) (2本)

手締め

⑥ 十字穴付低頭タッピンねじ
(4.5×25) (2本) キャップ付

2. 間口調整フィラー



手締め

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12) (2本)



手締め

③ 十字穴付トラスタッピンねじ
(4×20) (4本)

④ 十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12) (2本)

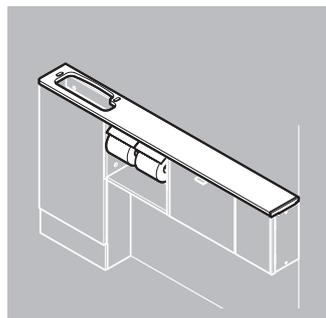
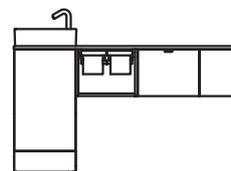


5. 足元照明 ★

▶ 本編 P.35

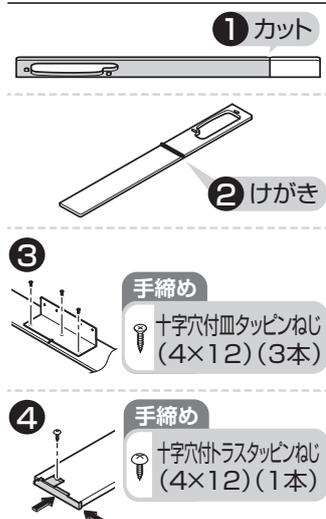
下記仕様の施工ダイジェストです。「★」の工程は下記仕様の施工には不要です。

タイプ	ハーフキャビネット	給排水位置	床給水・床排水
手洗器	ベッセルタイプ(角形)	紙巻器	メタル製
水栓金具	自動水栓・一般地	アクセントパネル	なし



6. カウンター

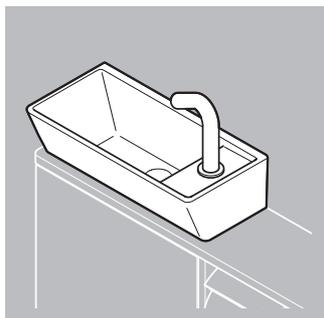
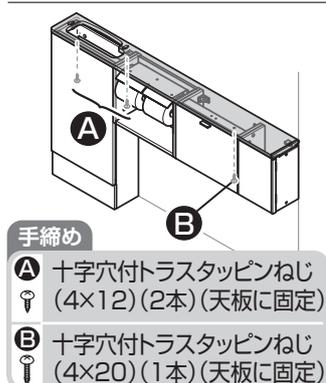
1. カウンター(加工)



2. キャビネット(加工)



3. カウンター



7. アクセントパネル ★

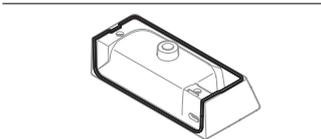
▶ 本編 P.48

8. 手洗器・水栓金具

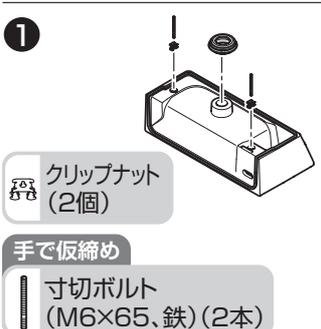
1. 排水ソケット



2. クッション材



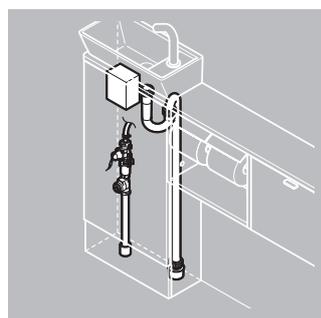
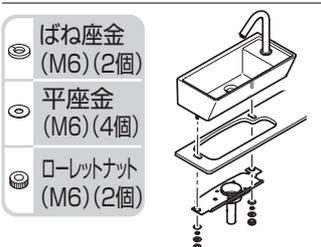
3. 手洗器・パッキン



4. 水栓金具

▶ 参照 自動水栓施工説明書

5. 手洗器

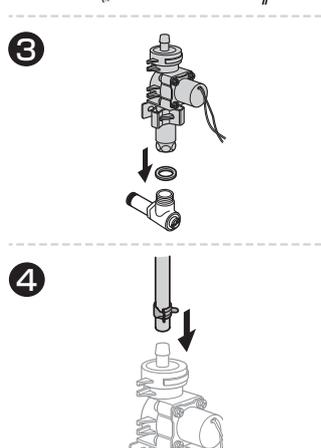
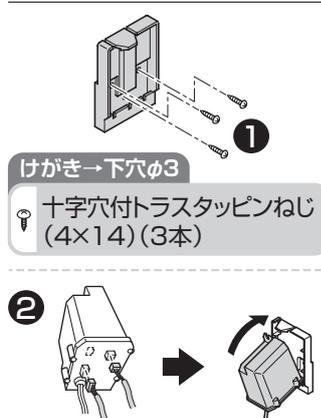


9. フレキホースコントローラー

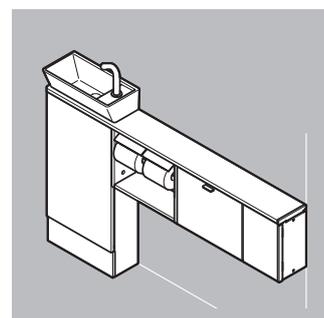
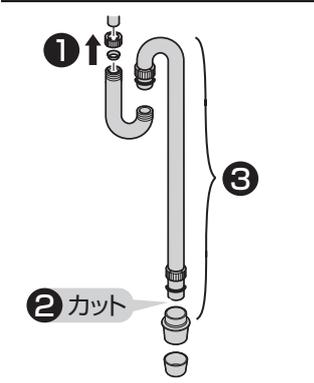
1. フレキホース ★

▶ 本編 P.60

2. コントローラー固定材



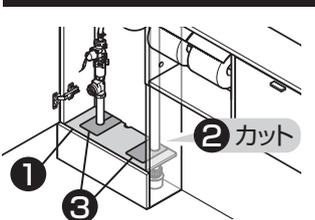
10. 排水トラップ



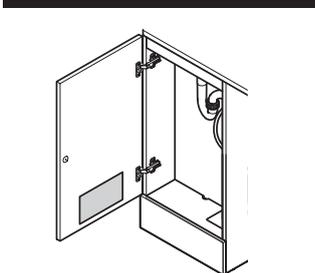
11. 試運転・確認

▶ 本編 P.65

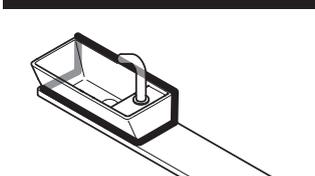
12. カバー(配管)



13. ラベル



14. シリコン系シーラント



15. ハンドソープ置き ★

▶ 本編 P.74

MEMO

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 8

2. 取付前のご注意 ▶ 10

取付前の確認	10
1 設置寸法	10
2 給排水位置	12
3 補強材位置	13
4 電気工事	13
5 コンセント位置	14
6 幅木	15
7 窓枠	16
8 必要工具	16

3. 部品の確認 ▶ 17

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害 ※の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	修理技術者以外の方は分解したり、修理・改造はしない 本記載の内容は、除きます。火災、感電、破損によるけが・重大事故、止水・吐水不良などの不具合により、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、スイッチやコンセント部分、電源プラグに触れない 感電の原因となります。
	 水場使用禁止		浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因となります。商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれがあります。
 警告	 禁止	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因となります。
		給水および排水管の真下部にコンセントを設置したり、フレキホースとコンセントを接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
		ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれがあります。
 アース接地	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外には使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	
 必ず守る	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがのおそれがあります。	取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。	
	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる 商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
	商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないことを確認する 商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	

 警告	 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	手洗器クッション材の張り付けおよび必要箇所へのシリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実にを行う 水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。
		電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く 電源プラグ・コードの傷みによる火災や感電の原因となります。	接着剤・両面テープは、容器など記載の注意事項に従い、正しく使用する 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。
		コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	

 禁止	カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがのおそれがあります。	
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがをするおそれがあります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	
	フレキホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	電源コードは指定された機器以外に使用しない 機器故障の原因となります。
	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしないよう十分注意する 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	※ 止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	凍結による破損の予防を行う 凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	凍結のおそれがある地域では、配管部材などに保温材を巻く また寒冷地用の場合は水抜きを行う 自動水栓は、自動水栓施工説明書内「寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入して家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがのおそれがあります。
	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手などを使用する 取付時にけがのおそれがあります。
	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	切削などの加工時は、防護マスクなどの安全防具を使用する けがのおそれがあります。
	水準器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがのおそれがあります。	パネル取扱い時は手袋を使用する けがのおそれがあります。
工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	粉塵は電気掃除機で清掃の上、掃除機に収集された粉塵をビニール袋に回収密閉して破棄する アクセントパネル本体や角に過度の衝撃を与えない 割れてけがのおそれがあります。	

2.取付前のご注意

取付前の確認

アクセントパネルを設置する場合

- ・ 取り付けは建築壁の構造を確かめて確実に取り付けてください。
取り付けを誤ると、使用中にアクセントパネルが落下し、けがをするおそれがあります。
- ・ クロスが既に張られている場合には、アクセントパネル張り付け範囲をはがしてください。
- ・ 釘やねじの飛び出しがないことを確認してください。はがれや浮き・割れの原因になります。

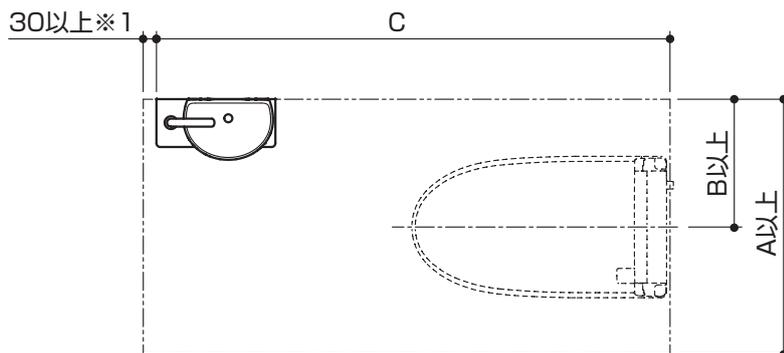
1 設置寸法

- ・ 快適にご使用いただくために、以下のトイレ寸法を確保してください。
- ・ 設置される大便器の前出寸法によってトイレの必要寸法が異なりますので、ご注意ください。
- ・ トイレスペースの奥行き寸法に応じて、紙巻器や手すりなどの使い勝手に配慮した適切な位置に手洗器を設置してください。
- ・ ドアとの位置関係を事前にご確認ください。ドアとの位置によってドア枠とカウンターなどが干渉してしまうことがあります。
- ・ 商品を設置する床面や壁面に6/1000mm以上の不陸がないことを確認してください。
床・壁面が6/1000mm以上の不陸がある場合、商品に著しい段差やすき間が生じることがあります。
- ・ アクセントパネルを設置する場合、壁面に2/1000mm以上の不陸がないことを確認してください。
壁面が2/1000mm以上の不陸がある場合、アクセントパネルとカウンターににすき間が生じることがあります。

側面設置の場合

単体キャビネット

※本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。



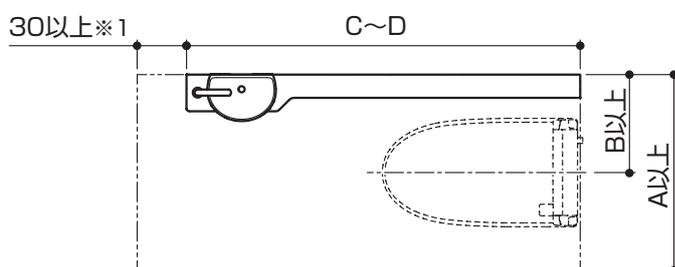
大便器	大便器前出	A	B	C
ネオレストAH/RH/DH・GG・ピュアレストEX/QR ほか	～760	780	390	1200
GG・ピュアレストEX/QR 壁排水リモデル ほか	793			1240
ネオレストNX	805			1240

※1： 指の挟みこみ防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

カウンターキャビネット／ハーフキャビネット

使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行き寸法にあわせて任意の長さのカットできます。
(最短長さは下記表C寸法を参照)

※本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。



	大便器	大便器前出	A	B	C	D
Sサイズ	ネオレストAH/RH/DH・GG・ピュアレストEX/QR ほか	~760	780	390	1200	1600
	GG/ピュアレストEX/QR 壁排水リモデル ほか	793			1240	
	ネオレストNX	805			1240	
Mサイズ (カウンターキャビネット)	ネオレストAH/RH/DH・GG・ピュアレストEX/QR ほか	~760	780	430	1200※4	1600
	GG/ピュアレストEX/QR 壁排水リモデル ほか	793			1240※4	
	ネオレストNX	805			1240※4	
Mサイズ (ハーフキャビネット)※5	ネオレストAH/RH/DH・GG・ピュアレストEX/QR ほか	~760	780 ※2※3	430 ※2※3	1200※4	1445
	GG/ピュアレストEX/QR 壁排水リモデル ほか	793			1240※4	
	ネオレストNX	805	865	480	1240※4	

※1. 指の挟みこみ防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

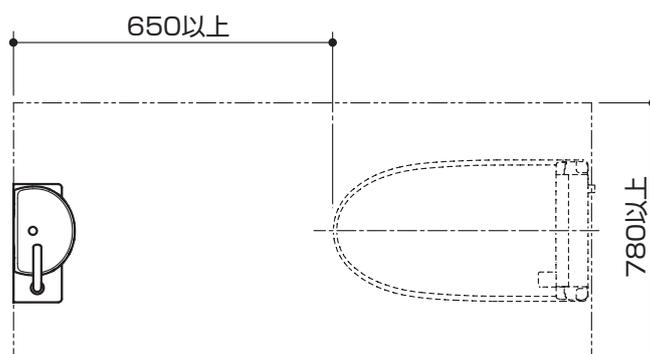
※2. ハーフキャビネット、左勝手にピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、
A=850以上、B=500以上となります。
ハンドグリップ、木製手すりはカウンター側の横壁に設置することができません。

※3. ハーフキャビネット、右勝手にネオレストAH2W/RH2W(室内暖房付)で壁排水リモデル便器を設置する場合
A=850以上、B=500以上となります。
ハンドグリップ、木製手すりはカウンター側の横壁に設置することができません。

※4. 木製手すり、または専用インテリア・バーを設置する場合、
ネオレストAH/RH/DH(壁排水リモデル便器以外)は奥行き1360以上、それ以外の便器は奥行き1470以上が必要です。

※5. ハーフキャビネットの場合、壁排水便器で左右抜きタイプを設置する場合、
キャビネット扉が干渉するおそれがあるため、カウンター側に大便器排水管を抜くことができません。

対面設置の場合



2

取付前の注意

2 給排水位置

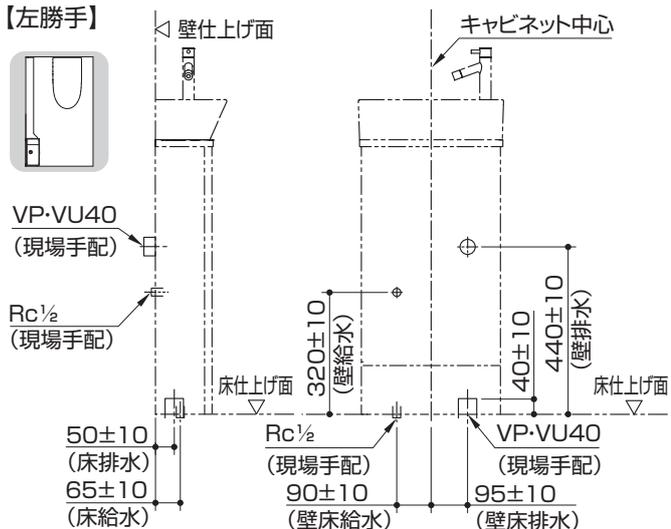
- ・ 設備側給水管の取り出しは壁・床仕上げ面と同一面としてください。
- ・ 設備側排水管の取り出しは壁排水の場合、壁仕上げ面と同一面としてください。
床排水の場合は床仕上げ面より 40 ± 10 で取り出してください。
- ・ 電気温水器を設置する場合も同位置になります。
- ・ 給水圧力は、最低必要水圧:0.05MPa(流動時)最高水圧:0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。

参照 大便器の給排水位置は、大便器の施工説明書をご覧ください。

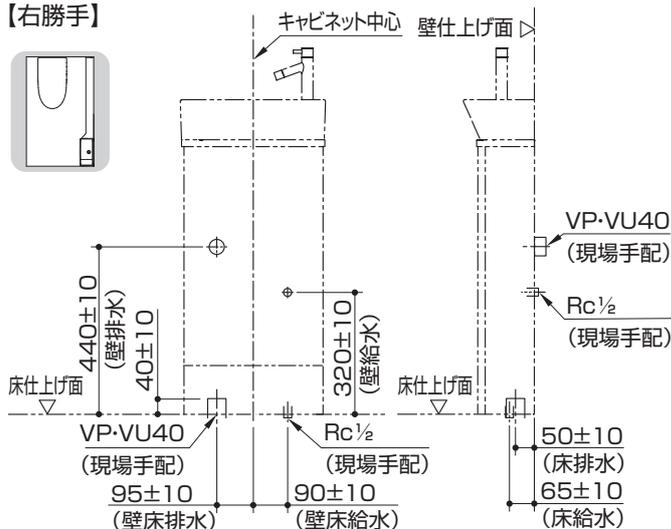
ベッセルタイプ(丸形/角形)

※図はベッセルタイプ(角形)の場合

【左勝手】



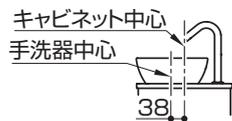
【右勝手】



【ベッセルタイプ(丸形)の場合】
キャビネット中心と手洗器中心が右図のように異なりますのでご注意ください。

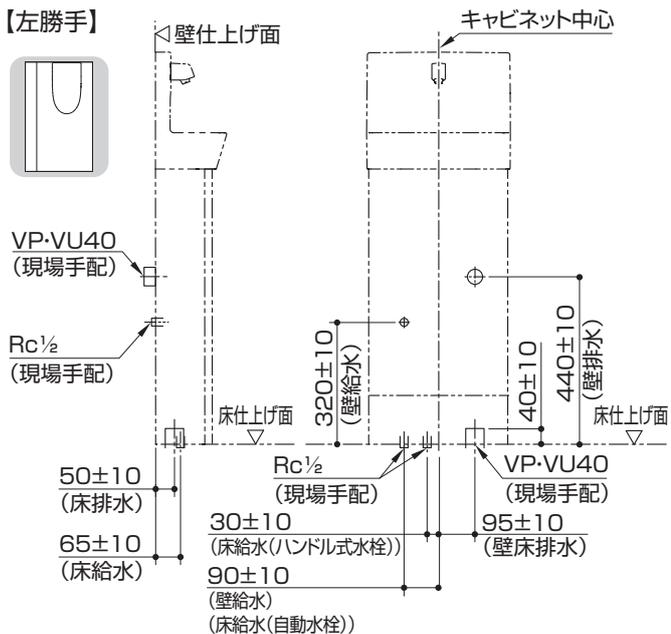


【ベッセルタイプ(丸形)の場合】
キャビネット中心と手洗器中心が右図のように異なりますのでご注意ください。

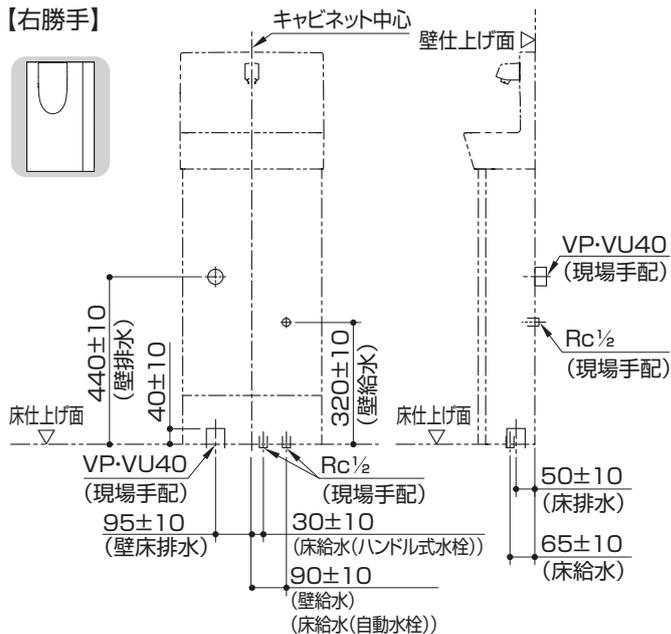


ハイバックタイプ

【左勝手】



【右勝手】



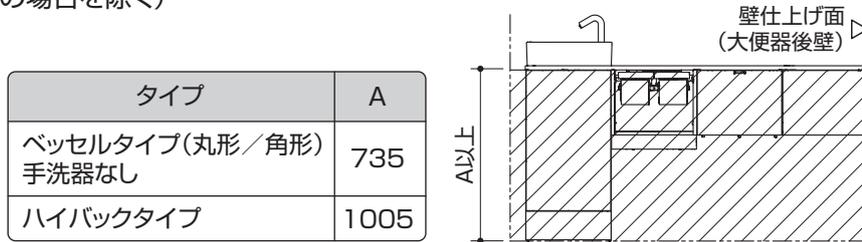
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

3 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
 [URL]
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

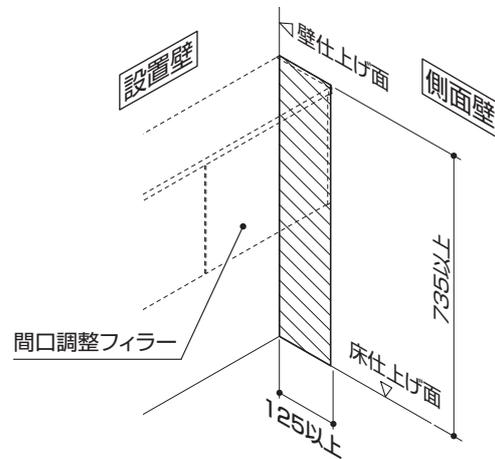


- ・ 建築工事(別途工事)にて、手洗器およびカウンター、周辺部材の壁取付面には、あらかじめt12以上の補強用合板(JAS規格相当品)を入れておいてください。(下図斜線部)合板は受木または間柱などに固定してください。
- ・ タイル・コンクリート壁の場合は、固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んで固定してください。(アクセントパネルの場合を除く)



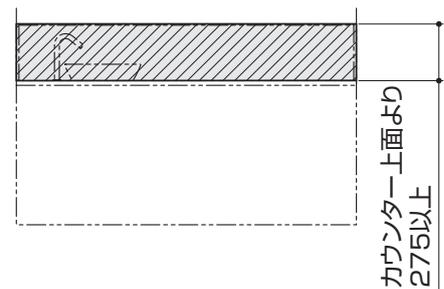
ハーフキャビネットの場合

壁仕上げ面(大便器後壁)の右図斜線範囲内に、t12以上の補強用合板(JAS規格相当品)を入れてください。合板は受木または間柱に固定してください。



アクセントパネルを設置する場合

- ・ 取付可能壁下地は、t12以上の補強用合板(JAS規格相当品)のみです。例えば、以下の壁下地にはアクセントパネルを取り付けることはできません。[取り付けできない壁下地の例] 石膏ボード・タイル壁、コンクリート壁
- ・ 壁下地の範囲は右図のとおりです。壁下地の合板は両端を受木または間柱などにしっかりと固定してください。
- ・ クロスが既に張られている場合には、アクセントパネル外寸法より10mm程度内側の範囲をはがしてください。



4 電気工事

各器具および大便器の消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

器具	定格消費電力	定格電源
電気温水器	505W ※1	AC100V (50/60Hz)
自動水栓	待機時0.4W(最大3W)	
	作動時0.6W(最大5W)	
足元照明	4.3W	

※1 沸上がり温度約38℃、タンク容量約1L、元止め式の場合

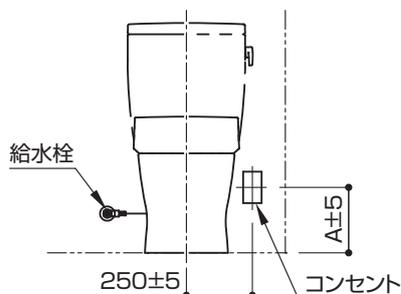
●上表の各器具以外の電気器具を設置する場合は消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

5 コンセント位置

大便器側（参考）

本商品と組み合わせるウォシュレット用のコンセントは、大便器を挟んで給水栓と反対側に接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式1口コンセントを設置してください。

※ピュアレストEXおよびQR(ヒーター付便器・水抜併用方式)にウォシュレットを設置する場合は、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。



大便器	A
ネオレスト AH/RH/DH (床排水・壁排水後ろ抜き)	250
ネオレスト AH/RH/DH (壁排水左右抜き)	350
ネオレストNX	250
GG	250
ピュアレストEX/QRなど	250

手洗器側

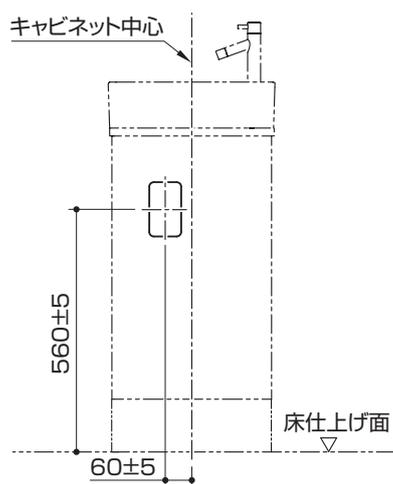
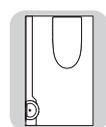
自動水栓・電気温水器を設置する場合は図を参照し、本商品を施工前に壁仕上げのうえコンセントを壁仕上げ面に設置してください。

コンセント	設置機器	
	自動水栓	電気温水器
接地用端子の付いた 接地極付きの壁埋込式 2口コンセント	○	○
壁埋込式1口コンセント	○	—

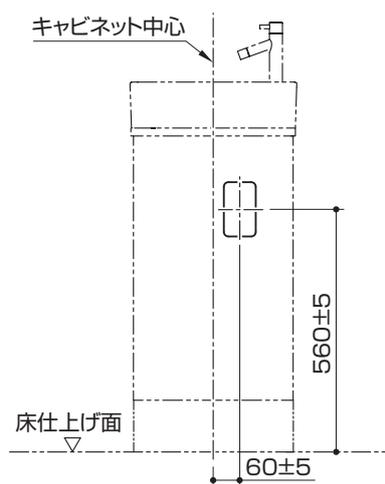
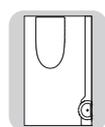
共通

※図はベッセルタイプ(角形)の場合

【左勝手】



【右勝手】



【ベッセルタイプ(丸形)の場合】

キャビネット中心と手洗器中心が右図のように異なりますのでご注意ください。



【ベッセルタイプ(丸形)の場合】

キャビネット中心と手洗器中心が右図のように異なりますのでご注意ください。



警告



禁止

器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

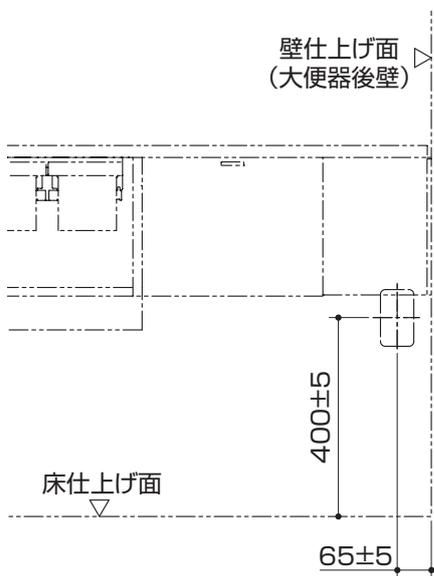
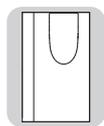
足元照明がある場合

壁埋込式1口コンセントを設置してください。

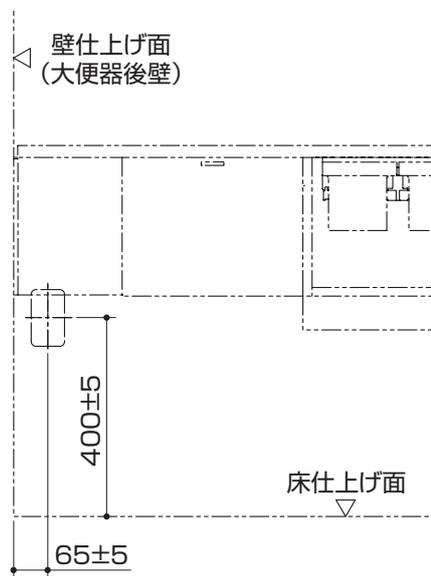
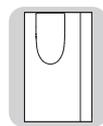


壁埋込式1口コンセント

【左勝手】



【右勝手】



警告



禁止

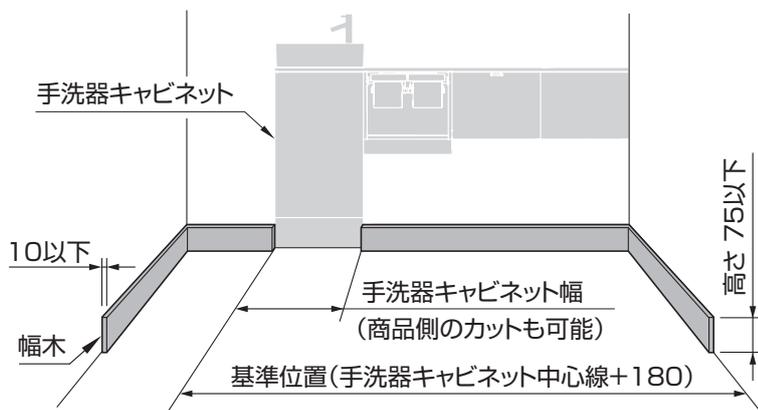
器具取付用のねじ固定部の壁裏には配管・配線をしない
火災や感電・水漏れして財産損害発生の原因となります。

6 幅木

「キャビネット幅」分の幅木をカットしてください。

※使用する幅木は高さ75mm以下、厚さ10mm以下にしてください。

商品と干渉したり、商品側がカットできなくなります。



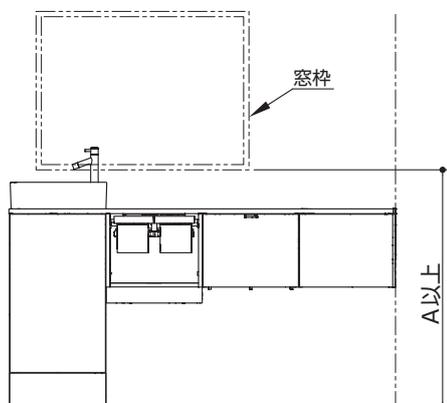
※手洗器キャビネット中心線：レイアウト図参照

2

取付前の注意

7 窓枠

- ・窓がある場合、下図のような制約が付きます。事前に商品と干渉しないことをご確認ください。
- ・周辺部材(鏡・バックパネル・手すり・壁付け石けん受け等)の取り付けに関しては、各説明書をご参照ください。



※図はベッセルタイプ(角形)の場合

タイプ		A
アクセントパネルあり	ベッセルタイプ(丸形/角形)	1075
	手洗器なし	
アクセントパネルなし	ハイバックタイプ	1115
	ベッセルタイプ(丸形/角形)	890
	手洗器なし	790

8 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してから施工を始めてください。



のこぎり



小型のこぎり



電動ドライバー
(+) 65mm
#2ビット・#3ビット
(+) 200mm
#2ビット・#3ビット



電動ドリル用キリ
φ3、φ5



ドライバー
(+) 65mm
#1ビット・#2ビット
(+) 200mm
#1ビット・#2ビット



シリコン系
シール剤



オフセットドライバー(+)
#2ビット



スタビードライバー(+)
#2ビット



TZ工具
(品番:TZY15N)

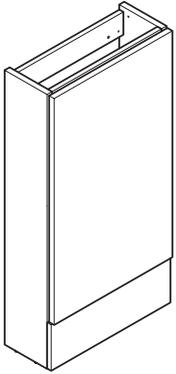


カッター

3. 部品の確認

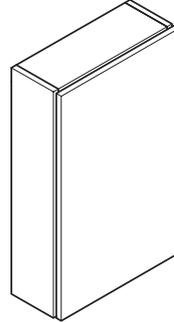
- ・ 包装箱の内容は左勝手を基本として記載しています。
- ・ ◆マークのついた部品はその他部材を詰め合わせた箱に入っています。

手洗器キャビネット ※手洗器ありの場合

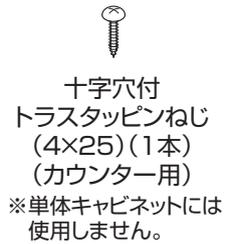
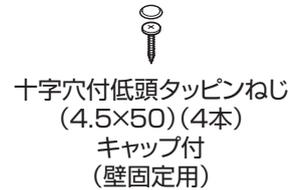


※キャビネット固定用の部材は付属材セット(手洗器)に同梱されています。

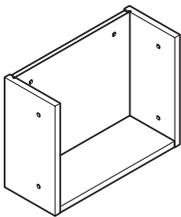
フロア収納キャビネット ※手洗器なしの場合



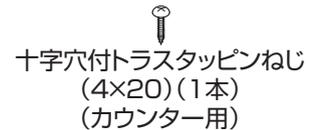
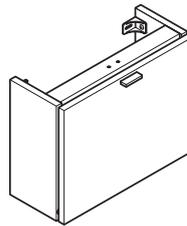
◆【付属材セット】



紙巻器キャビネット

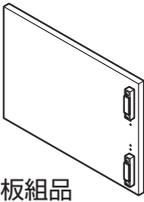
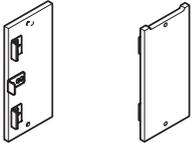
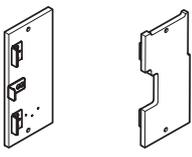


サイドキャビネット



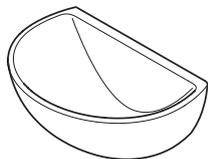
間口調整フィラー(固定) ※ハーフキャビネットの場合のみ

現場カットタイプ

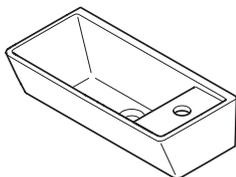
 <p>前板組品</p>	<p>【足元照明なしの場合】</p>  <p>側板組品 側板組品</p>	 <p>前板引掛け金具 (1個)</p>  <p>支持アングルセット(1個) (カウンター固定用)</p>	 <p>十字穴付 トラスタッピンねじ (4×50)(4本) (支持アングルセット、壁固定用)</p>  <p>十字穴付 トラスタッピンねじ (4×20)(6本) (スペーサー組品固定、連結用)</p>  <p>十字穴付トラスタッピンねじ (4×12)(4本) (前板引掛け金具、キャップ固定用)</p>
 <p>キャップ(前板)</p>	<p>【足元照明ありの場合】</p>  <p>側板組品 側板組品</p>	 <p>面ファスナー (1枚)</p>  <p>スペーサー(16個) (前板調整用)</p>	
 <p>スペーサー組品 (2個)</p>			

手洗器

ベッセルタイプ(丸形)

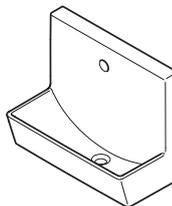


ベッセルタイプ(角形)

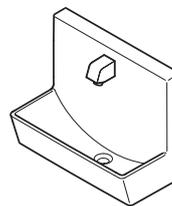


ハイバックタイプ

【ハンドル式水栓】



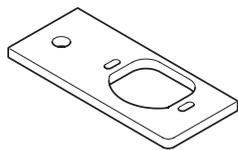
【自動水栓】



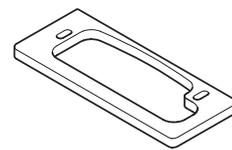
カウンター

◆単体キャビネット

【ベッセルタイプ(丸形)】

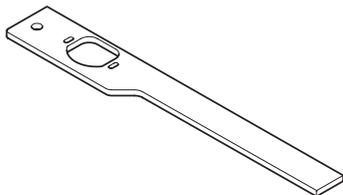


【ベッセルタイプ(角形)】

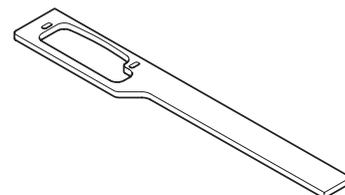


カウンターキャビネット、ハーフキャビネット ※図はSサイズの場合

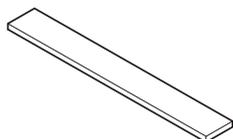
【ベッセルタイプ(丸形)】



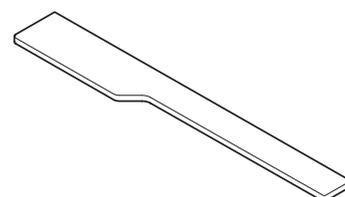
【ベッセルタイプ(角形)】



【ハイバックタイプ】



【手洗器なし】



◆ブラケットセット

カウンターキャビネット

※単体キャビネット、ハーフキャビネットには同梱なし

【Sサイズ】

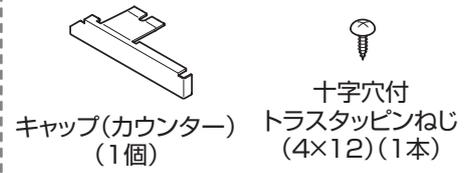
			
	ブラケット	十字穴付トラス タッピンねじ (4×40)	十字穴付トラス タッピンねじ (4×16)
ハイバックタイプ 1600サイズ以外	2個	4本	6本
ハイバックタイプ 1600サイズ	3個	6本	9本

【Mサイズ】

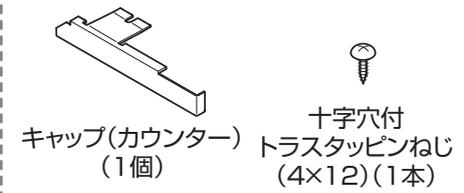


◆キャップセット(カウンター)

Sサイズ



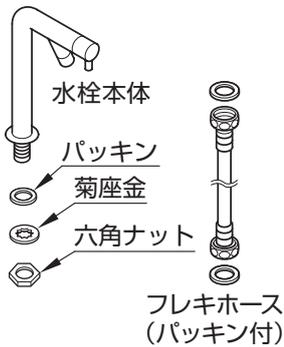
Mサイズ



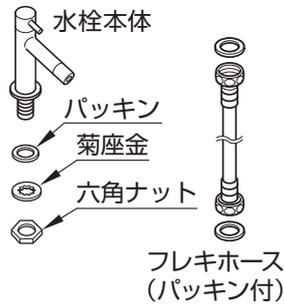
水栓金具 ほか (プランによって同梱内容は異なります)

◆ハンドル式水栓

【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)】



【ハイバックタイプ】



止水栓

【床給水仕様】

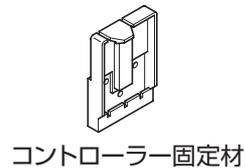
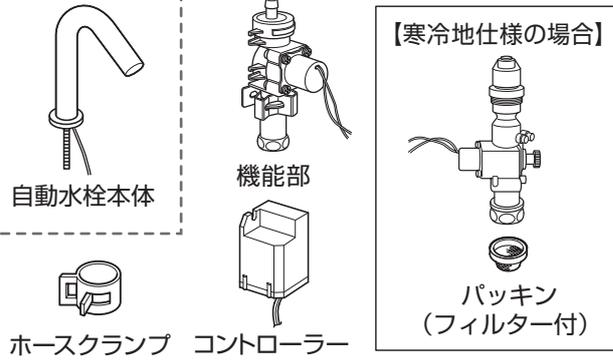


【壁給水仕様】



◆自動水栓

※ハイバックタイプの自動水栓本体は手洗器にセットされています。



【床給水仕様】



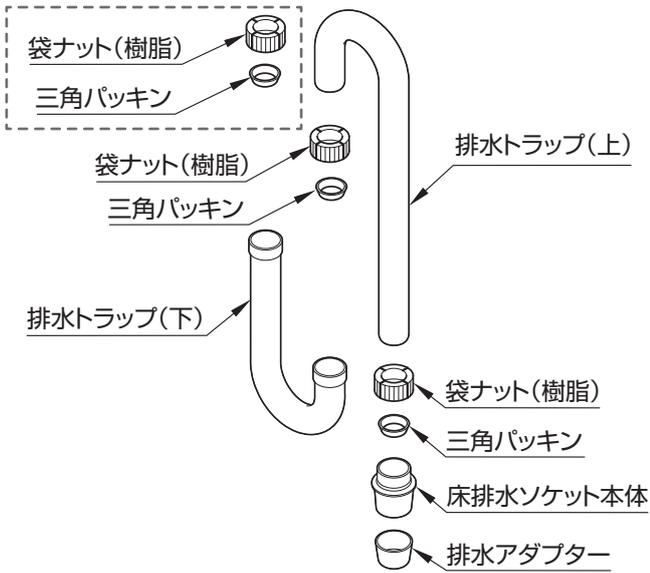
【壁給水仕様】



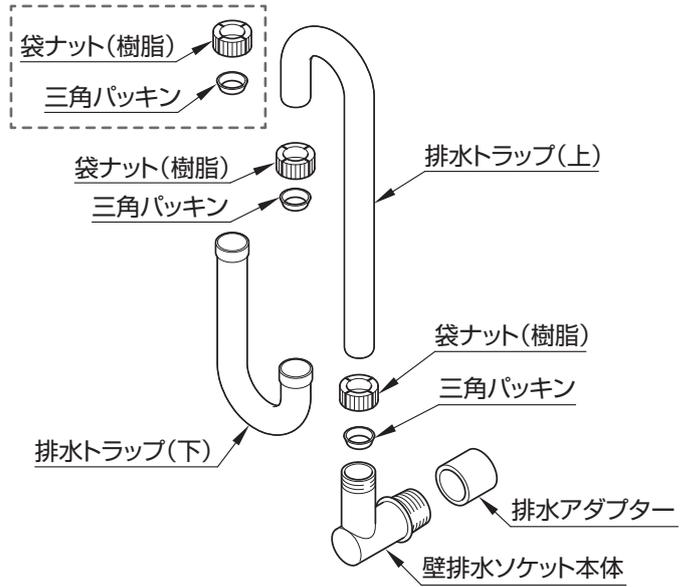
※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

排水トラップ (プランによって同梱内容は異なります)

◆排水トラップ(床排水接続管)

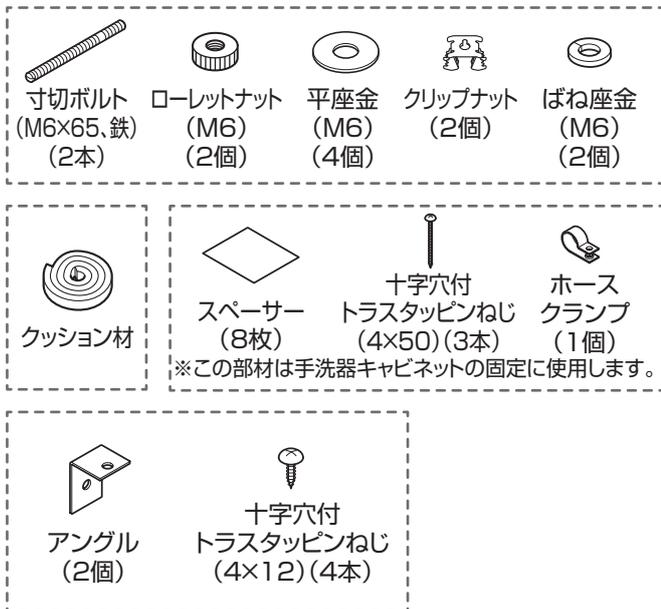


◆排水トラップ(壁排水接続管)

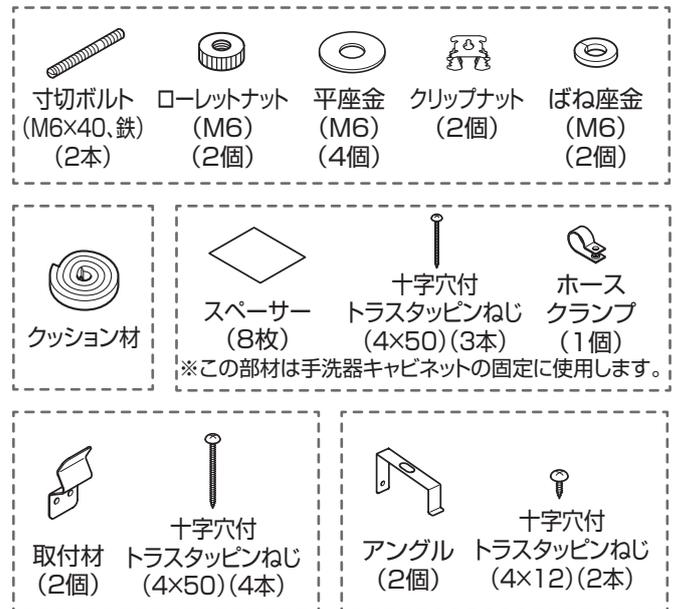


◆付属材セット(手洗器)

ベッセルタイプ(丸形/角形)

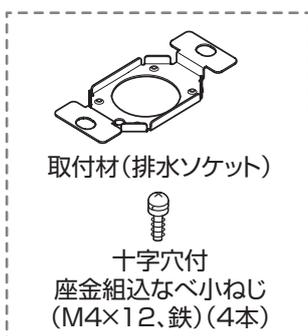


ハイバックタイプ



◆取付材セット (排水ソケット)

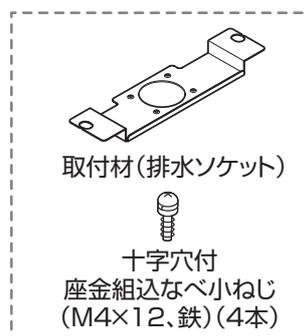
ベッセルタイプ(丸形)



ベッセルタイプ(角形)



ハイバックタイプ

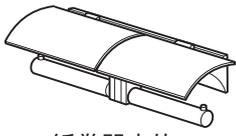


◆排水ソケットセット



紙巻器

◆メタル製紙巻器



紙巻器本体

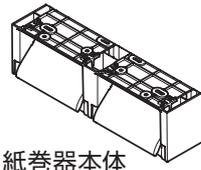


十字穴付座金組込
なべ小ねじ
(M4×8)(4本)

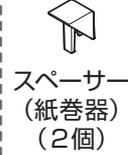


十字穴付
なべタップピンねじ
(4×40)(4本)

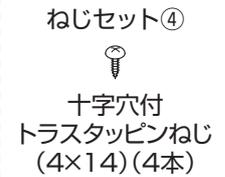
◆樹脂製紙巻器



紙巻器本体



スペーサー
(紙巻器)
(2個)



ねじセット④
十字穴付
トラスタップピンねじ
(4×14)(4本)

◆取付材(紙巻器) ※メタル製紙巻器の場合のみ

[Sサイズ]



取付材(紙巻器)

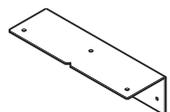


十字穴付
皿タップピンねじ
(4×16) (2本)

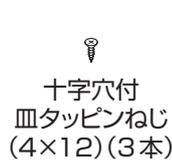


十字穴付
皿タップピンねじ
(4×40) (2本)

[Mサイズ]



取付材(紙巻器)



十字穴付
皿タップピンねじ
(4×12) (3本)

【Mサイズの場合は使用しません】
ねじセット①



十字穴付
なべタップピンねじ
(4.5×40) (4本)



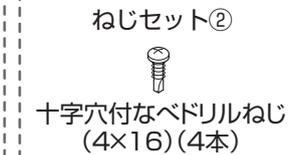
平座金
(4個)

【下記の部品は使用しません】

スペーサー(紙巻器) (4個)
(ホワイト色のみ同梱)



シール(丸形) (1枚)



ねじセット②
十字穴付なべドリルねじ
(4×16) (4本)

※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。

説明書ほか

◆施工説明書

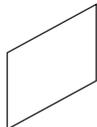


本書



緩衝材

【ハイバックタイプの場合】 【手洗器ありの場合】 【手洗器なしの場合】

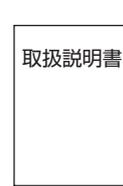


型紙

止水栓注意+4VOC
性能表示ラベル

4VOC性能表示
ラベル

◆取扱説明書



取扱説明書



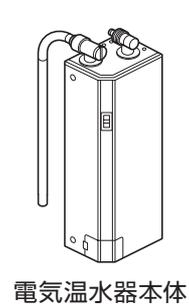
開閉工具

【ハイバックタイプ
ハンドル式水栓の場合】



開閉工具

電気温水器(選択商品)



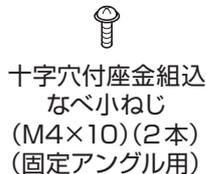
電気温水器本体



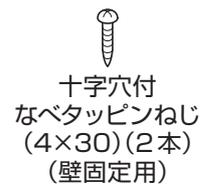
固定アングル1
(1個のみ使用)



化粧ラベル



十字穴付座金組込
なべ小ねじ (M4×10) (2本)
(固定アングル用)



十字穴付
なべタップピンねじ
(4×30) (2本)
(壁固定用)



L=300
排水ホース

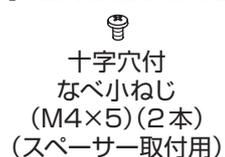


取扱説明書

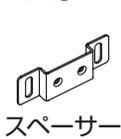


施工説明書

【下記の部品は使用しません】



十字穴付
なべ小ねじ
(M4×5) (2本)
(スペーサー取付用)



スペーサー



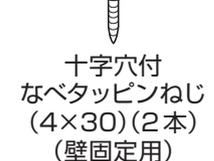
固定アングル1 (16.5)



固定アングル2 (31.5)

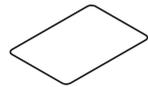


座金付十字穴付
なべ小ねじ (M4×10) (2本)
(固定アングル用)



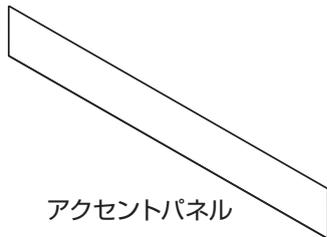
十字穴付
なべタップピンねじ
(4×30) (2本)
(壁固定用)

◆カバー

カバー(配管)
(底板用)カバー(配管)
(壁排水用)カバー(配管)
(壁給水用)

アクセントパネル (選択商品)

アクセントパネル



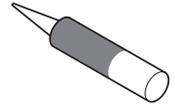
アクセントパネル

フレーム
(アクセントパネル)
(2本)
※左右共通フレーム
(アクセントパネル)
(1本)

付属材セット(アクセントパネル)



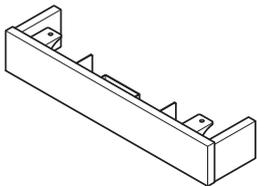
両面テープ



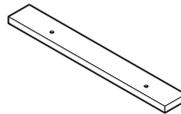
接着剤

足元照明 (選択商品)

照明キャビネット組品



底板組品(照明)



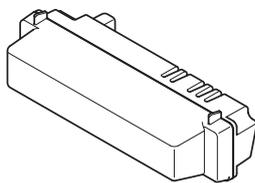
センサー



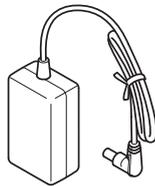
付属材セット(照明)



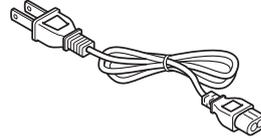
結束バンド(2本)

取付材
(アダプター)十字穴付
トラスタッピンねじ
(4×12)(3本)取付材
(センサー)十字穴付
トラスタッピンねじ
(4×12)(2本)

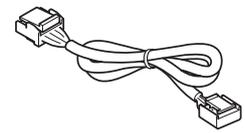
LED照明ユニット



ACアダプター



電源コード



中継ハーネス

付属材セット(ホースクランプ)

十字穴付
トラス小ねじ
(M4×20)(2本)十字穴付
トラスタッピンねじ
(4×50)(2本)ホースクランプ(大)
(2個)十字穴付
トラスタッピンねじ
(4×12)(6本)ホースクランプ(小)
(3個)

手順編

0. 施工前の準備	▶24
1. 排水ソケット・給水管・止水栓(床給水床排水)	▶25
2. 手洗器キャビネット・紙巻器キャビネット・フロア収納キャビネット	▶26
3. 止水栓	▶28
4. サイドキャビネット・間口調整フィラー・ACアダプター・センサー	▶29
5. 足元照明	▶35
6. カウンター・紙巻器	▶38
7. アクセントパネル(選択商品)	▶48
8. 手洗器・水栓金具	▶53
9. フレキホース・コントローラー・電気温水器	▶60
10. 排水トラップ	▶64
11. 試運転・確認	▶65
12. カバー配管	▶71
13. ラベル	▶72
14. シリコン系シール剤	▶73
15. ハンドソープ置き(オプション)	▶74

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴
下穴を開けてください。
(例:φ3の場合)



シール
シールテープを巻いて
ください。



けがき
けがきをしてください。



水平確認
垂直確認
水準器で水平・垂直確認
してください。

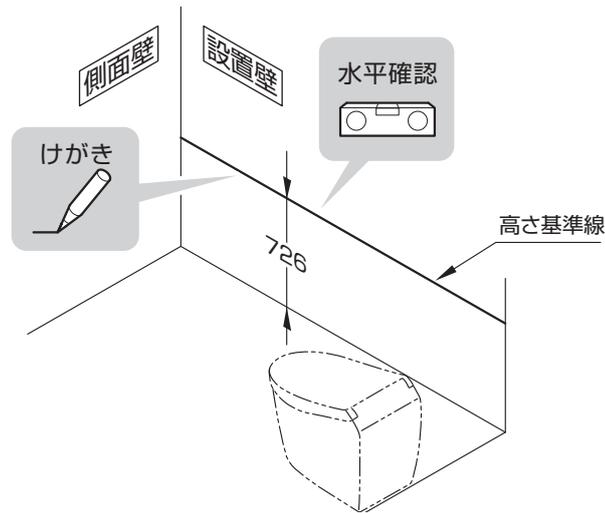
0. 施工前の準備

レイアウト図または以下の情報をもとに、設置位置の基準をご確認のうえ、けがいてください。

けがく際のご注意

商品取付後に、けがき線が露出しないよう、ご注意ください。
また、鉛筆など後で消せるものでけがいてください。

1 高さ基準線をけがく

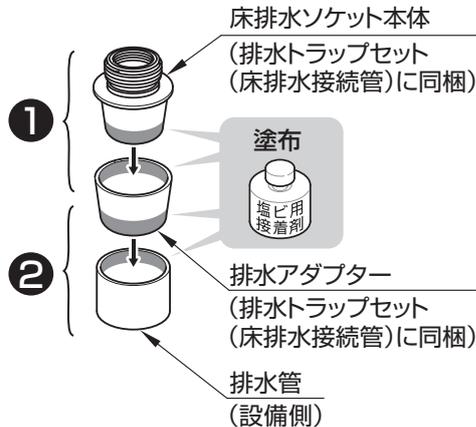


MEMO

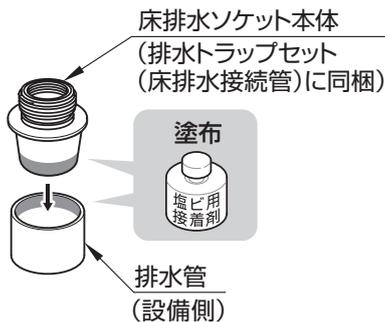
1.排水ソケット・給水管・止水栓(床給水床排水) 手洗器なしの場合はP.27へ

1 床排水ソケット本体の取り付け

VU40の場合



VP40の場合



2 給水管・止水栓の取り付け

① 給水管内を清掃する

取り付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流す。

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

⚠ 注意



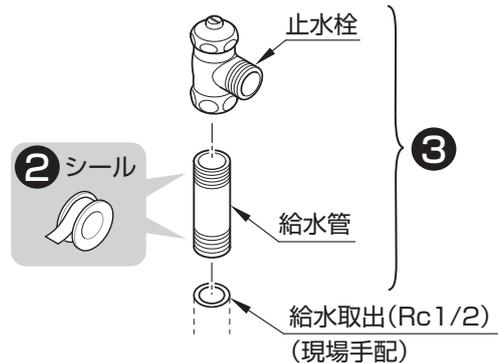
シールテープを必ず巻くこと

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

ハンドル式水栓の場合

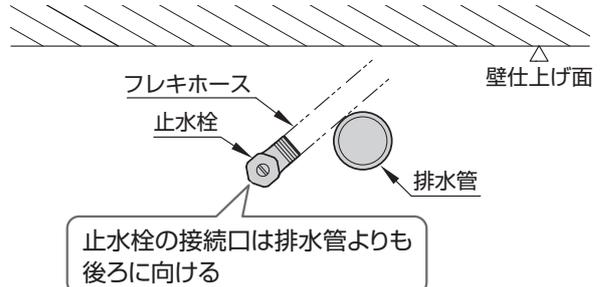
※その他タイプの場合は、「3.止水栓(▶P.28)」で取り付けます。

床給水の場合

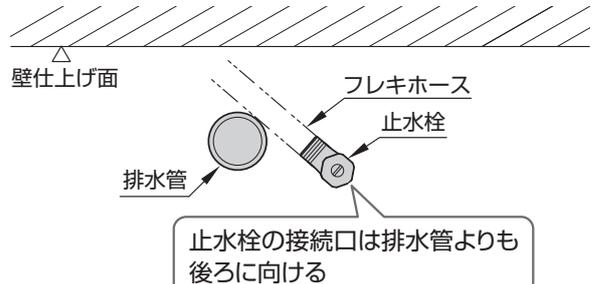


止水栓取付方向

【左勝手】



【右勝手】



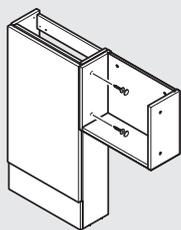
2. 手洗器キャビネット・紙巻器キャビネット・フロア収納キャビネット

2

手洗器キャビネット・紙巻器キャビネット・フロア収納キャビネット

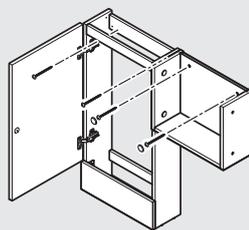
手洗器ありの場合

1 紙巻器キャビネットの連結



▶P.26

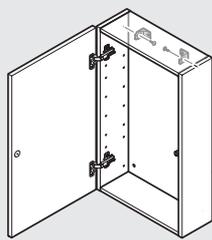
2 キャビネットの壁固定



▶P.26

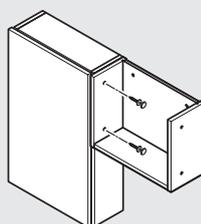
手洗器なしの場合

1 アングルの取り付け



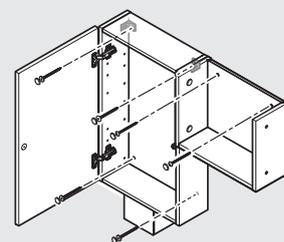
▶P.27

2 紙巻器キャビネットの連結



▶P.27

3 キャビネットの壁固定



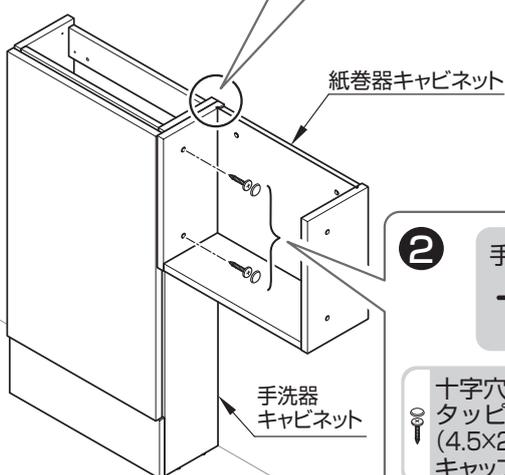
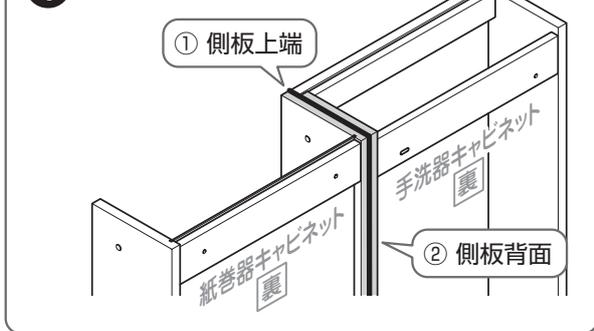
▶P.27

手洗器ありの場合

1 紙巻器キャビネットの連結

※ハーフキャビネットの場合

1 ①・②をあわせる



2 手締めで

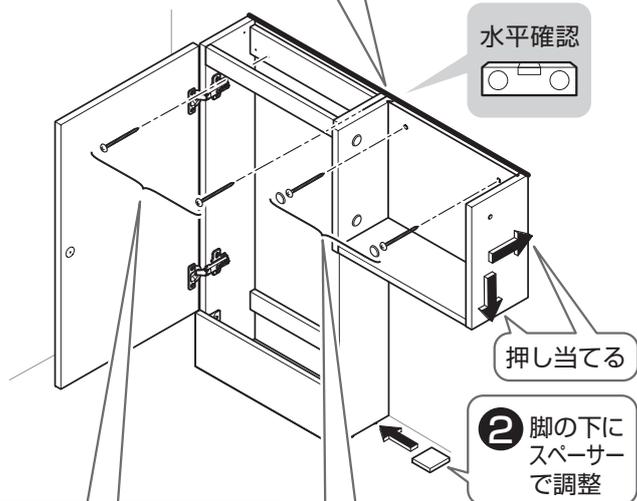


十字穴付低頭
タッピンねじ
(4.5×25)(2本)
キャップ付

2 キャビネットの壁固定

※幅木と商品が干渉する場合は、キャビネットまたは幅木をカットしてください。(情報編 P.15を参照)

1 基準線にキャビネットの高さをあわせる



3 ※ねじは付属材セット(手洗器)に同梱されています。

設置壁に
けがき → 下穴



十字穴付トラスタッピンねじ
(4×50)(2本)

4 [ハーフキャビネットの場合]

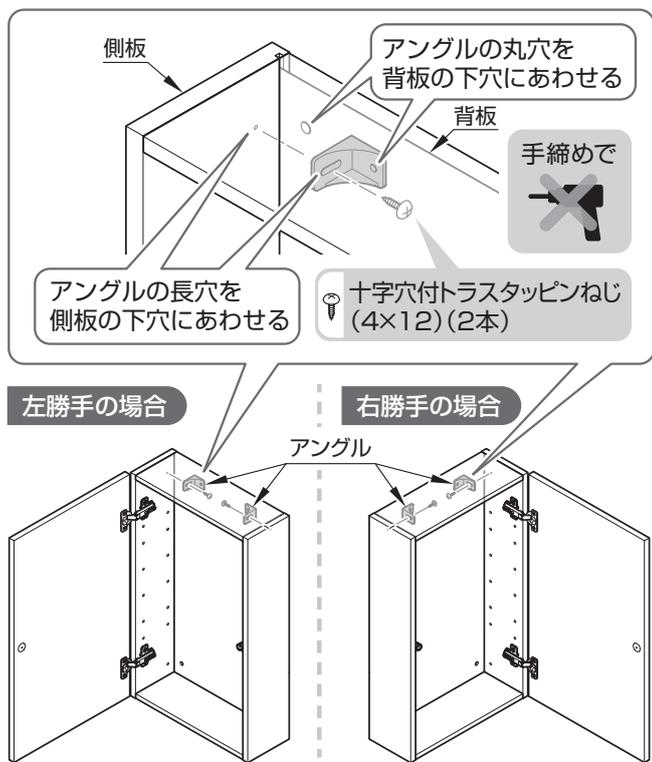
設置壁に
けがき → 下穴



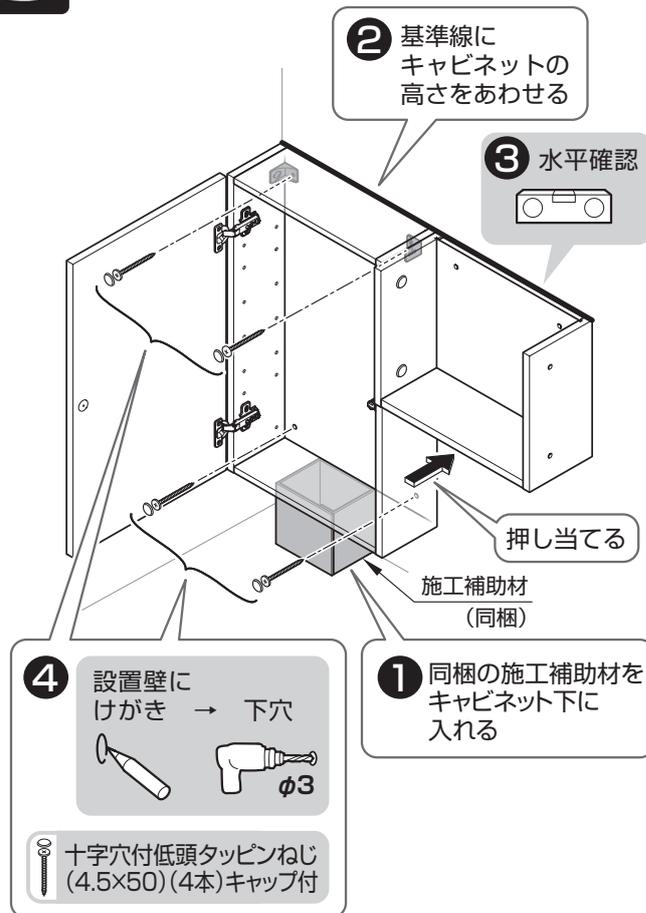
十字穴付低頭タッピンねじ
(4.5×50)(2本)キャップ付

手洗器なしの場合

1 アンゲルの取り付け

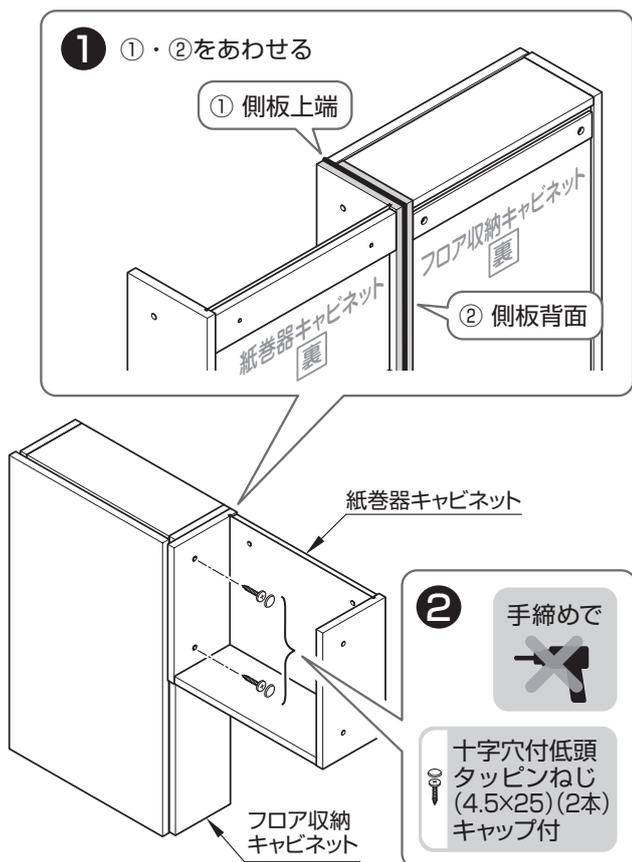


3 キャビネットの壁固定

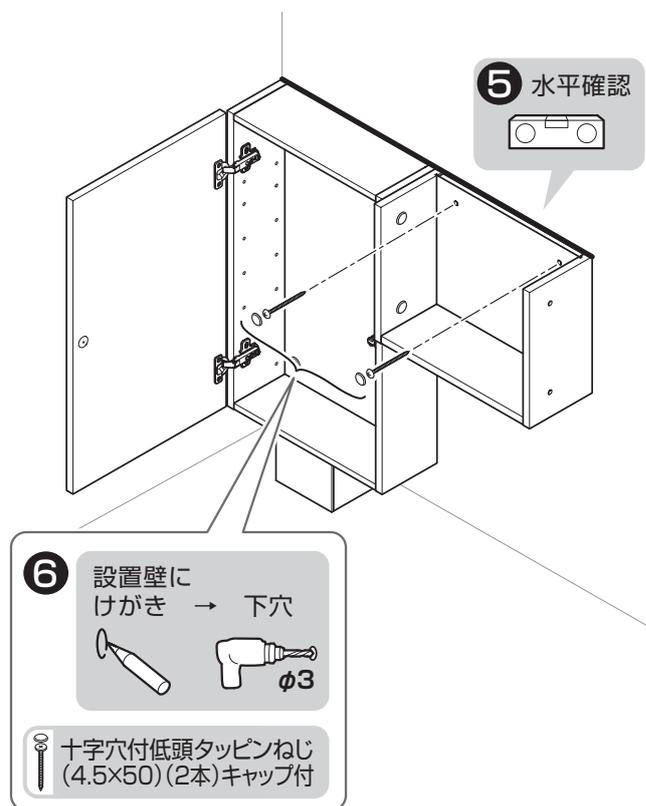


2 紙巻器キャビネットの連結

ハーフキャビネットの場合



ハーフキャビネットの場合



3. 止水栓

手洗器なしの場合はP.29へ

1 止水栓の取り付け

① 給水管内を清掃する

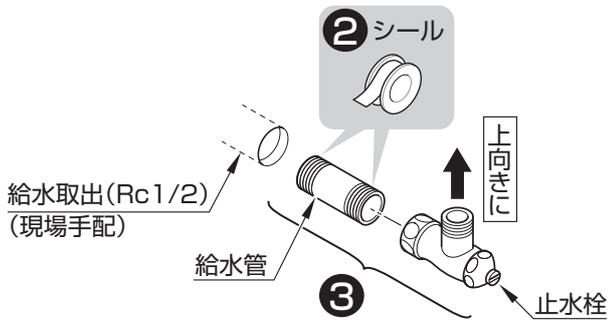
取り付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流す。

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

壁給水の場合

※図はハンドル式水栓の場合

※ベッセルタイプ(丸形)にはフランジが同梱されていますが、使用しません。



注意

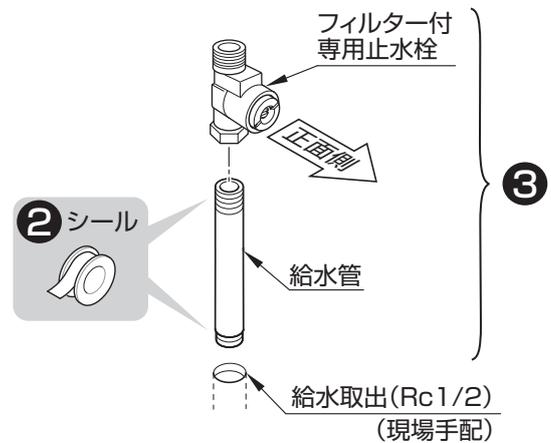


シールテープを必ず巻くこと

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

必ず守る

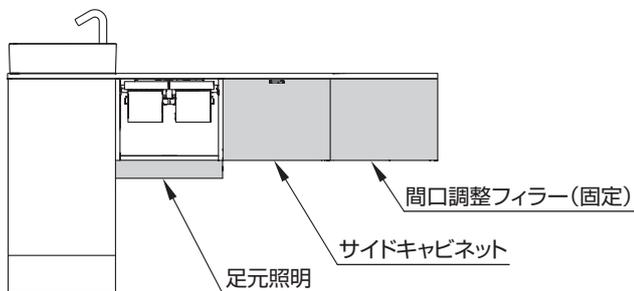
床給水(自動水栓)の場合



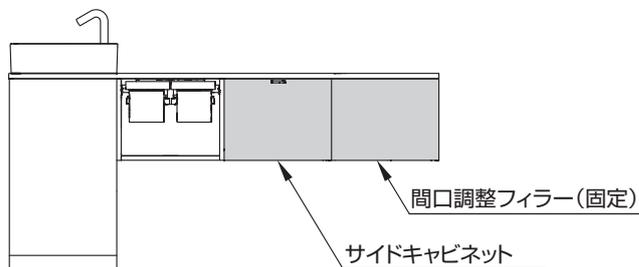
MEMO

4. サイドキャビネット・間口調整フィラー・ACアダプター・センサー

足元照明ありの場合

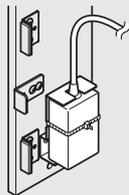


足元照明なしの場合



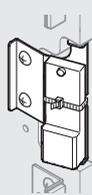
足元照明ありの場合

1 ACアダプターの取り付け



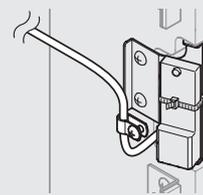
▶ P.30

2 センサーの取り付け



▶ P.30

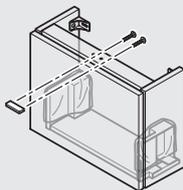
3 中継ハーネスの取り付け



▶ P.31

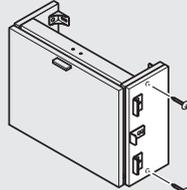
足元照明あり/なし共通

4 取っ手の取り付け



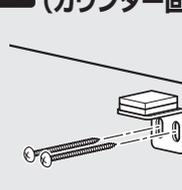
▶ P.31

5 側板組品(キャビネット側)の取り付け



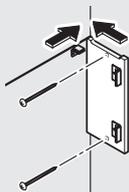
▶ P.31

6 支持アングルセット(カウンター固定用)の取り付け



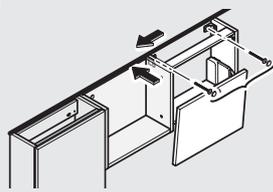
▶ P.32

7 側板組品(壁側)の取り付け



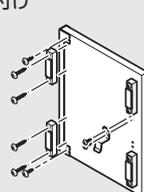
▶ P.32

8 サイドキャビネットの取り付け



▶ P.32

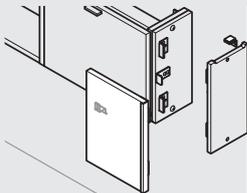
9 前板組品のカット～部品の取り付け



▶ P.33

足元照明なしの場合

10 前板組品の取り付け



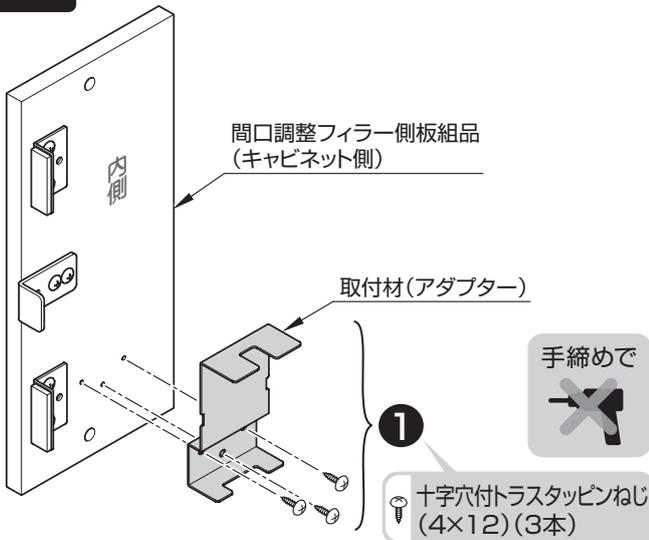
▶ P.34

4

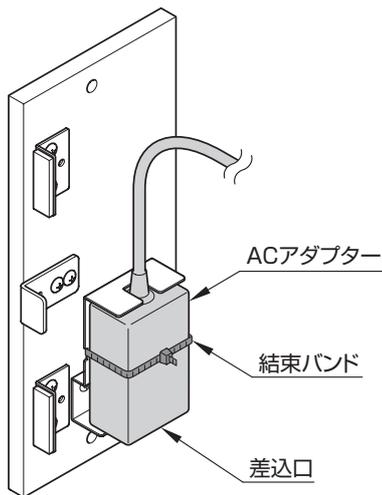
サイドキャビネット・間口調整フィラー・ACアダプター・センサー

足元照明ありの場合

1 ACアダプターの取り付け

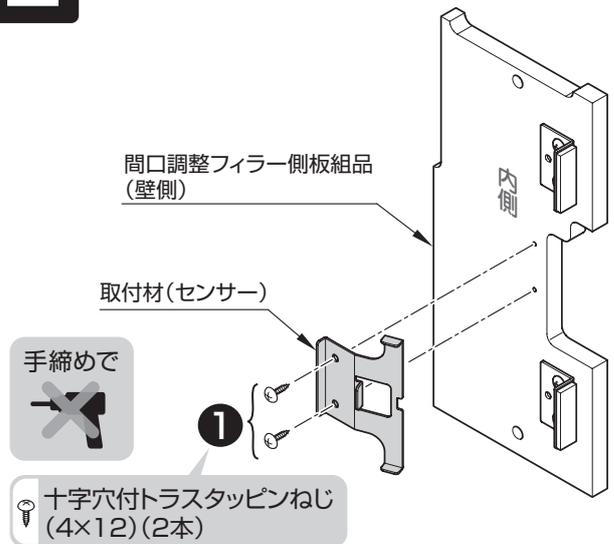


- 2 ACアダプターを結束バンドで確実に固定する
※結束バンドで固定後、さらに締め付けてください。



- 3 余った結束バンドを切る

2 センサーの取り付け



- 2 センサーを結束バンドで確実に固定する
※結束バンドで固定後、さらに締め付けてください。

注意

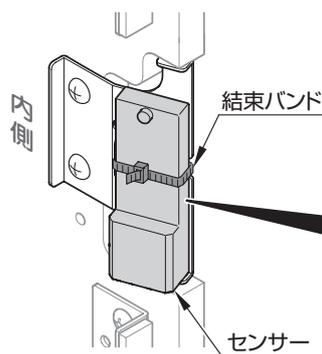
結束バンドのヘッド部分の位置に注意

結束バンドのヘッド部分が扉や壁と干渉し、センサーが正常に動作しないおそれがあります。



注意

センサーの差込口(大)を使用するため、結束バンドで覆わないこと

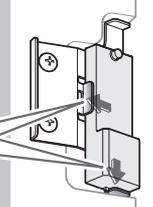


注意

センサーと取付材(センサー)が接触していること

センサーが浮いているとセンサーが正常に動作しないおそれがあります。

押し当てる

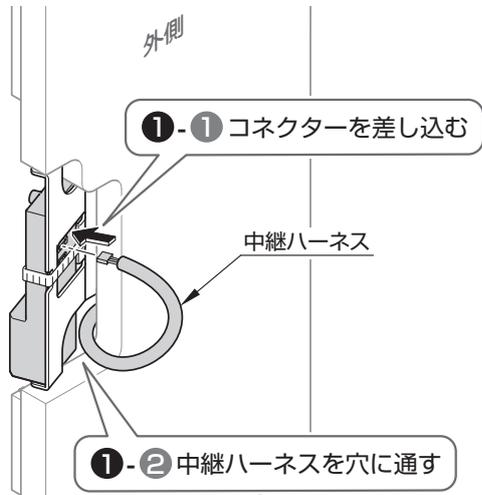


- 3 余った結束バンドを切る

足元照明ありの場合

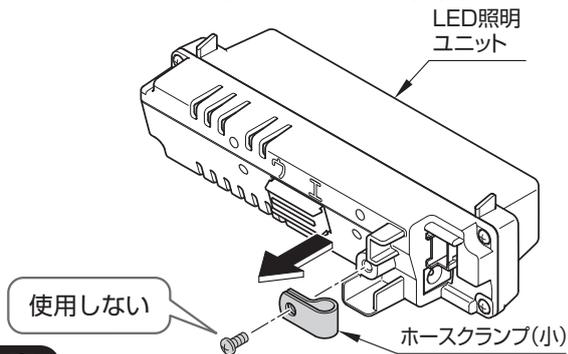
3 中継ハーネスの取り付け

1 中継ハーネスを取り付ける



2 中継ハーネスをクランプ止める

2-1 LED照明ユニットからホースクランプ(小)を外す



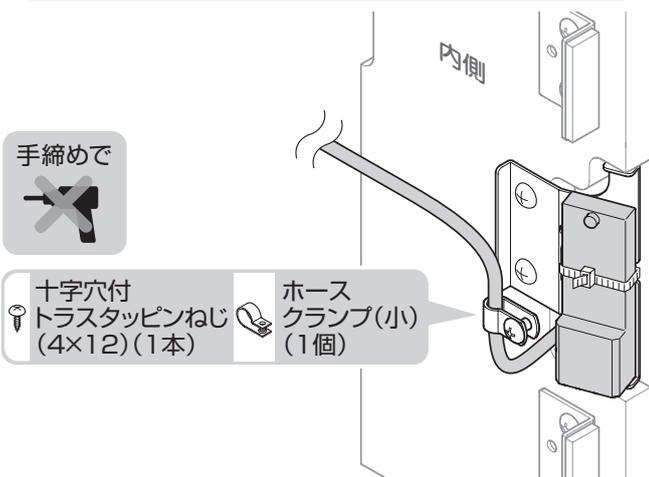
注意

LED照明ユニットは「5. 足元照明(P.35)」の取り付けで使用するのので、保管しておくこと

2-2 中継ハーネスをクランプ止める

注意

LED照明ユニットから外したねじは使用しない



足元照明あり/なし共通

4 取っ手の取り付け

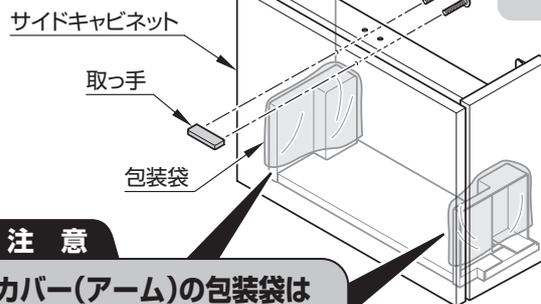
注意

必ず#1ビットの
+ドライバーを
使用すること



十字穴付トラス小ねじ
(M3×20) (2本)

手締めで

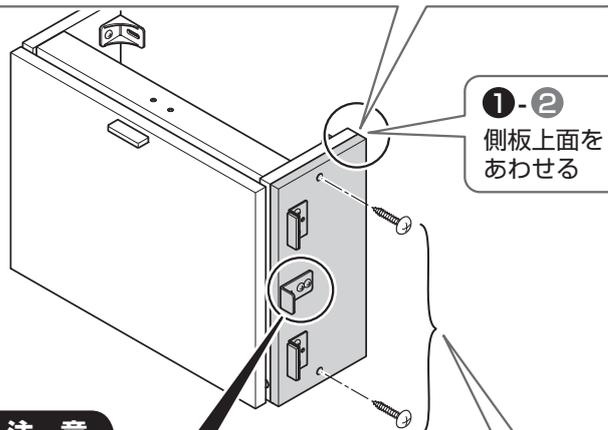
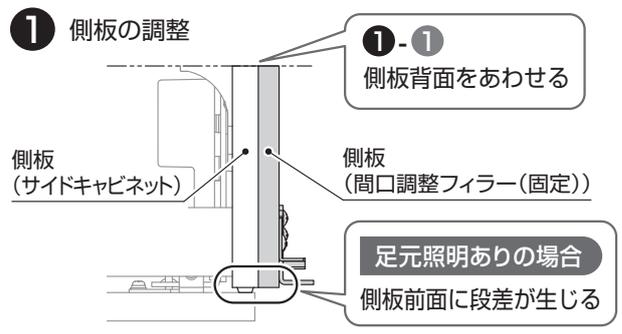


注意

カバー(アーム)の包装袋は
扉調整まで取り外さないこと

5 側板組品(キャビネット側)の取り付け

※図は足元照明なしの場合



注意

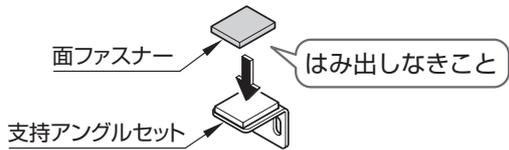
取付材が付いている方が
キャビネット側

2 十字穴付トラスタッピンねじ
(4×20) (2本)

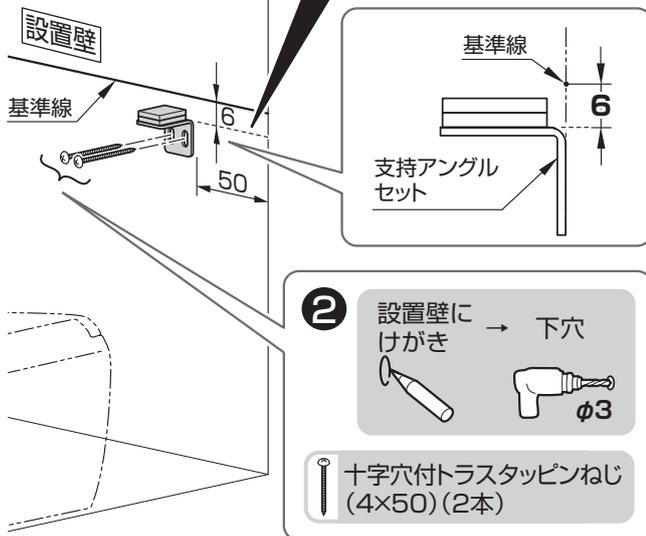
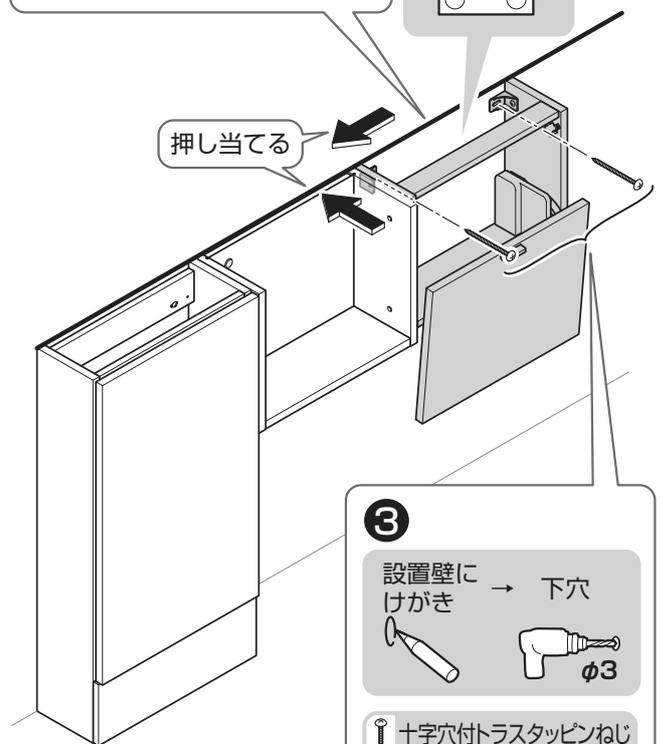
手締めで



側面設置 (ハーフキャビネット) の場合

6 支持アングルセット (カウンター固定用) の取り付け**1** 支持アングルセットに面ファスナーを張り合わせる**注意**

破線は、板金上面にあわせる
※面ファスナー上面にはあわせない

**8** サイドキャビネットの取り付け**1** 基準線にキャビネット高さをあわせる**2** 水平確認**3**

設置壁に → 下穴



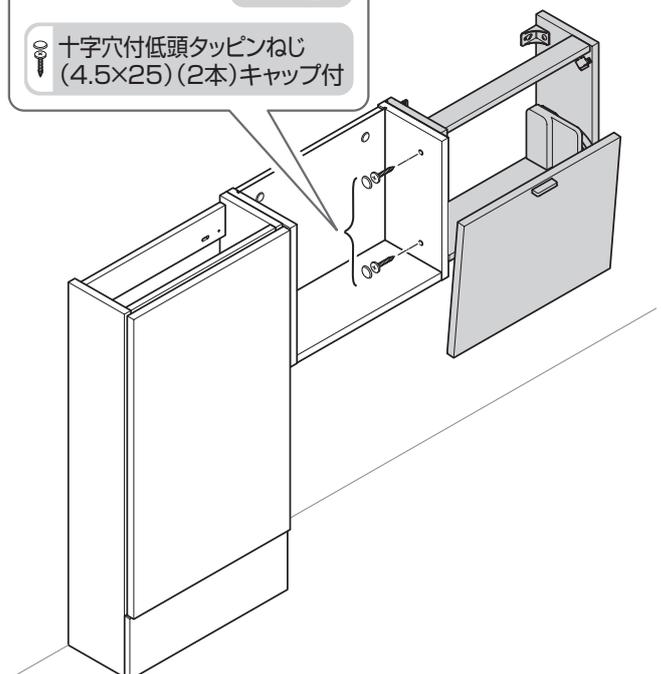
十字穴付トラスタッピンねじ (4×50) (2本)

4

手締めで



十字穴付低頭タッピンねじ (4.5×25) (2本) キャップ付

**7** 側板組品 (壁側) の取り付け

※図は足元照明なし

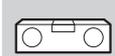
1 基準線に高さをあわせる

押し当てる

押し当てる

2

水平確認



垂直確認

**3**

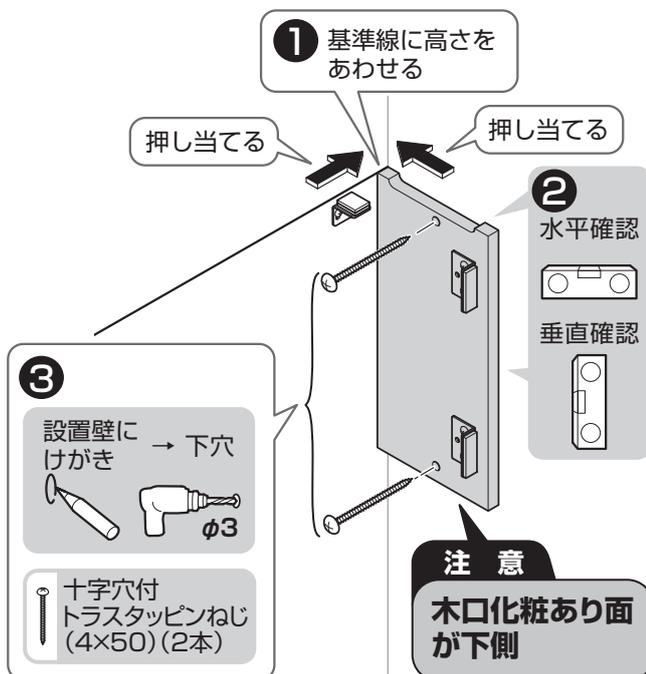
設置壁に → 下穴 けがき



十字穴付トラスタッピンねじ (4×50) (2本)

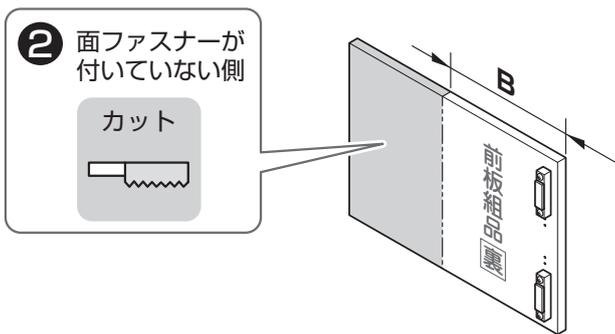
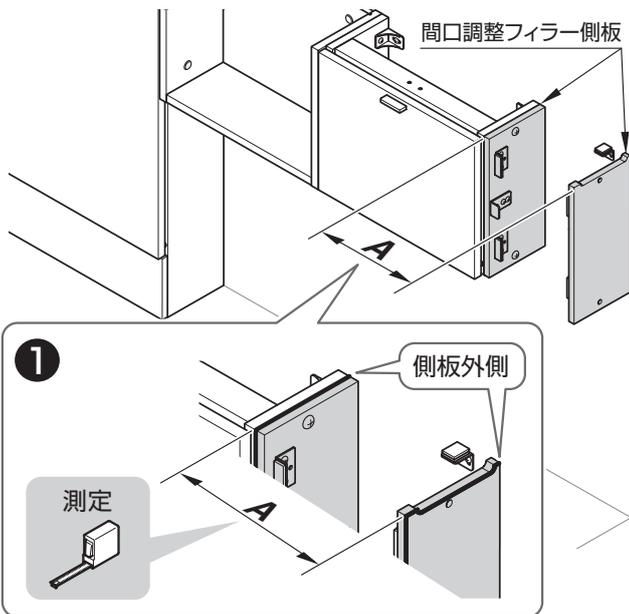
注意

木口化粧あり面が下側



9 前板組品のカット～部品の取り付け

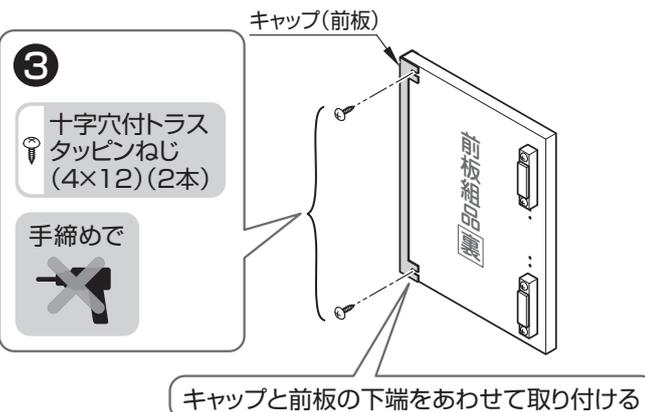
※図は足元照明なしの場合



測定寸法A -5mm= けがき寸法B

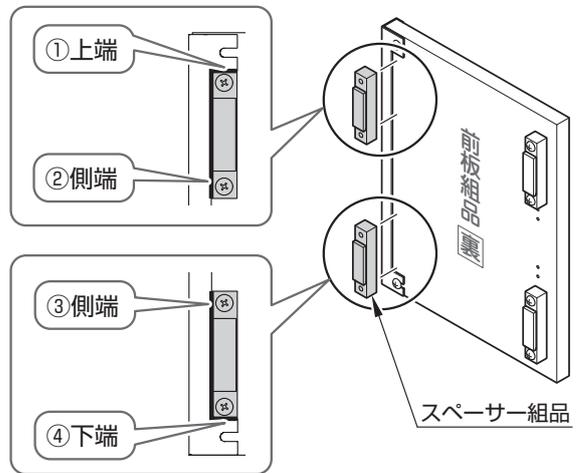
注意

- **必ず B 寸法を計算する**
前板が取り付けできない、またはすき間があきすぎて意匠が損なわれるおそれがあります。
- **表面(化粧あり)を上にしてカットする**



4 スペース組品の取り付け

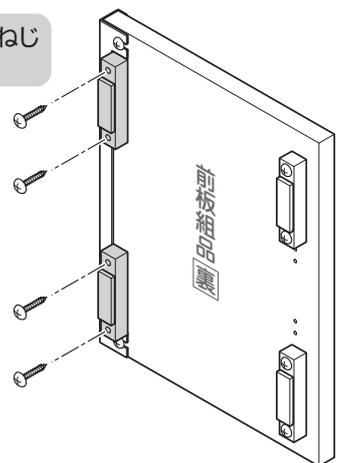
4-1 ①～④をあわせる



4-2

十字穴付トラス タッピンねじ (4×20) (4本)

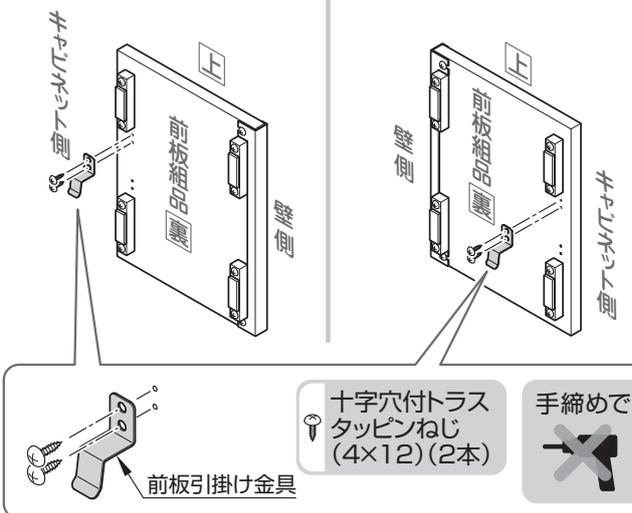
手締めで



5 前板引掛け金具の取り付け

左側に付く場合

右側に付く場合

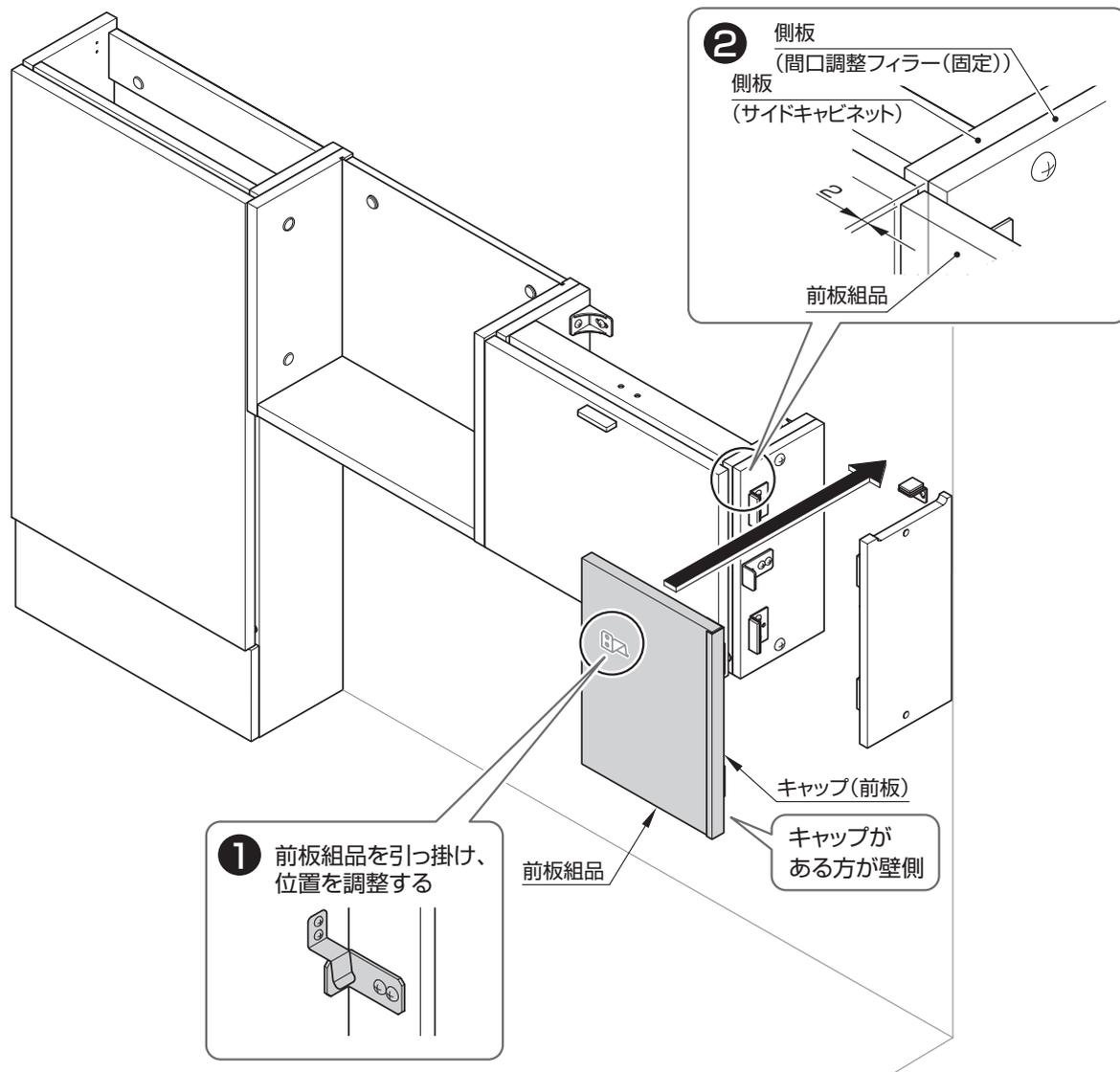


足元照明なしの場合

10

前板組品の取り付け

※足元照明ありの場合はP.37で取り付けます。



MEMO

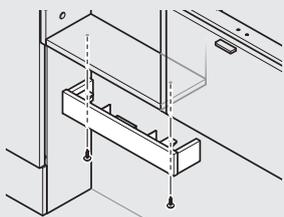
4

サイドキャビネット・間口調整フィラー・ACアダプター・センサー

5.足元照明

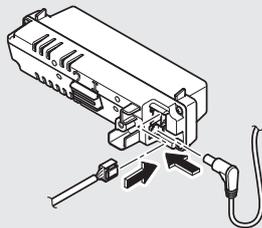
足元照明なしの場合はP.38へ

1 照明キャビネット組品の取り付け



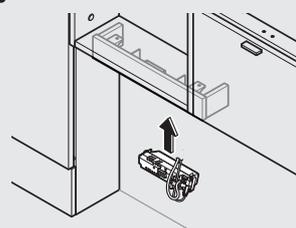
▶P.35

2 LED照明ユニットの組み立て



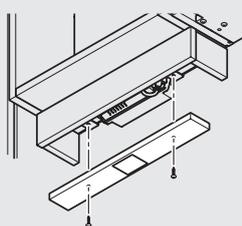
▶P.35

3 LED照明ユニットの取り付け



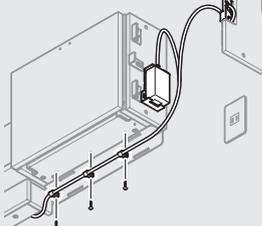
▶P.36

4 底板組品(照明)の取り付け



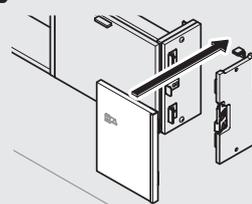
▶P.36

5 コード類の取り付け



▶P.36

6 前板組品の取り付け

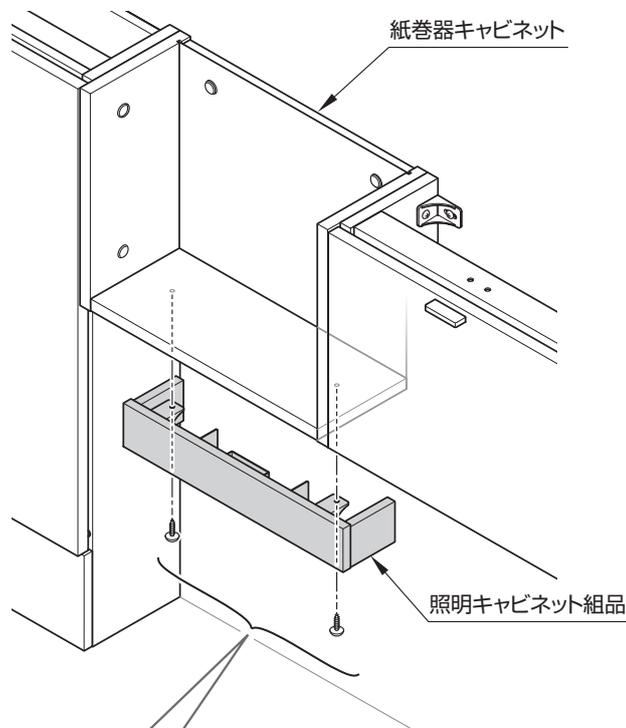


▶P.37

足元照明ありの場合

5
足元照明

1 照明キャビネット組品の取り付け



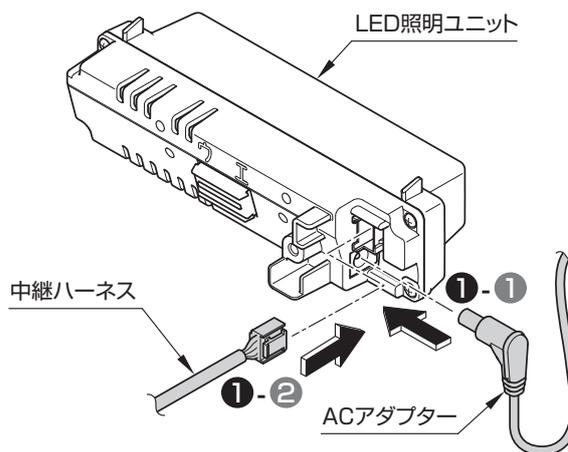
十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12)(2本)

手締めで

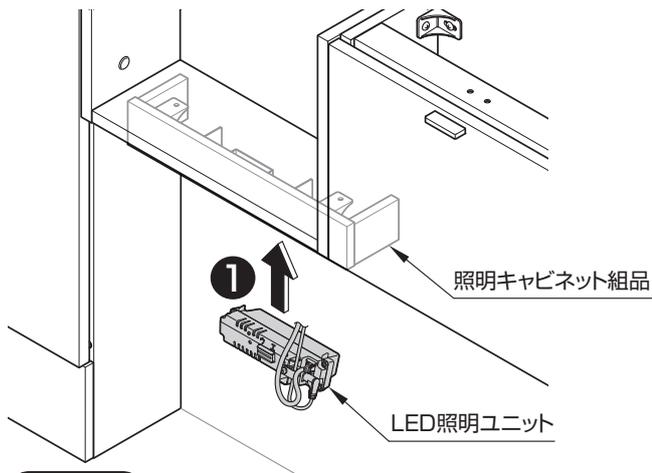


2 LED照明ユニットの組み立て

① ACアダプターと中継ハーネスの組み付け



3 LED照明ユニットの取り付け

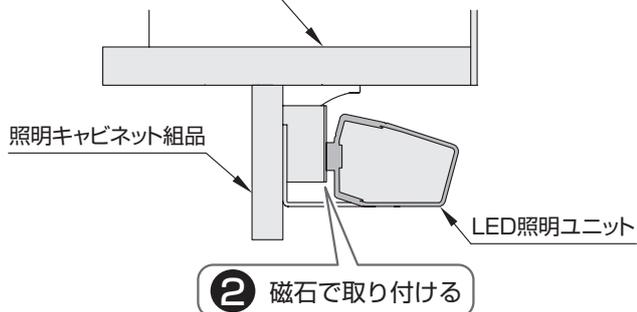


注意

取り付ける向き(上下)を確認すること



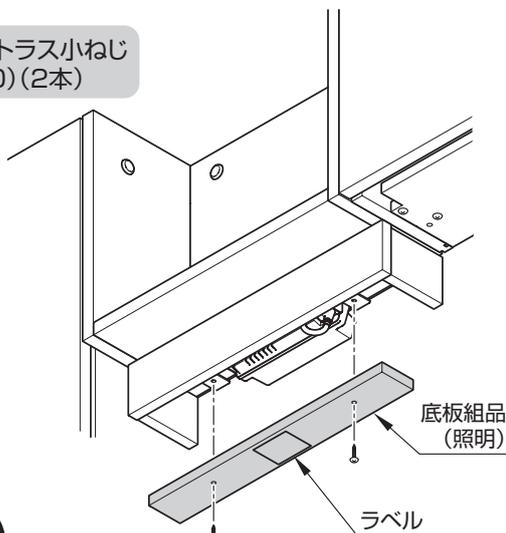
紙巻器キャビネット(底板)



4 底板組品(照明)の取り付け

十字穴付トラス小ねじ (M4×20) (2本)

手締めで

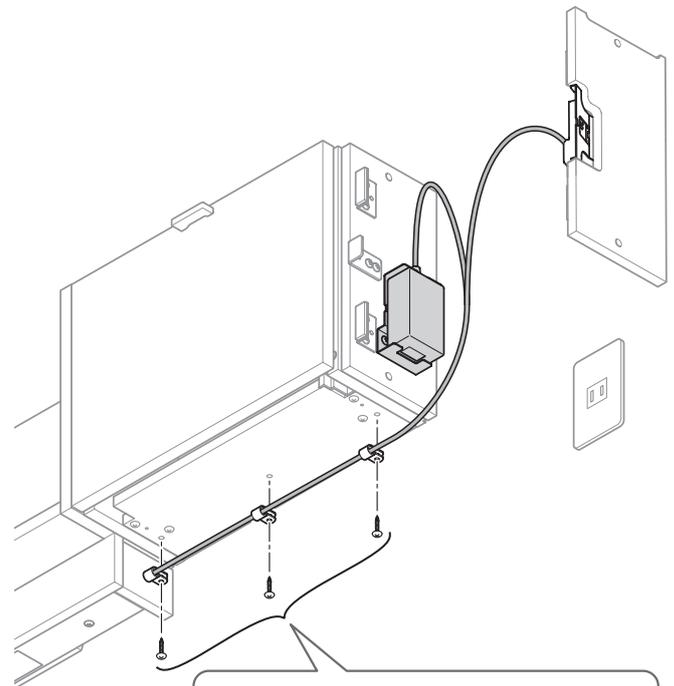


注意

コード類を挟み込まないこと

5 コード類の取り付け

1 コード類のたるみを取りながら、ホースクランプ (小) でサイドキャビネット下に取り付ける



十字穴付トラスツピンねじ (4×12) (3本)

手締めで



ホースクランプ(小) (3個)

注意



必ず守る

コード類を傷つけないこと

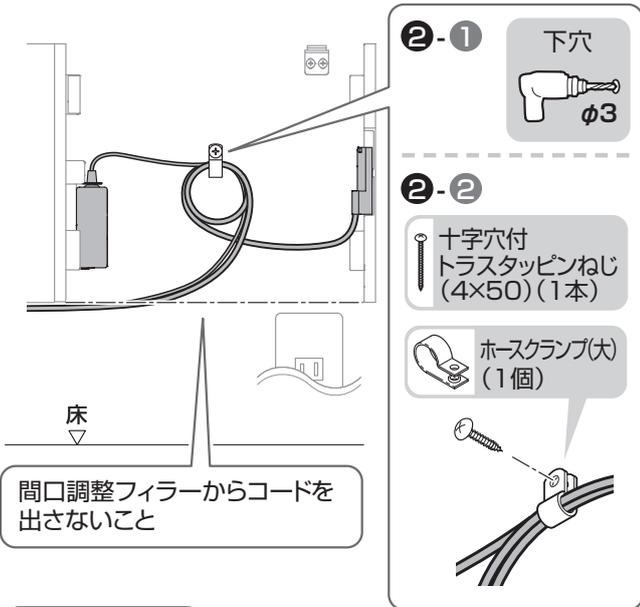
傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。

② コード類をホースクランプ(大)で壁固定する

警告



器具取付用のねじ固定部の壁裏には、
配管・配線を通さない
火災や感電の原因となります。
水濡れして家財などをぬらす財産損害発生の原因
となります。



注意



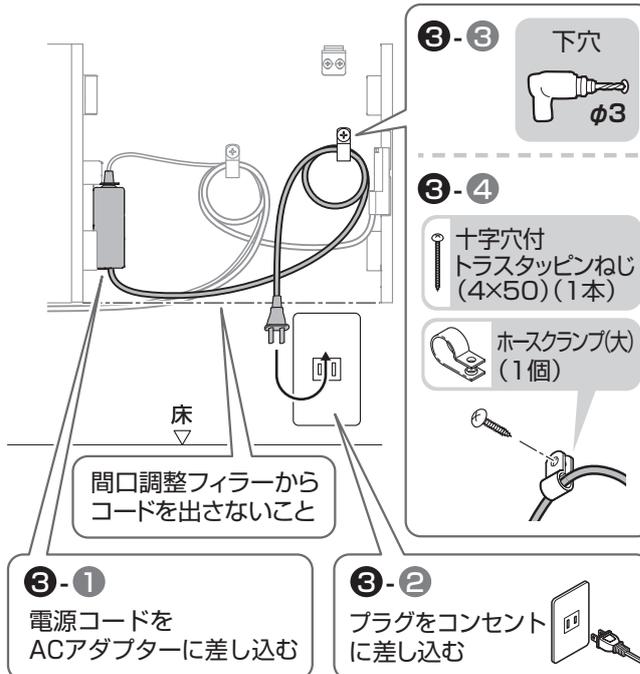
コード類を傷つけないこと
傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。

③ ACアダプターの電源コードを接続しホースクランプ(大)で壁固定する

警告



器具取付用のねじ固定部の壁裏には、
配管・配線を通さない
火災や感電の原因となります。
水濡れして家財などをぬらす財産損害発生の原因
となります。



注意

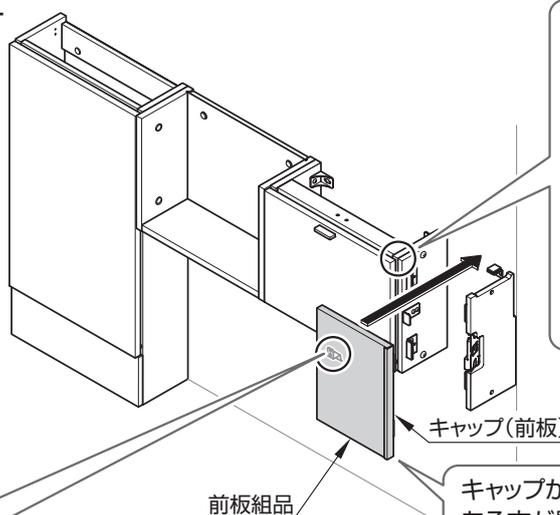
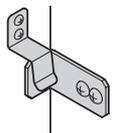


コード類を傷つけないこと
傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。

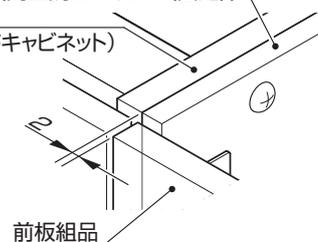
足元照明ありの場合

6 前板組品の取り付け

1 前板組品を引っ掛け、
位置を調整する

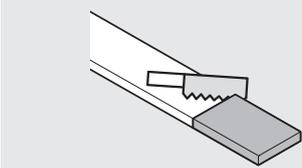


2 側板
(間口調整フィラー(固定))
側板
(サイドキャビネット)



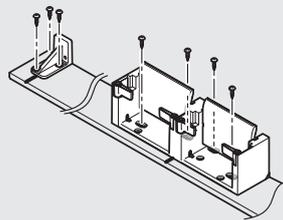
6.カウンター・紙巻器

1 カウンターのカット



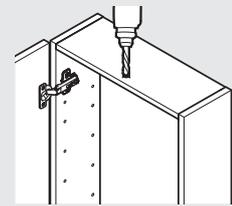
▶P.38

2 ブラケット・紙巻器の取り付け



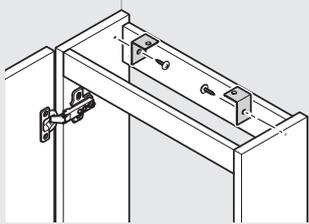
▶P.39

3 キャビネットの加工



▶P.44

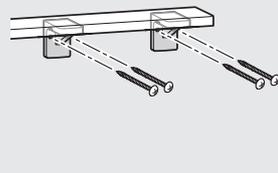
4 アングルの取り付け



▶P.44

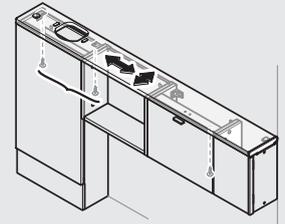
単体キャビネット・
カウンターキャビネットの場合

5 カウンターの取り付け



▶P.45

6 カウンターの本固定



▶P.47

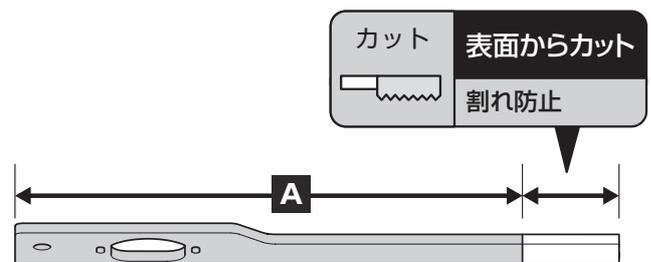
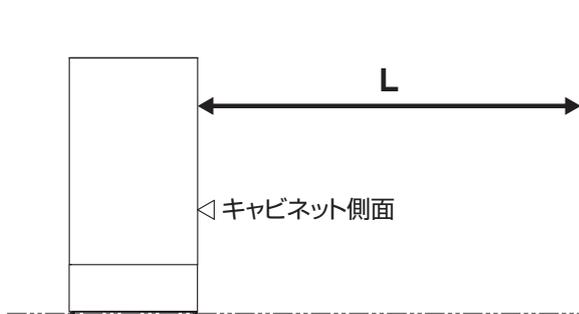
6

カウンター・紙巻器

1 カウンターのカット

カウンターをカットする場合

※図は左勝手の場合(右勝手の場合は左右反転となります。)



ベッセルタイプ(丸形/角形)、手洗器なしの場合

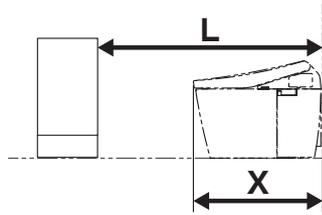
奥行寸法L	+	規定寸法 362	=	けがき寸法A

ハイバックタイプの場合

奥行寸法L	-	規定寸法 3	=	けがき寸法A

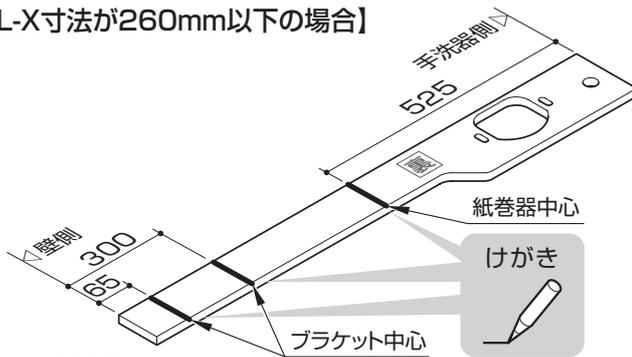
2 ブラケット・紙巻器の取り付け

1 取付位置をけがく



Sサイズ/ベッセルタイプ(丸形/角形)、手洗器なしの場合

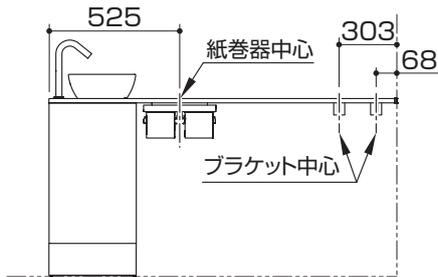
【L-X寸法が260mm以下の場合】



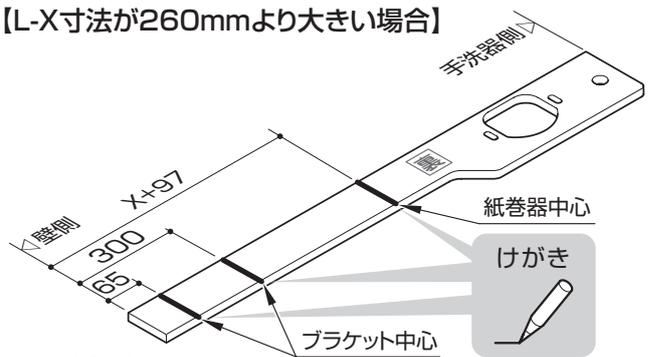
※図は左勝手の場合

取付イメージ

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合



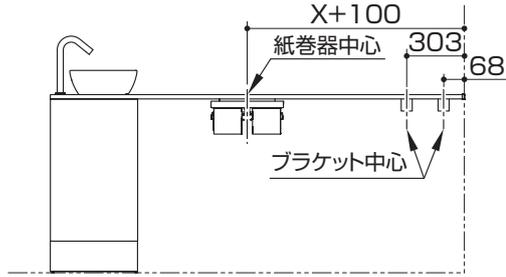
【L-X寸法が260mmより大きい場合】



※図は左勝手の場合

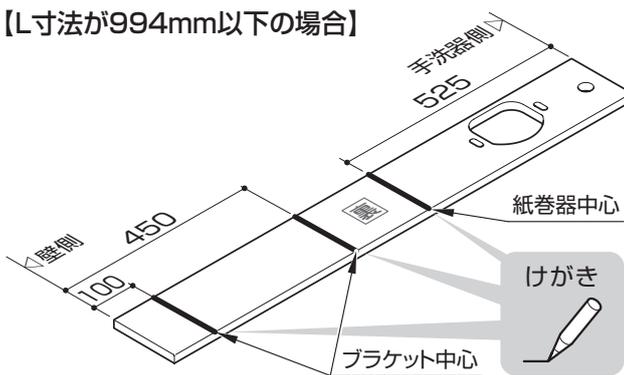
取付イメージ

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合



Mサイズ/ベッセルタイプ(丸形/角形)、手洗器なしの場合

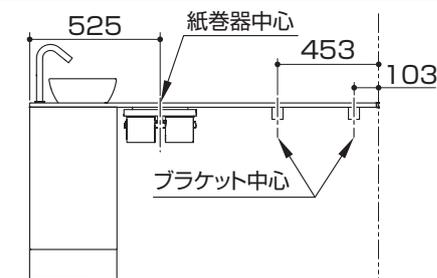
【L寸法が994mm以下の場合】



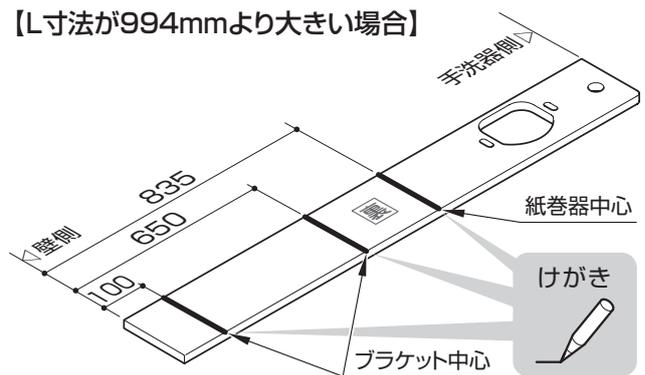
※図は左勝手の場合

取付イメージ

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合



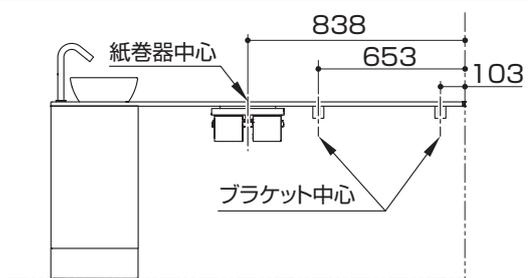
【L寸法が994mmより大きい場合】



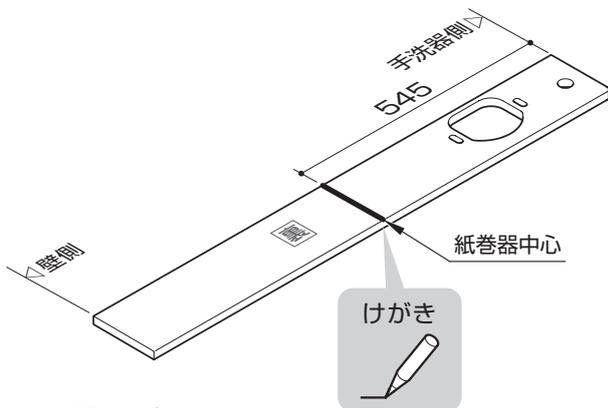
※図は左勝手の場合

取付イメージ

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合



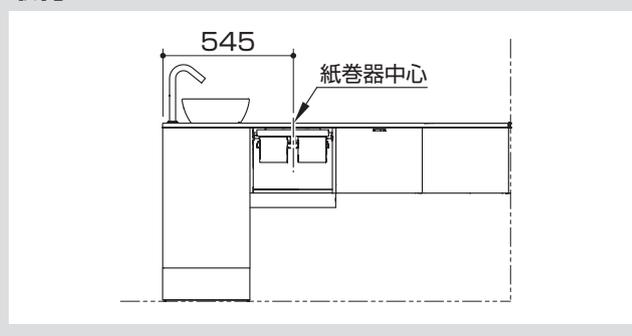
【ハーフキャビネットの場合】



※図は左勝手の場合

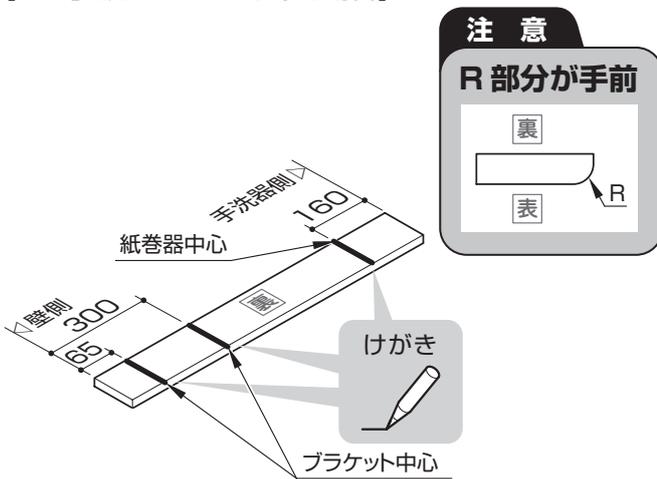
取付イメージ

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合



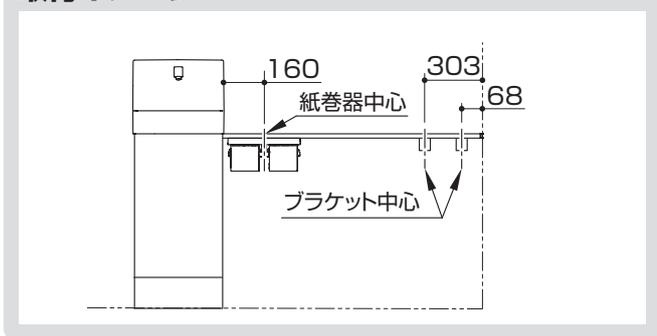
ハイバックタイプの場合

【L-X寸法が320mm以下の場合】

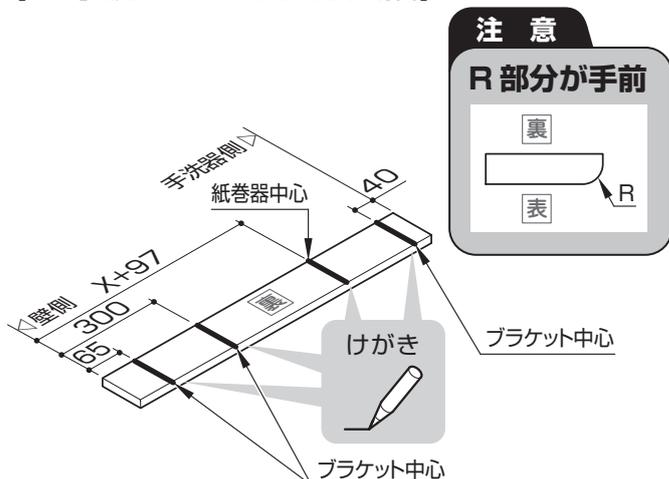


※図は左勝手の場合

取付イメージ

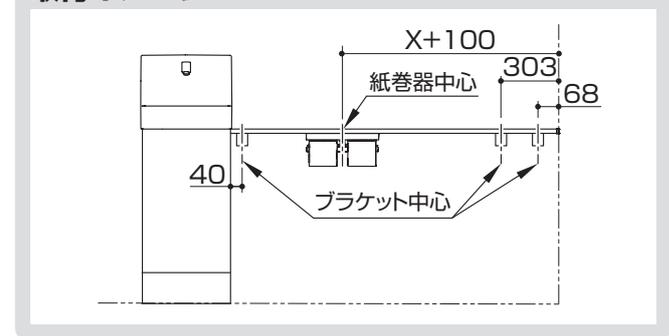


【L-X寸法が320mmより大きい場合】



※図は左勝手の場合

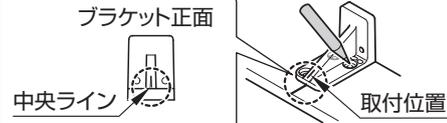
取付イメージ



② カウンターブラケットと紙巻器をけがき線にあわせる

注意

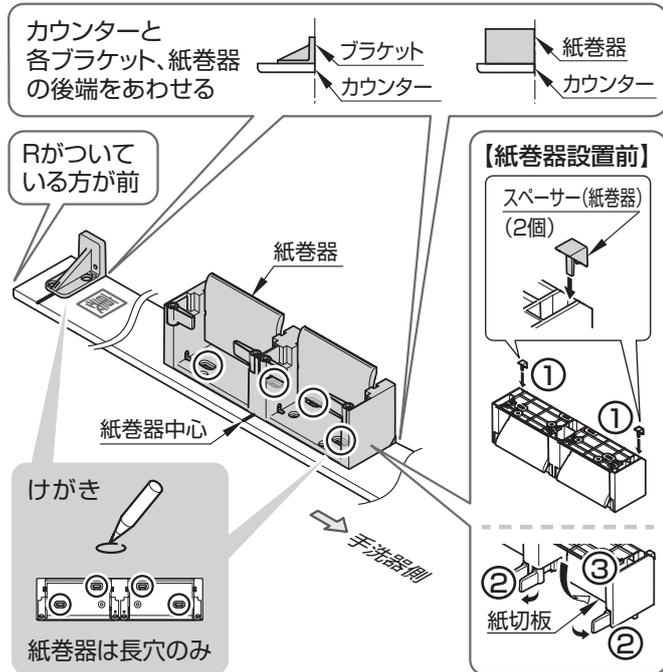
ブラケットの中央ラインと
取付位置をあわせてけがき



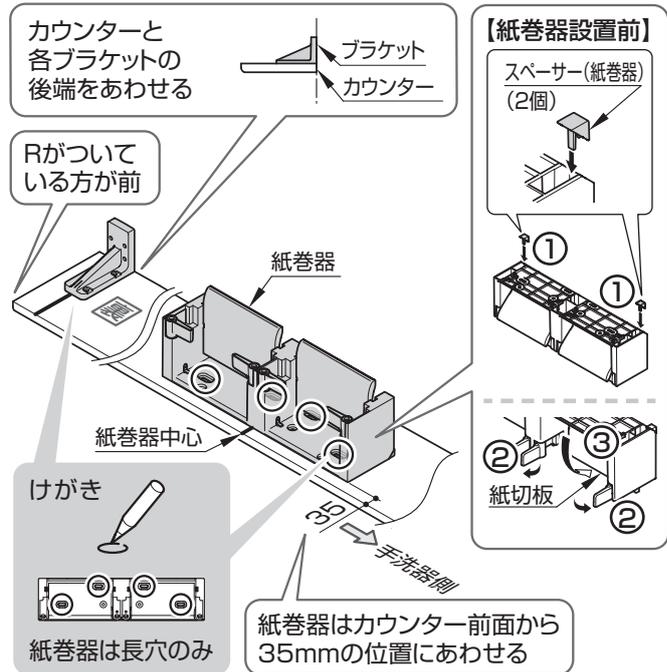
ベッセルタイプ(丸形/角形) / 手洗器なしの場合

樹脂製紙巻器の場合

【Sサイズ】 ※図は左勝手の場合

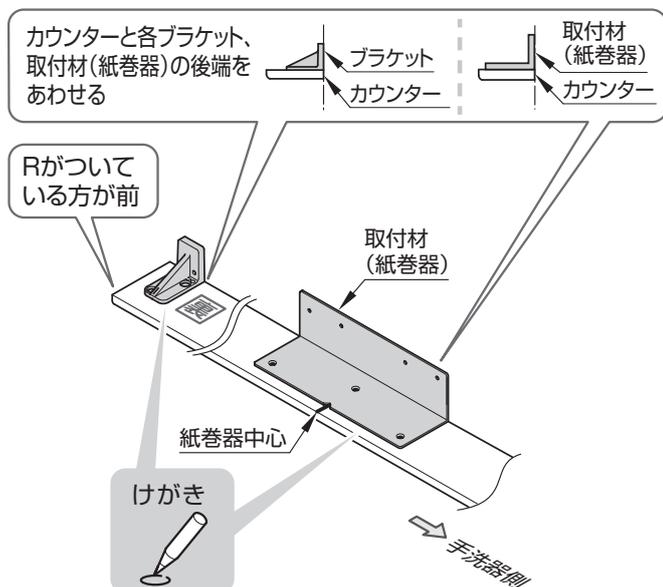


【Mサイズ】 ※図は左勝手の場合

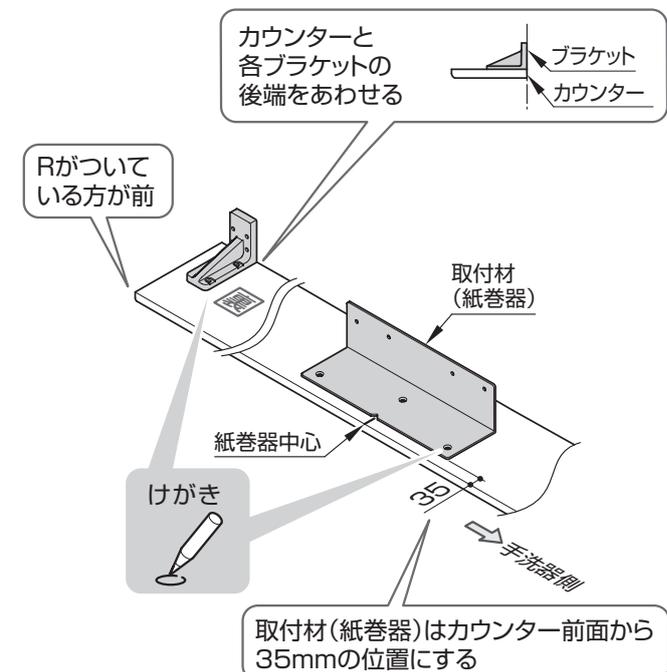


メタル製紙巻器の場合

【Sサイズ】 ※図は左勝手の場合



【Mサイズ】 ※図は左勝手の場合

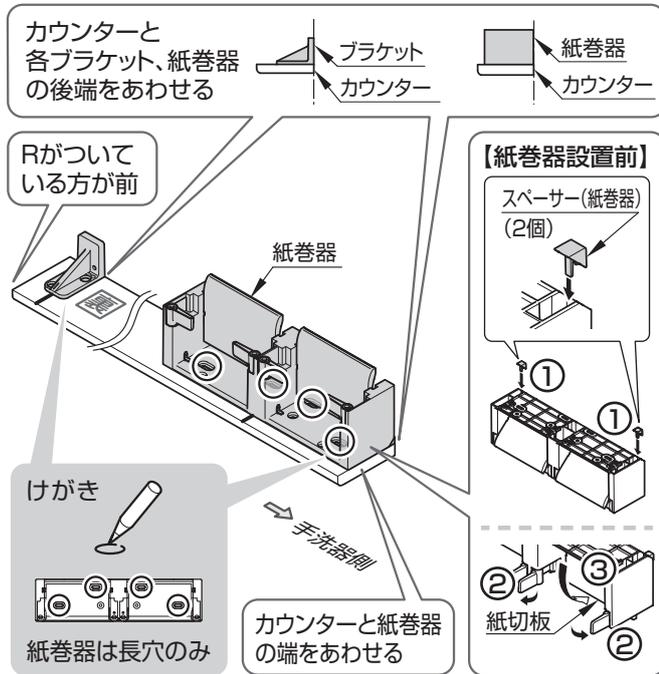


ハイバックタイプの場合

樹脂製紙巻器の場合

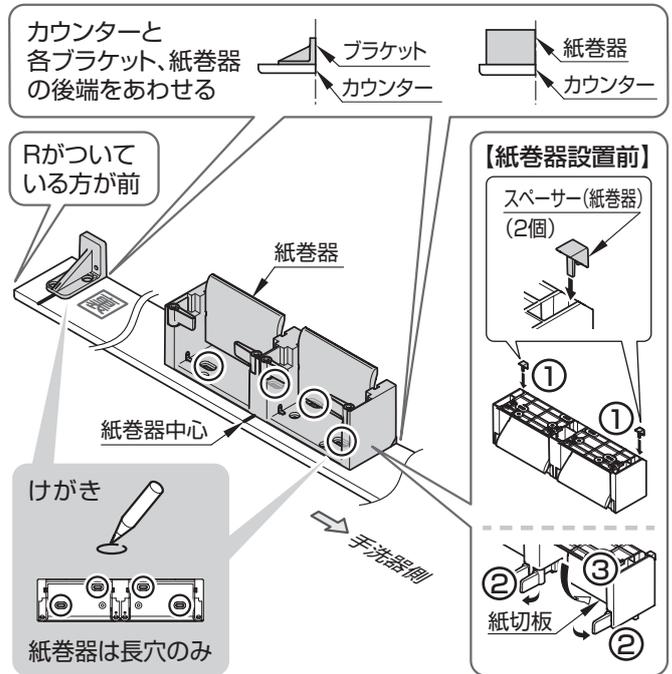
【L-X寸法が320mm以下の場合】

※図は左勝手の場合



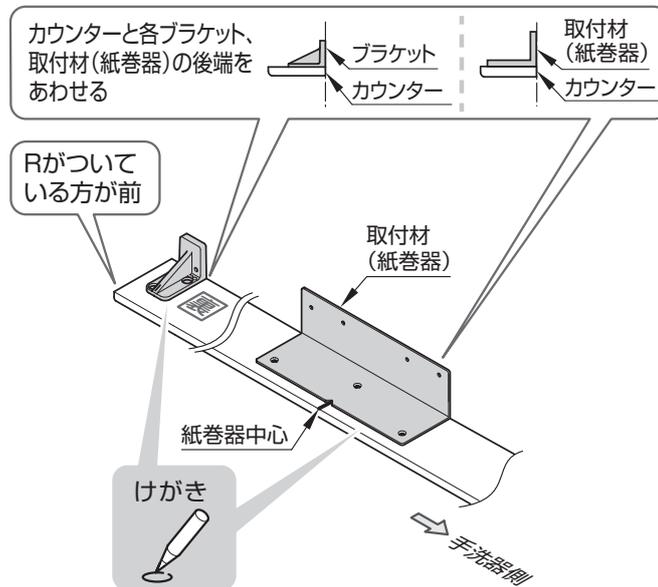
【L-X寸法が320mmより大きい場合】

※図は左勝手の場合



メタル製紙巻器の場合

※図は左勝手の場合



MEMO

③ カウンターと紙巻器・取付材（紙巻器）をねじ固定する

樹脂製紙巻器の場合

③-①

下穴
φ3

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×16) (6本)

カウンターと各ブラケットに段差が出ないようにすること

ブラケット

紙巻器

紙切板

手締めで

注意
下穴の深さは5mmであける
※貫通させないこと

※図はSサイズの場合

③-②

下穴
φ3

ねじセット④
十字穴付トラスタッピンねじ
(4×14) (4本)

※ロングドライバー
(200mm)を使用し
紙切板に当たらない
ようにしてください。

③-③
紙切板を元にもどす

メタル製紙巻器の場合

③-①

下穴
φ3

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×16) (6本)

カウンターと各ブラケットに段差が出ないようにすること

ブラケット

取付材
(紙巻器)

手締めで

注意
下穴の深さは5mmであける
※貫通させないこと

※図はMサイズの場合

③-②

下穴
φ3

[Sサイズ]
十字穴付皿タッピンねじ
(4×16) (2本)

[Mサイズ]
十字穴付皿タッピンねじ
(4×12) (3本)

④ キャップ(カウンター)を仮固定する

④-①

ピッタリ

キャップ(カウンター)

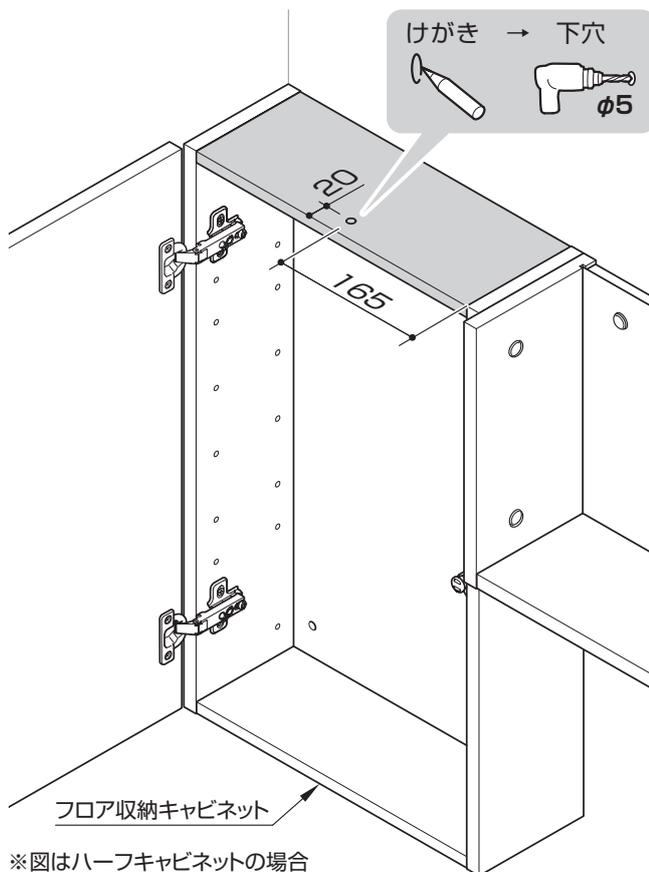
④-② 仮固定
十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12) (1本)

手締めで

※図はMサイズの場合

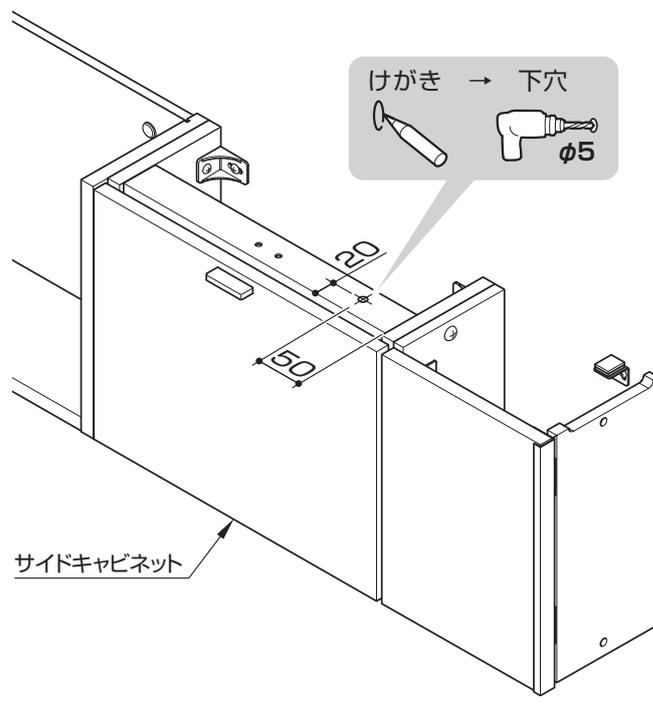
3 キャビネットの加工

フロア収納キャビネット (手洗器なしの場合)



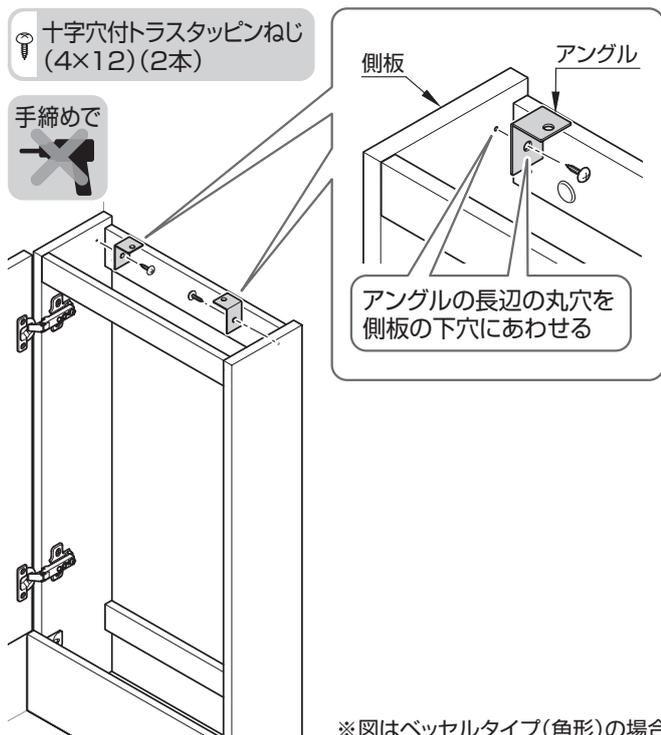
※図はハーフキャビネットの場合

サイドキャビネット (ハーフキャビネットの場合)

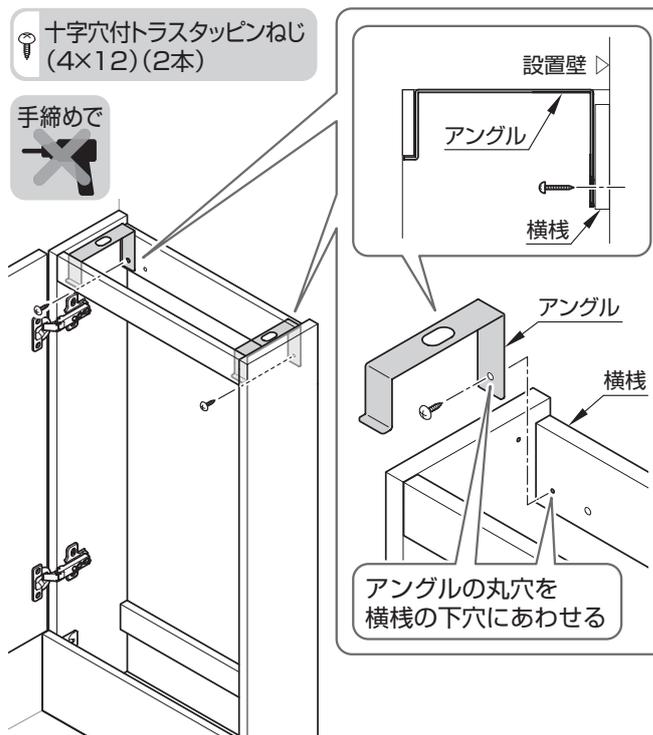


4 アングルの取り付け

ベッセルタイプ (丸形/角形) の場合



ハイバックタイプの場合

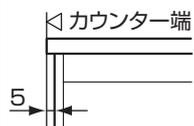


単体キャビネット・カウンターキャビネットの場合

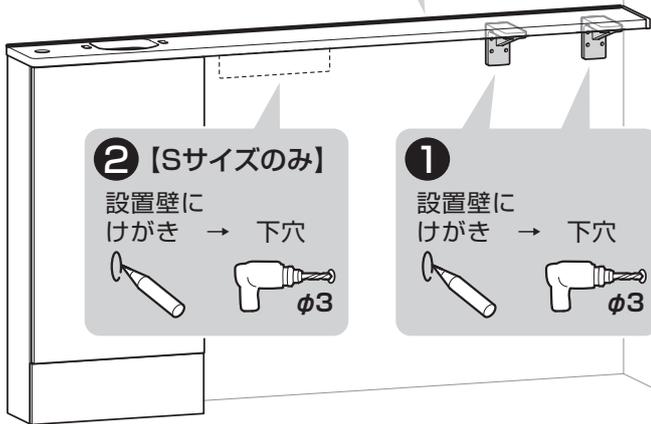
5 カウンター の取り付け ※単体キャビネットの場合は 7 へ

ベッセルタイプ(丸形/角形)、手洗器なしの場合

注意



水平確認

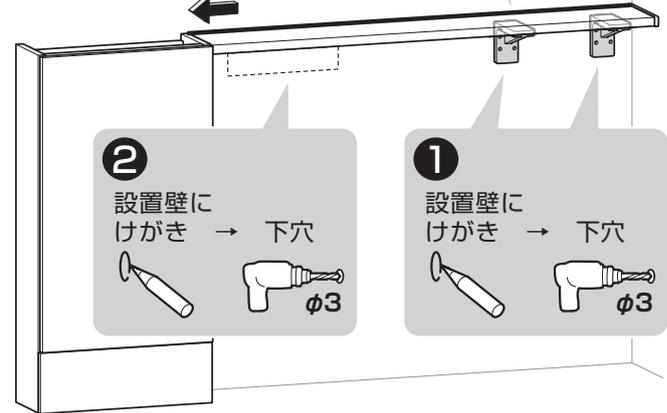


※下穴加工はカウンターをいったん外してから実施してください。

ハイバックタイプの場合

キャビネット上面にあわせて
押し当てる

水平確認

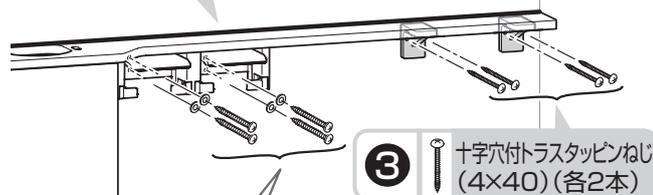


※下穴加工はカウンターをいったん外してから実施してください。

樹脂製紙巻器の場合

【Sサイズ】

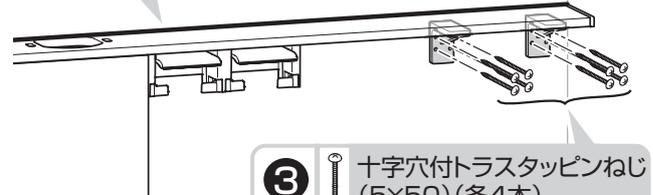
水平確認

4 十字穴付なべタッピンねじ
(4.5×40) (4本) 平座金
(4個)

※ロングビット(200mm)を使用し紙切板に当たらないようにしてください。

【Mサイズ】

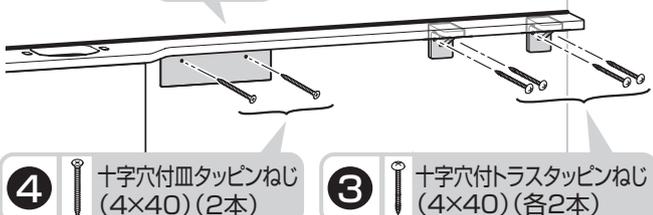
水平確認



メタル製紙巻器の場合

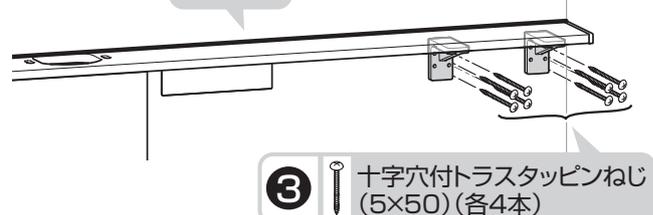
【Sサイズ】

水平確認



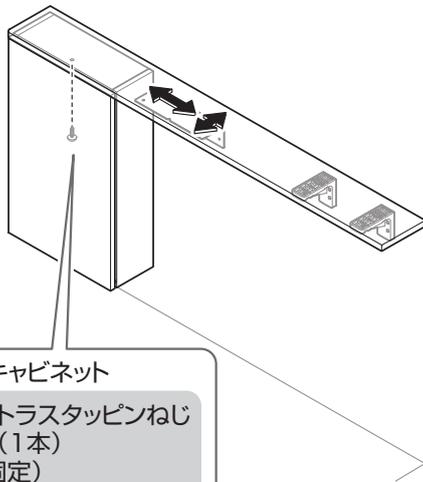
【Mサイズ】

水平確認



7 カウンターの本固定

手洗器なしの場合



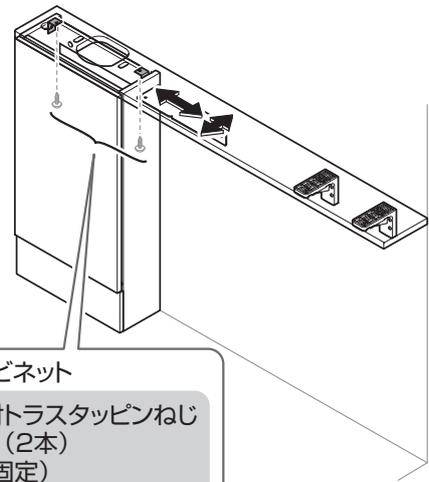
フロア収納キャビネット

十字穴付トラスタップンねじ
(4×25) (1本)
(天板に固定)

手締めで



手洗器ありの場合



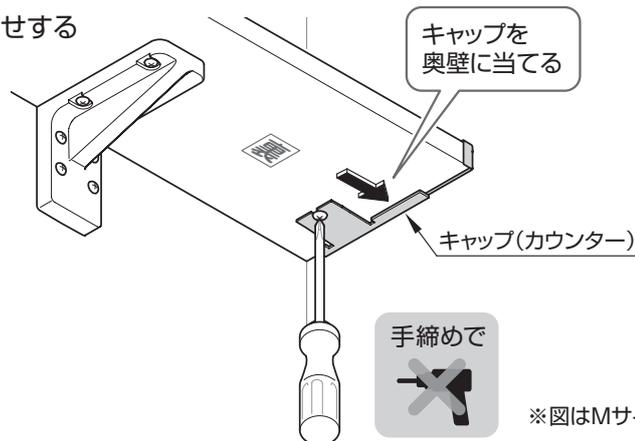
手洗器キャビネット

十字穴付トラスタップンねじ
(4×12) (2本)
(天板に固定)

手締めで

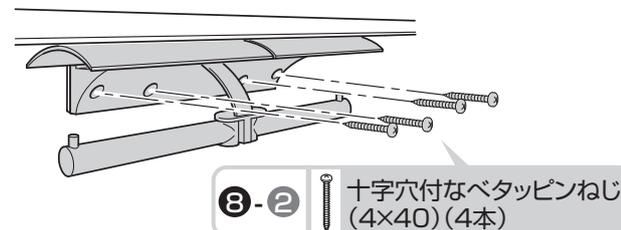
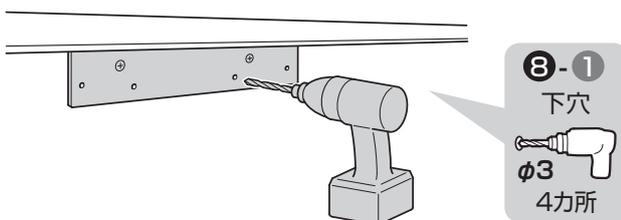


8 キャップ(カウンター)を端寄せする

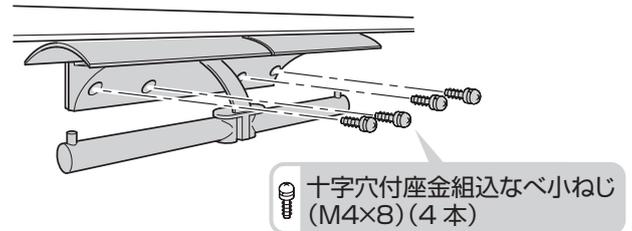


9 メタル製紙巻器の取り付け

Sサイズの場合



Mサイズの場合



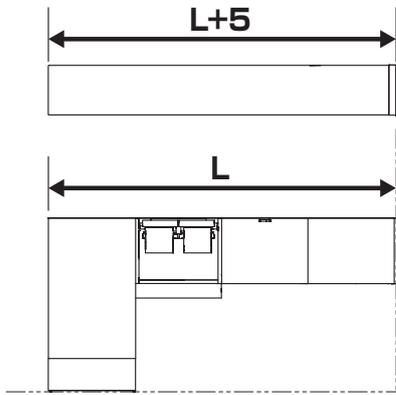
手締めで



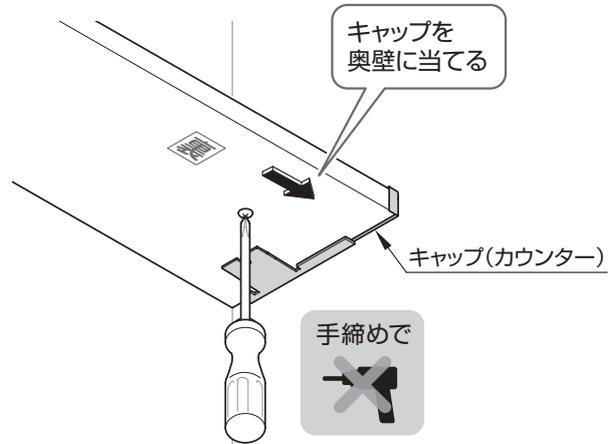
ハーフキャビネットの場合

6 カウンターの本固定

- ① カウンター端部からキャップまでを
L+5になるように調整する



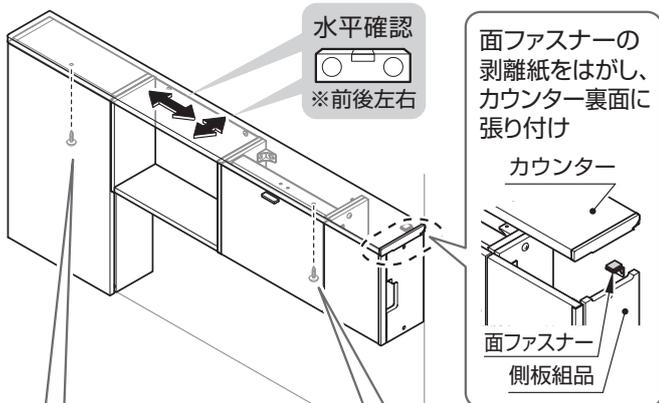
- ② キャップ(カウンター)の本固定



※図はMサイズの場合

- ③ カウンターの本固定

手洗器なしの場合



フロア収納キャビネット

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×25) (1本)
(天板に固定)

手締めで



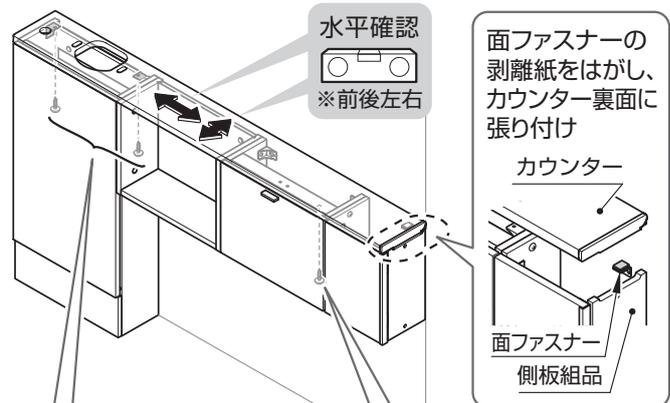
サイドキャビネット

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×20) (1本)
(天板に固定)

手締めで



手洗器ありの場合



手洗器キャビネット

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12) (2本)
(天板に固定)

手締めで



サイドキャビネット

十字穴付トラスタッピンねじ
(4×20) (1本)
(天板に固定)

手締めで

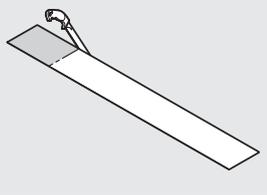


MEMO

7.アクセントパネル(選択商品)

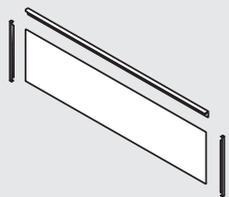
アクセントパネルなしの場合は
P.53へ

1 アクセントパネル設置の準備



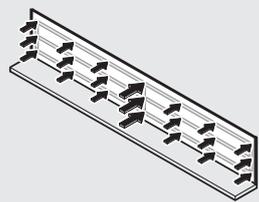
▶P.49

2 フレーム(アクセントパネル)の取り付け



▶P.51

3 アクセントパネルの取り付け



▶P.51

4 リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップの取り付け

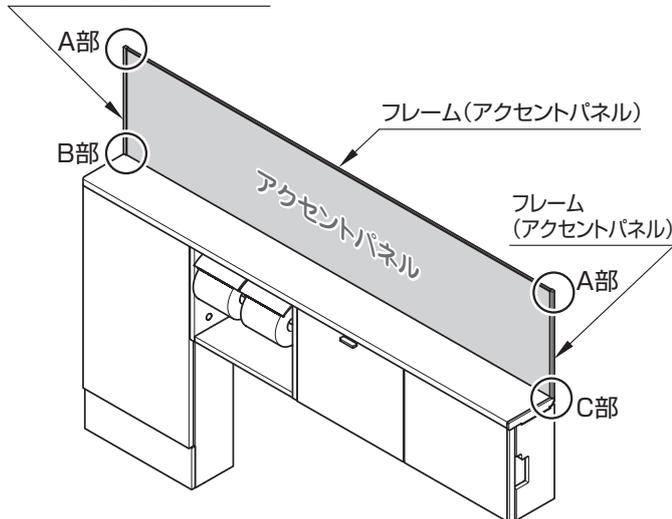


▶P.52

アクセントパネル

完成イメージ① 全体

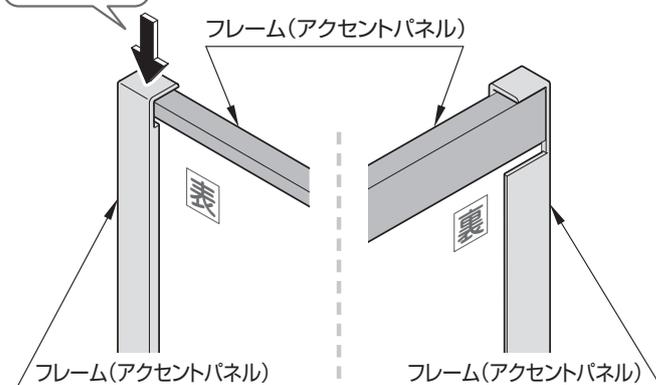
フレーム(アクセントパネル)



※図はハーフキャビネットの場合

完成イメージ② A部

突き当てる

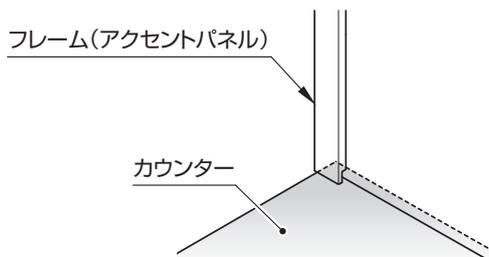


注意

フレーム(アクセントパネル)は水平側が垂直側に飲み込まれること

完成イメージ③ B部

エプロン側

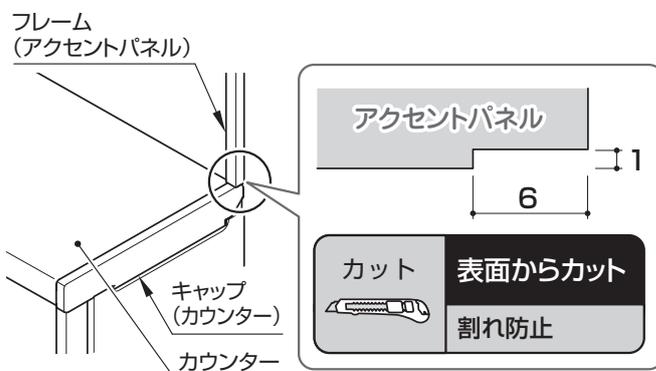


注意

カウンター端面に垂直側のフレーム(アクセントパネル)外端をそろえる

完成イメージ④ C部

便器側

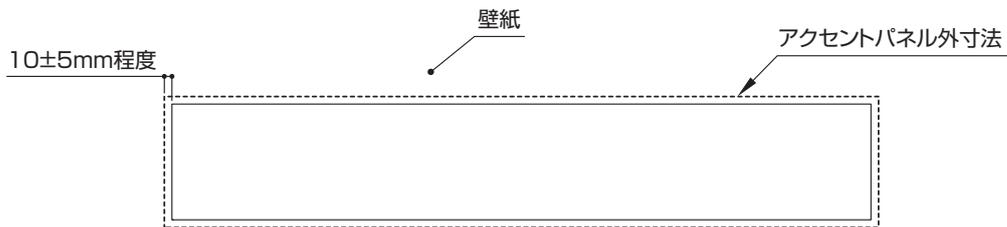


注意

アクセントパネルとキャップ(カウンター)が干渉しないよう、アクセントパネルを切り欠き加工し、側面側に垂直側のフレーム(アクセントパネル)外端をそろえる

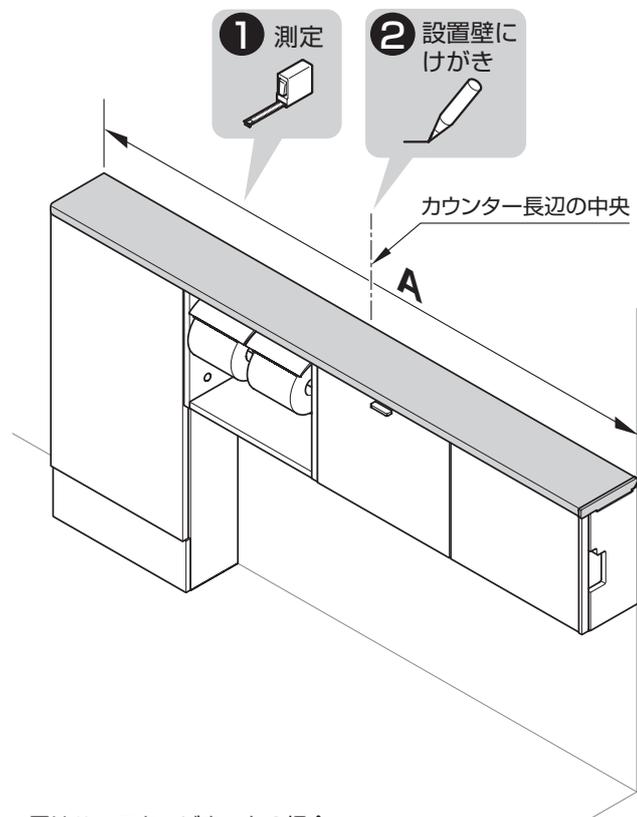
器具の取付前に

壁紙が既に張られている場合には、アクセントパネル外寸法より10±5mm程度内側の範囲をはがしてください。



1 アクセントパネル設置の準備

① カウンターの長辺長さを測定する

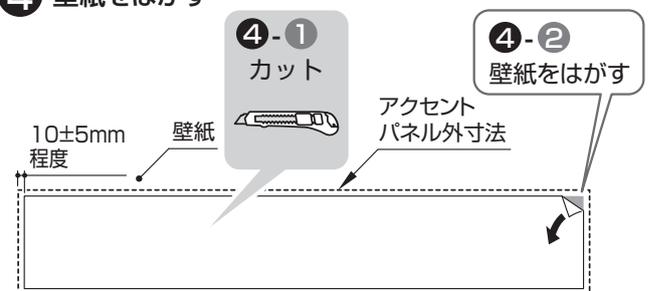


※図はハーフキャビネットの場合

③ アクセントパネルの長辺長さを計算する

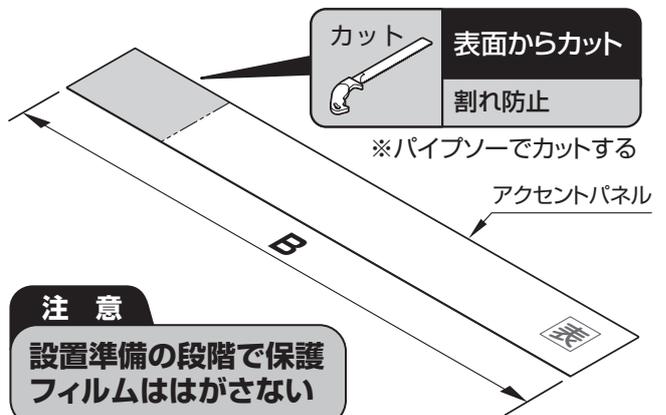
カウンター 長辺長さ A	規定寸法	アクセントパネル 長辺長さ B
	8	

④ 壁紙をはがす

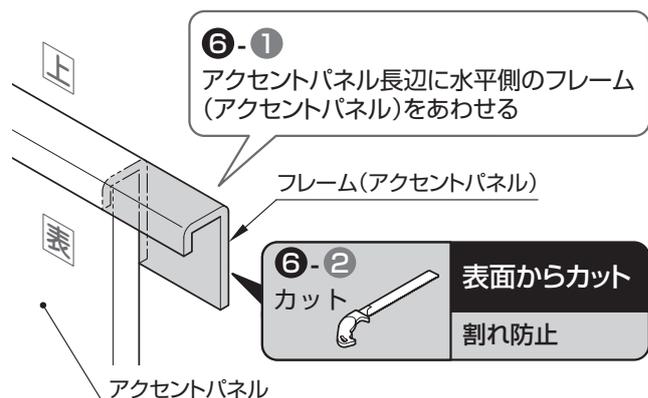


※壁紙の裏打ち紙は可能な限りはがしてください。

⑤ ③の長さにあわせて切断する



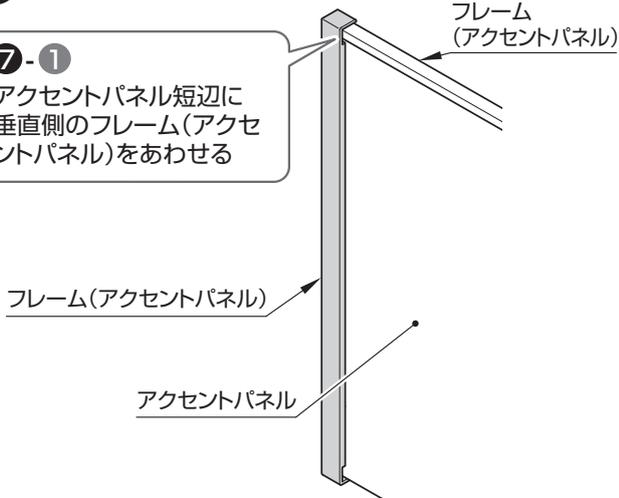
⑥ 水平側のフレーム(アクセントパネル)を切断する



7 垂直側のフレーム(アクセントパネル)を切断する

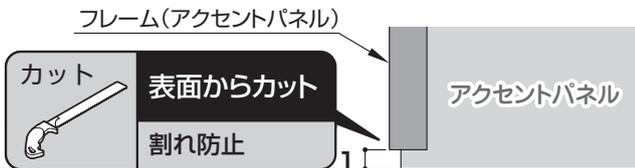
7-1

アクセントパネル短辺に垂直側のフレーム(アクセントパネル)をあわせる



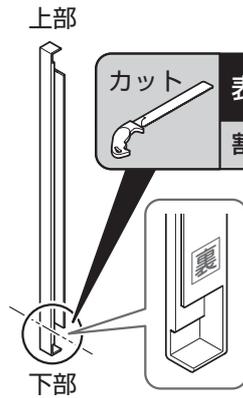
キャップ(カウンター)がない側

7-2 アクセントパネル下端より1mm短く切断する

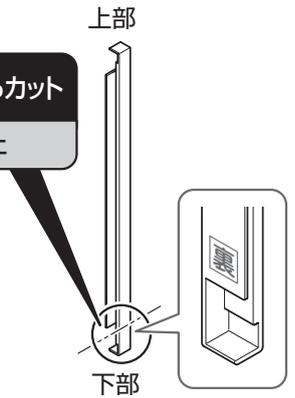


カット位置

【左用の場合】

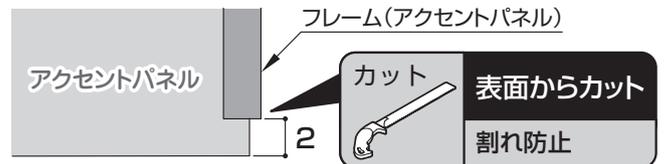


【右用の場合】

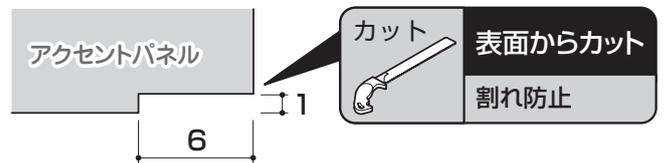


キャップ(カウンター)がある側

7-2-1 アクセントパネル下辺より2mm短くカットする (キャップ(カウンター)との干渉を防ぐため)

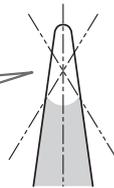


7-2-2 アクセントパネルを1mm×6mmカットする (キャップ(カウンター)との干渉を防ぐため)



8 接着剤のノズル先端を切断する

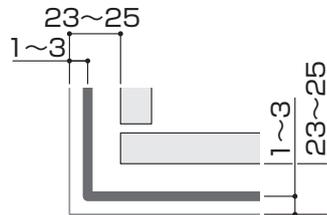
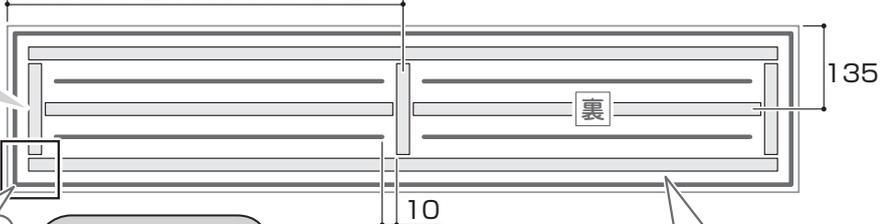
ノズル先端を2方向からカットすると、接着剤の塗布量が一定になる



9 脱脂 → 両面テープ



切断後のアクセントパネル本体の全長/2



注意

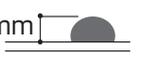
両面テープは重ならないように張り付ける
両面テープが重なるとアクセントパネルが壁から浮き、外れるおそれがあります
必ず守る

10 接着剤の高さが5~7mmになるよう塗布する

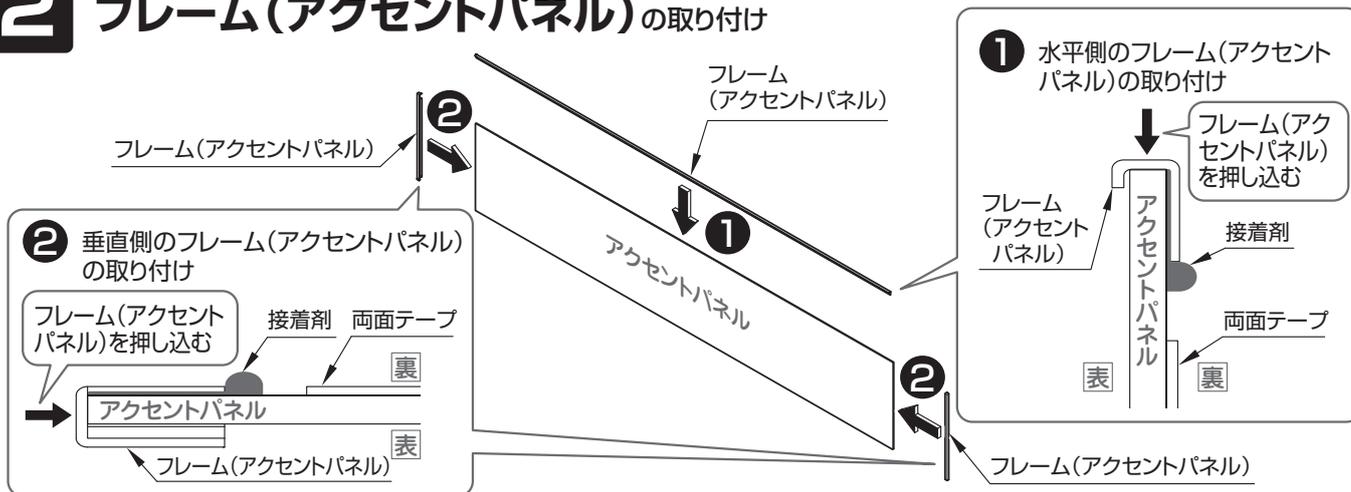
接着剤



5~7mm



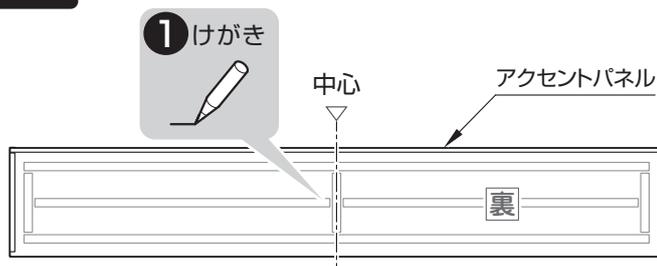
2 フレーム(アクセントパネル)の取り付け



注意

- ・フレーム(アクセントパネル)の押し込み後、接着剤の高さが5～7mmになっていない箇所は再度接着剤を塗布する
- ・接着剤が両面テープの上に乗らないようにする
アクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。

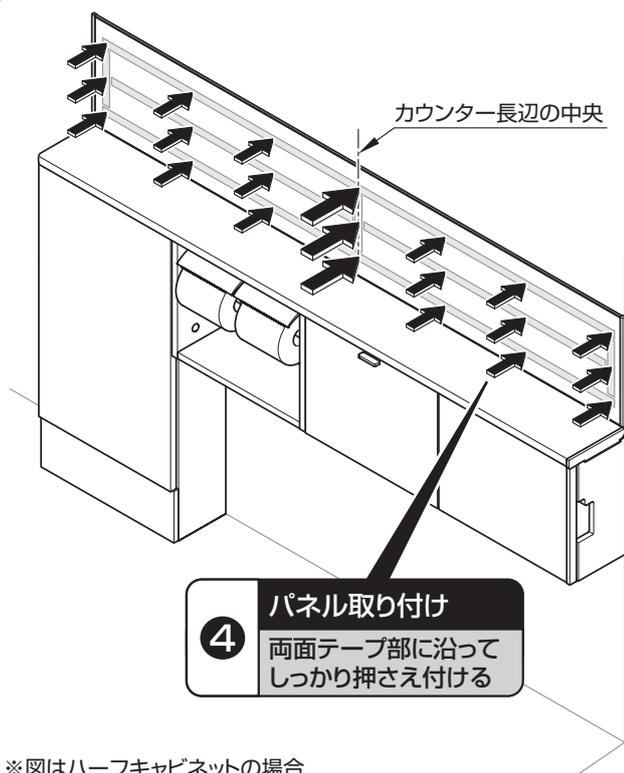
3 アクセントパネルの取り付け



2 建築壁面のほこりを除去する



3 1でけがいた線にアクセントパネル中心をあわせる

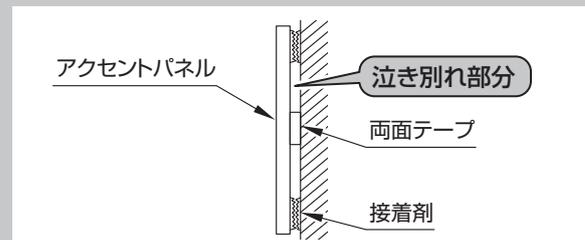


注意

- ・アクセントパネル中心と1でけがいた線を必ずあわせる(片側あわせしない)
垂直側のフレーム(アクセントパネル)の両側(右側左側)で調整代が確保できず、垂直側のフレーム(アクセントパネル)と壁にすきまができる、または、垂直側のフレーム(アクセントパネル)とカウンター端が揃わないおそれがあります。

・接着剤部を押さない

接着剤の泣き別れによりアクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。



・接着剤塗布後、30分以内に張り付ける

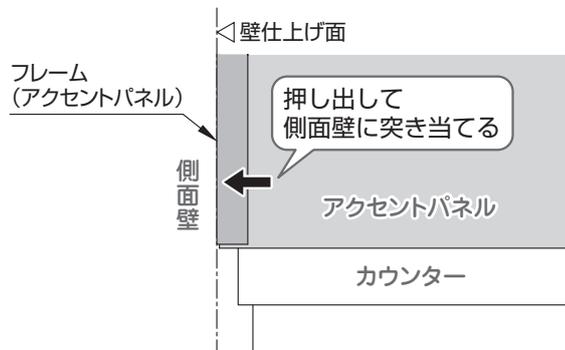
アクセントパネルが壁からはがれるおそれがあります。

※図はハーフキャビネットの場合

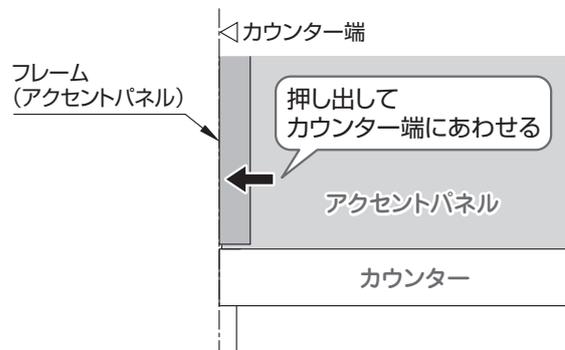
5 アクセントパネル表面の保護フィルムをはがす

6 垂直側のフレーム(アクセントパネル)を調整する

側面壁と接する場合



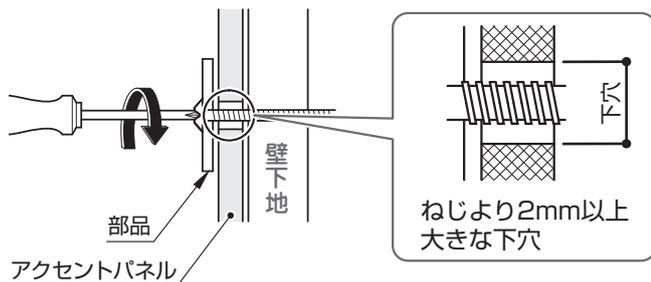
側面壁と接しない場合



7 フレーム(アクセントパネル)からはみ出した接着剤があればふき取る

4 リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップの取り付け

1 リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップ用の穴を開ける



注意

- 下穴は固定ねじ径より大きく開ける
ねじ締め時にアクセントパネル表面にひびが入るおそれがあります。
- 下穴は壁下地まで貫通させない
ねじがきかなくなります。

2 リモコンハンガー、手すり、ハンドグリップを取り付ける

リモコンハンガー

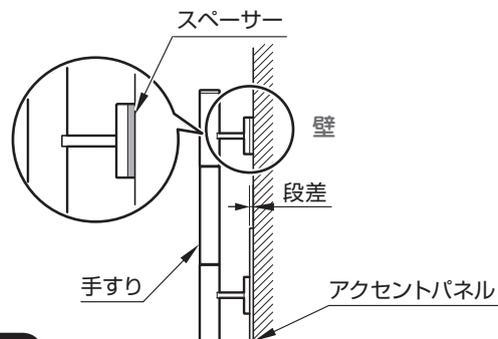
参照 ウォシュレットの施工説明書を参照してください。

注意

アクセントパネル本体内部にリモコン本体が収まるよう設置する
アクセントパネルをまたぐようにリモコン本体を設置すると、リモコン本体が外れるおそれがあります。

手すり

参照 手すり、スペーサーの施工説明書を参照してください。



注意

段差を解消するため、スペーサーを必ず入れる
アクセントパネルの厚み分の段差が生じ、手すりが外れるおそれがあります。

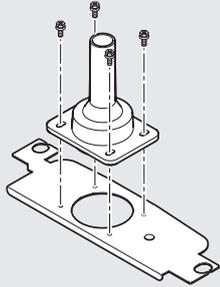
ハンドグリップ

参照 ハンドグリップの施工説明書を参照してください。

8.手洗器・水栓金具

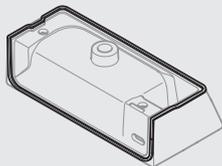
手洗器なしの場合はP.60へ

1 排水ソケットの
組み付け



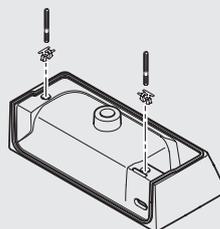
▶P.54

2 クッション材の
張り付け



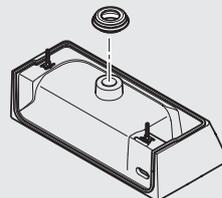
▶P.54

3 手洗器の組み立て



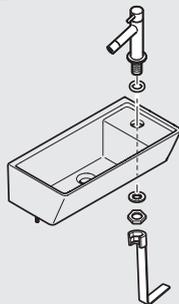
▶P.55

4 パッキン(排水口)
の取り付け



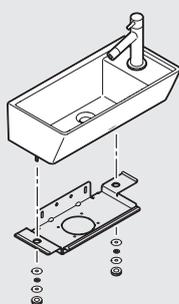
▶P.55

5 水栓金具の取り付け



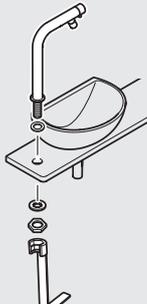
▶P.56

6 手洗器の取り付け



▶P.57

7 水栓金具の取り付け

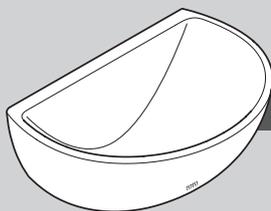


▶P.59

手洗器の種類と、手順を確認して施工してください。

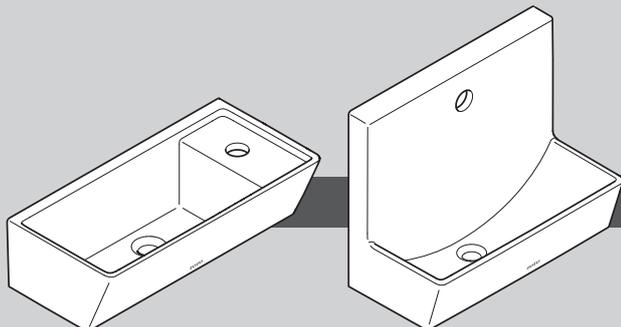
※手洗器の種類で手順が異なります。

手洗器、各手順について



ベッセルタイプ (丸形) の場合

1 ▶ **2** ▶ **3** ▶ **4** ▶ **6** ▶ **7**



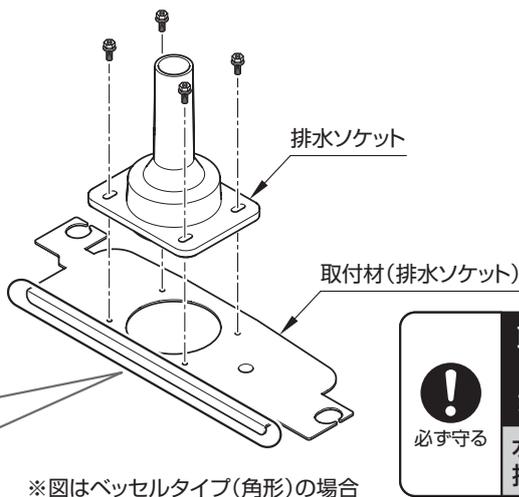
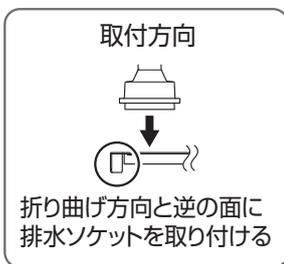
ベッセルタイプ (角形) / ハイバックタイプ の場合

1 ▶ **2** ▶ **3** ▶ **4** ▶ **5** ▶ **6**

1 排水ソケットの組み付け

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
(M4×12、鉄) (4本)

手締めで



!
必ず守る
取付後、排水ソケットと取付材(排水ソケット)の間にすき間がないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害の発生の原因になります。

2 クッション材の張り付け

① 張り付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る

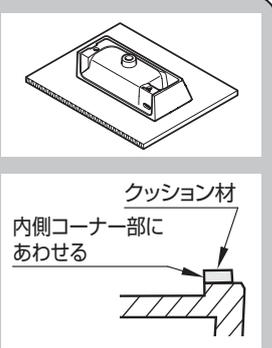
② クッション材のセパレータをはがしながら、下記の位置にクッション材を張り付ける

! **警告**

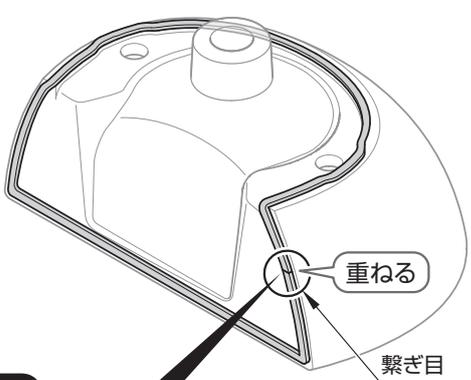
!
必ず守る
クッション材の張り付けは確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

注意

- 手洗器上面を下側にする際は、ダンボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないようにしてください。
- 手洗器の内側コーナー部に
あわせて張り付ける
設置後にクッション材がはみ出すことがあります。

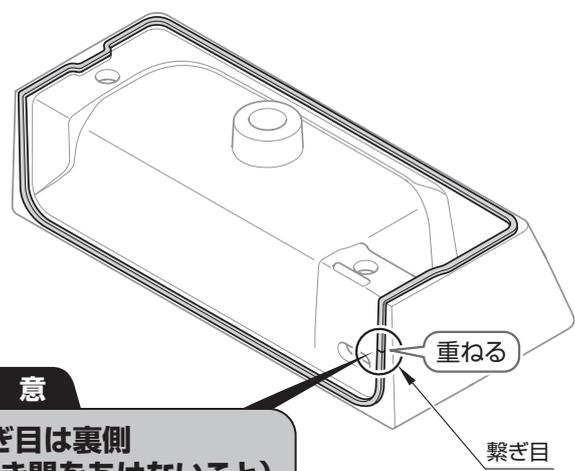


ベッセルタイプ(丸形)の場合



注意
繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)

ベッセルタイプ(角形)の場合



注意
繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)

ハイバックタイプの場合
手洗器の取り付けの際に張り付けます。(▶P.58)

3 手洗器の組み立て

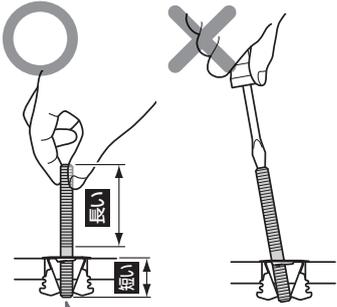
2

【ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合】

手締めで

寸切ボルト
(M6×65、鉄)(2本)

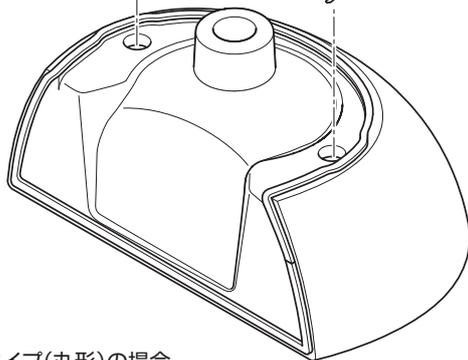
【ハイバックタイプの場合】

寸切ボルト
(M6×40、鉄)(2本)

軽く、手でつまんで、入るまで締める

注意

- ボルトをドライバーで深く締めない
ボルトが斜めに入り、陶器がカウンターにおさまらないことがあります。
- 斜めに入ったねじを無理に真っ直ぐにしない

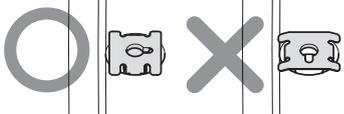
1 クリップナット
(2個)

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

注意

• 平らな面にクリップナットを取り付ける

クリップナットが奥まで入らず、手洗器に馴染みません。



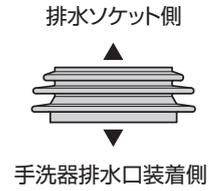
• 陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

寸切ボルトが途中でしか入らず、手洗器が固定できません。

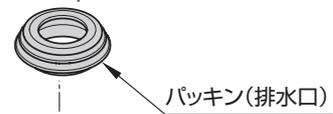


4 パッキン(排水口)の取り付け

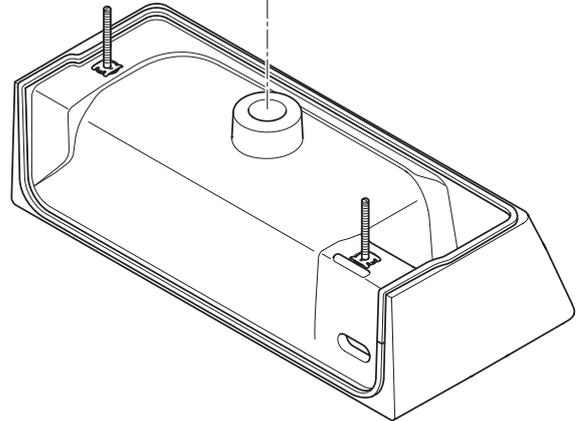
手洗器排水口外周の汚れを取り除き、装着する



手洗器排水口装着側



パッキン(排水口)



※図はベッセルタイプ(角形)の場合

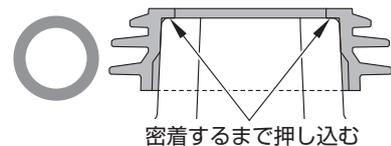
注意



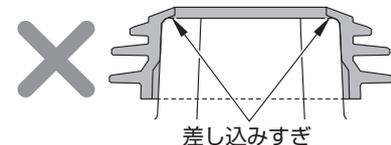
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

密着するまで押し込む



差し込みすぎ

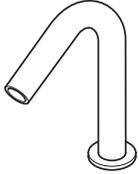
ベッセルタイプ(角形) / ハイバックタイプの場合

5 水栓金具の取り付け

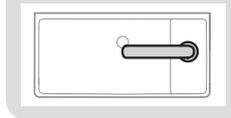
ベッセルタイプ(角形)の場合

【自動水栓の場合】

参照 自動水栓の施工説明書を参照してください。

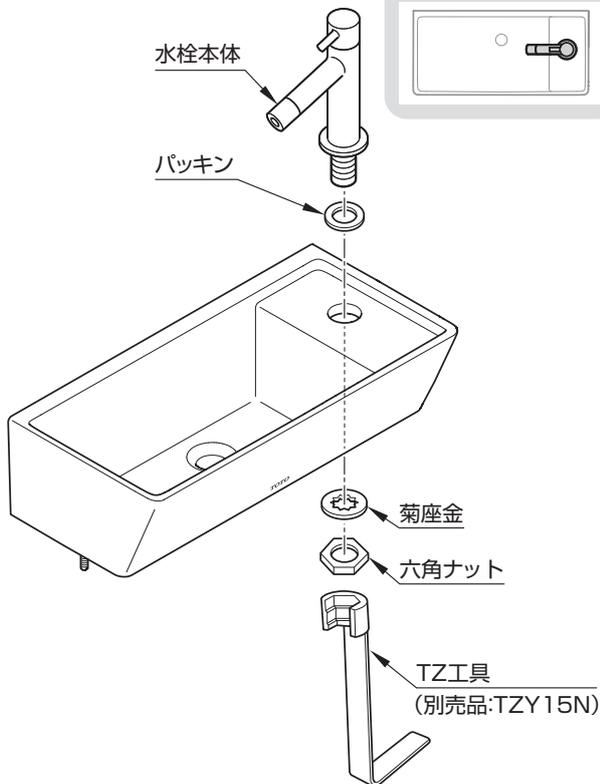
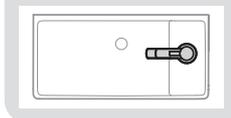


吐水口の向き



【ハンドル式水栓の場合】

吐水口の向き



注意

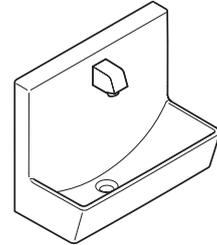
- 水栓本体が動かないことを確認
- 六角ナットの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。



ハイバックタイプの場合

【自動水栓の場合】

※あらかじめ手洗器にセットされています。



【ハンドル式水栓の場合】

参照 ハンドル式水栓の施工説明書を参照してください。



ベッセルタイプ(丸形)の場合

手洗器を設置した後に取り付けます。(▶P.59)

MEMO

6 手洗器の取り付け

ベッセルタイプ(丸形)の場合

注意

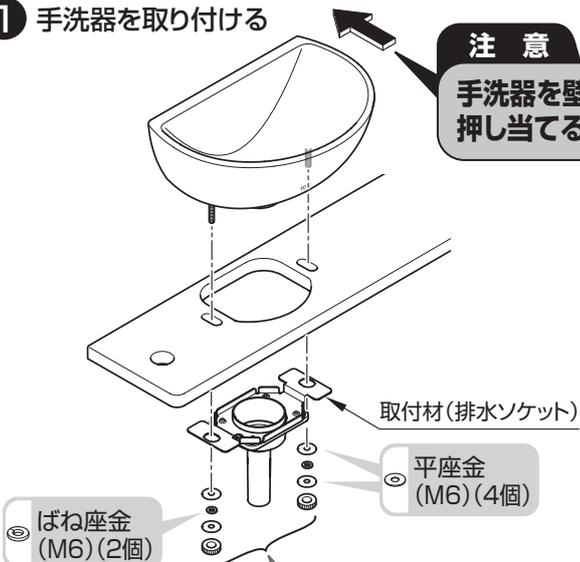
バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

1 手洗器を取り付ける

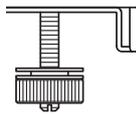
注意

手洗器を壁に押し当てる



1-1 ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる

ローレットナット (M6) (2個)



注意

必ず守る パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

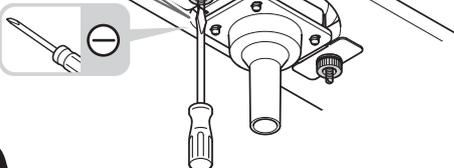
1-2

しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
がなることがあります。

1-3

ローレットナットを
しっかり締め付ける

手締めで



注意

- ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

ベッセルタイプ(角形)の場合

注意

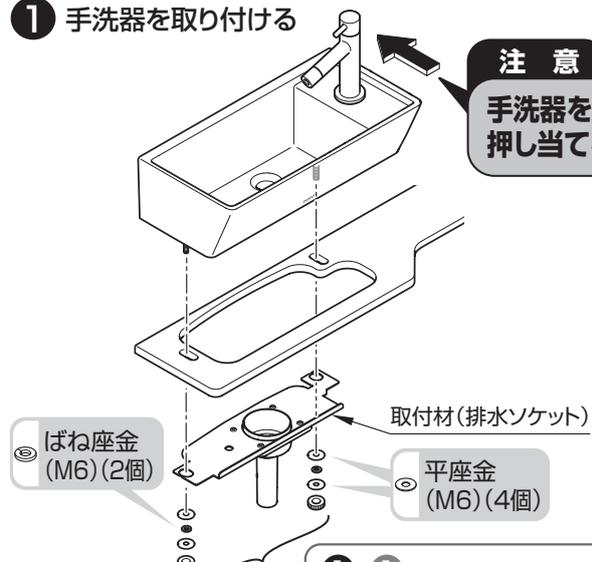
バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定後に行う

参照 バックパネルの施工説明書

1 手洗器を取り付ける

注意

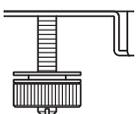
手洗器を壁に押し当てる



1-1

ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる

ローレットナット (M6) (2個)



注意



水栓部分を持たない

給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生の原因となります。



パッキン(排水口)がセットされていることを確認する

水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

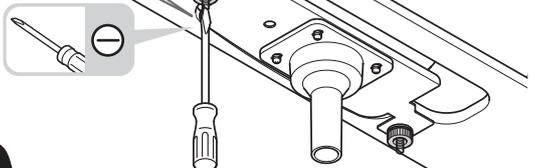
1-2

しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
がなることがあります。

1-3

ローレットナットを
しっかり締め付ける

手締めで



注意

- ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

ハイバックタイプの場合

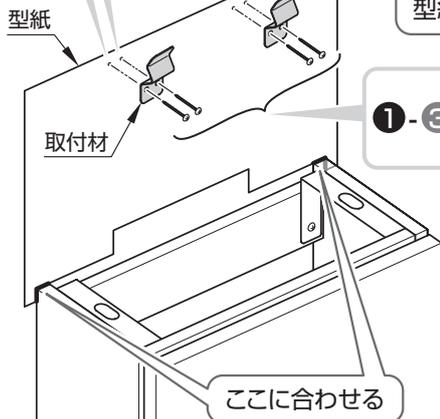
① 取付材を取り付ける

①-① けがき → 下穴



取付穴位置

①-② 型紙を外す



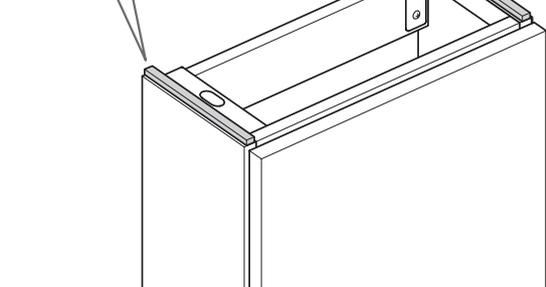
①-③ 十字穴付トラス
タッピンねじ
(4×50)(4本)

ここに合わせる

② クッション材を張り付ける

側板の奥行にあわせてカットし、
側板上部に張り付ける

クッション材



注意

側板からクッション材がはみ出さないようにする

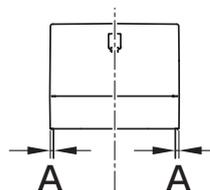
③ 手洗器を取り付ける

③-① 手洗器を取付材に差し込む

注意

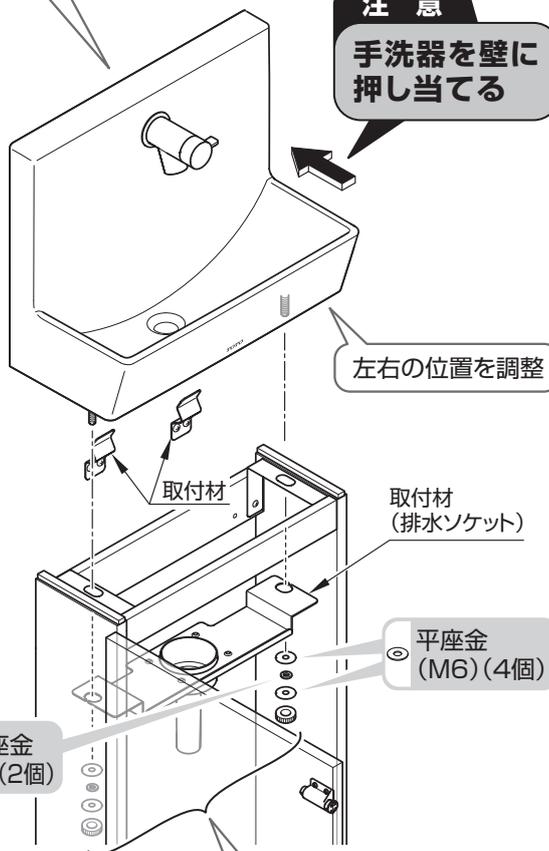
手洗器を図のようにあわせる

左右のチリをあわせる。
手洗器とキャビネットの段差
「A」が均等になるようにする。



注意

手洗器を壁に
押し当てる



左右の位置を調整

取付材
(排水ソケット)

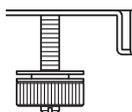
平座金
(M6)(4個)

ばね座金
(M6)(2個)

③-②

ボルトの先端が見えるまでローレット
ナットを入れる

ローレットナット
(M6)(2個)



注意



水栓部分を持たない

給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生の
原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の
原因となります。

③-④
ローレットナットを
しっかり締め付ける

③-③
しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
がなることがあります。

注意

- ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

手締めで

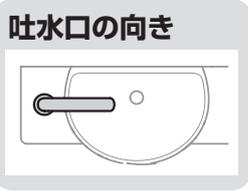
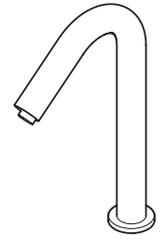
MEMO

ベッセルタイプ (丸形) の場合

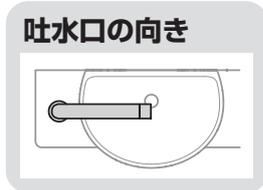
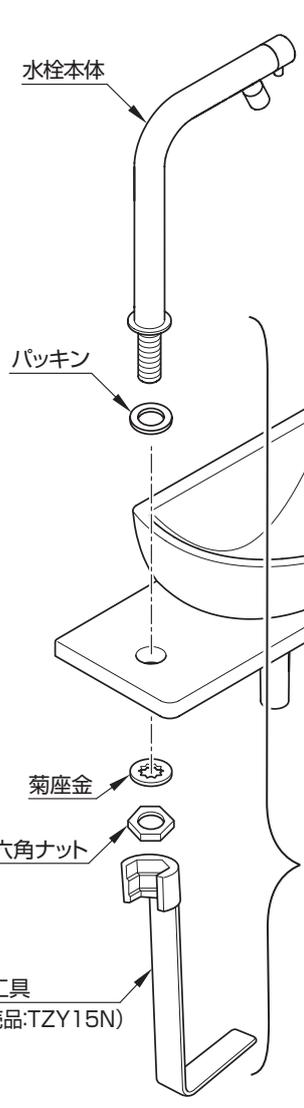
7 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書を参照してください。



ハンドル式水栓の場合



注意

- 水栓本体が動かないことを確認
- 六角ナットの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。

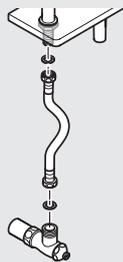
(別売品: TZY15N)

9.フレキホース・コントローラー・電気温水器

手洗器なしの場合はP.65へ

ハンドル式水栓の場合

1 フレキホースの取り付け

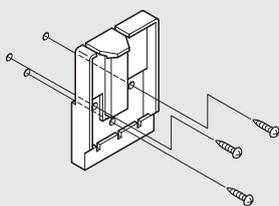


▶P.60 壁給水

▶P.61 床給水

自動水栓の場合

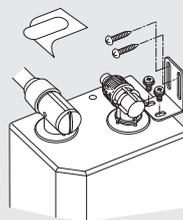
2 コントローラー・機能部・スパウト連結ホースの取り付け



▶P.62

自動水栓(電気温水器付)の場合

3 電気温水器の取り付け

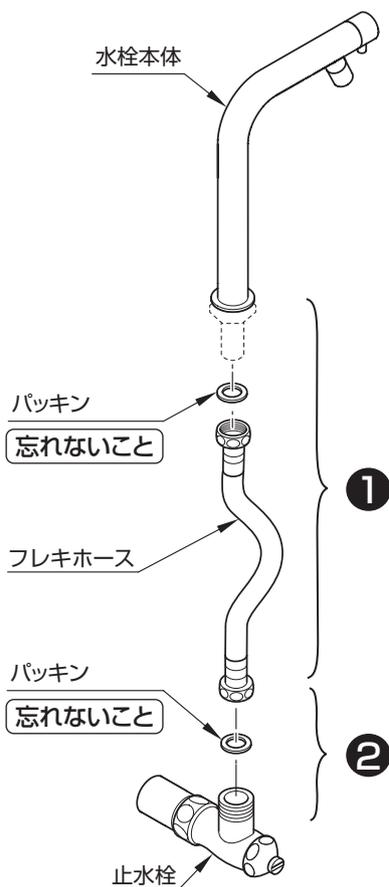


▶P.63

9

1 フレキホースの取り付け

ハンドル式水栓(壁給水)の場合



! 注意



必ず守る

フレキホースを折らない

折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

注意

・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する

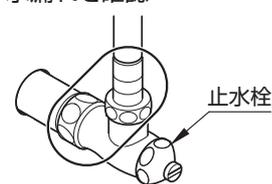
フレキホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

・フレキホースを無理に引っ張らない

フレキホースが折れる可能性があります。

・給水管の各接続部は増し締めする

水漏れを確認



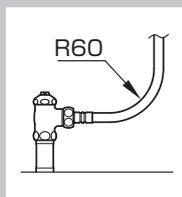
止水栓

ハンドル式水栓（床給水）の場合

注意

・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する

フレキホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

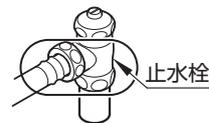


・フレキホースを無理に引っ張らない

フレキホースが折れる可能性があります。

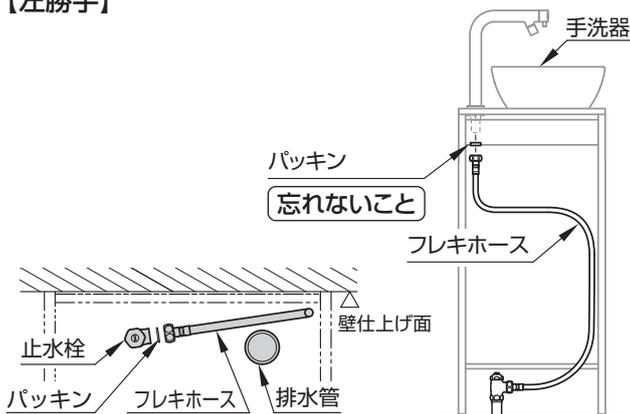
・給水管の各接続部は増し締めする

水漏れを確認

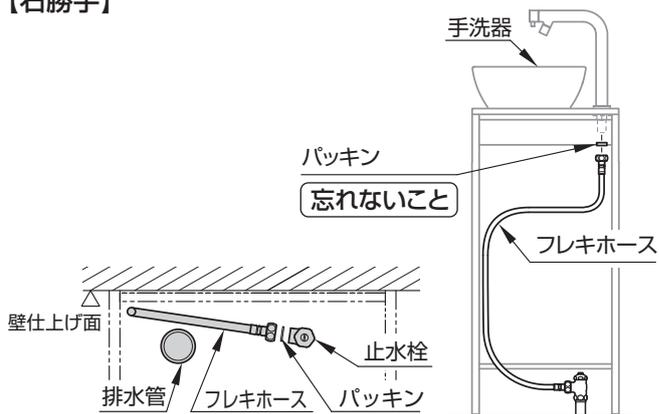


ベッセルタイプ（丸形）の場合

【左勝手】

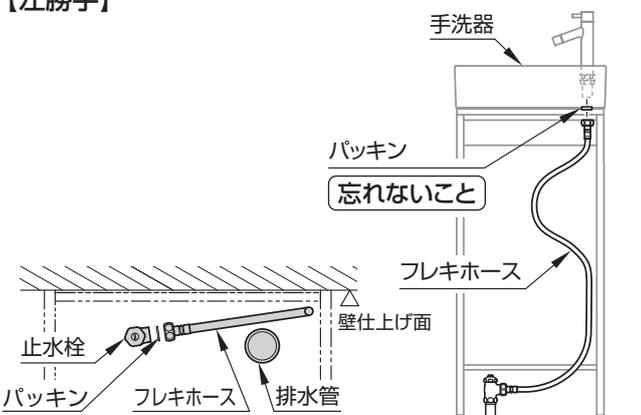


【右勝手】

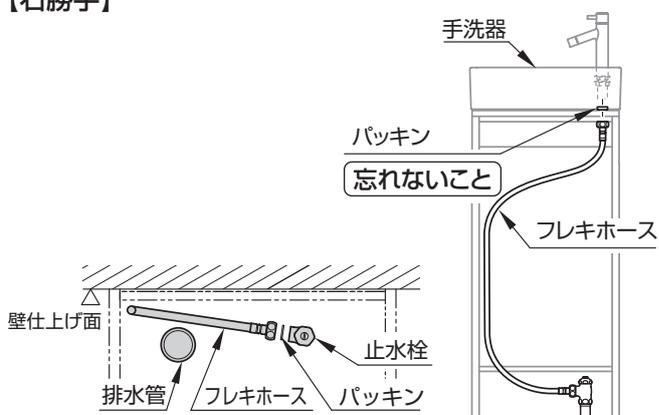


ベッセルタイプ（角形）の場合

【左勝手】

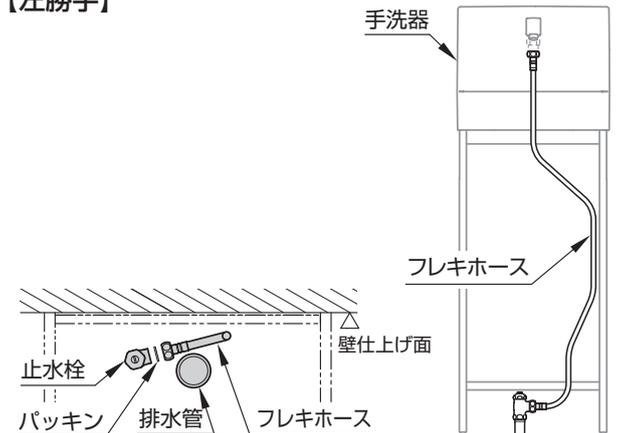


【右勝手】

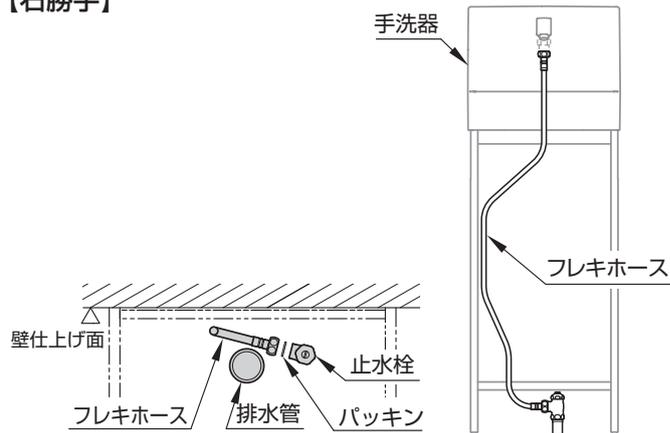


ハイバックタイプの場合

【左勝手】



【右勝手】

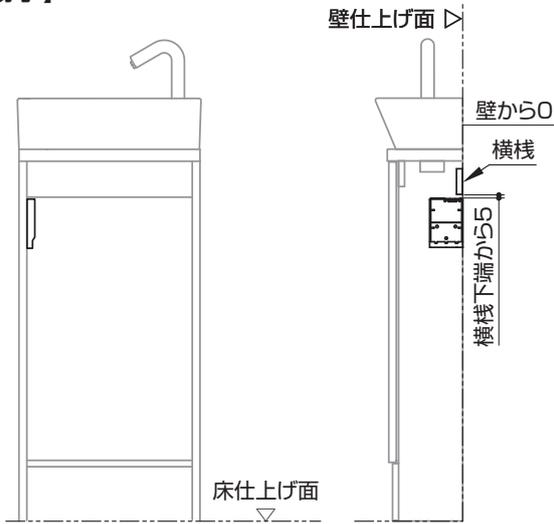


自動水栓の場合

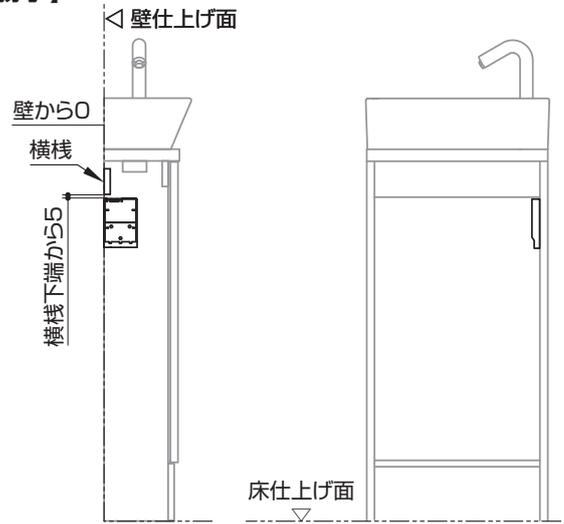
2 コントローラー・機能部・スパウト連結ホースの取り付け

コントローラー固定材取付位置 ※図はベッセルタイプ(角形)の場合

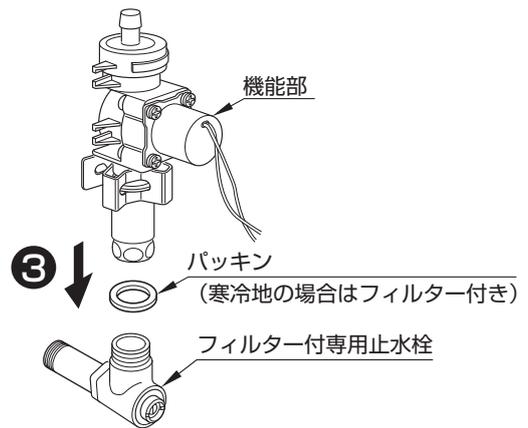
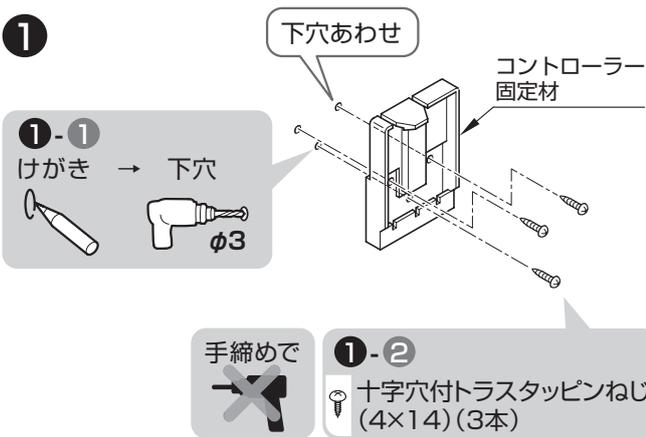
【左勝手】



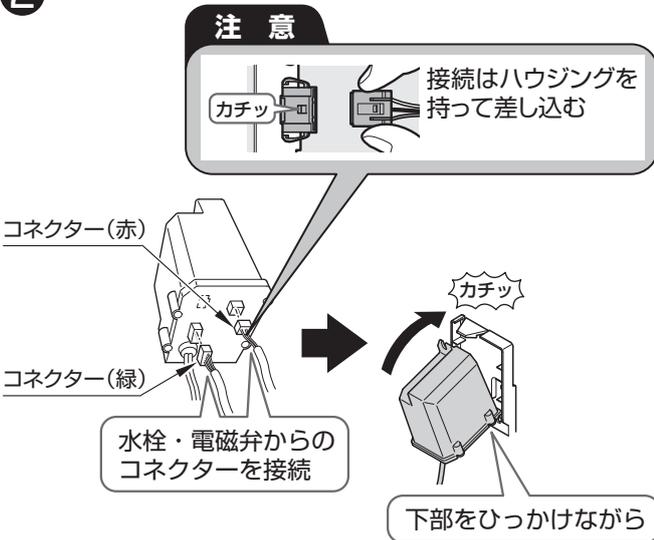
【右勝手】



1

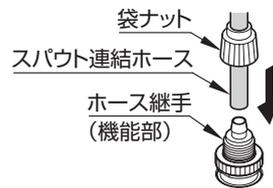


2

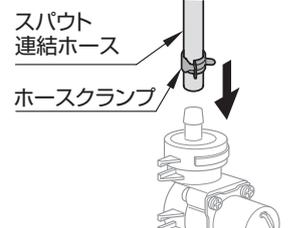


4 スパウト連結ホースを接続する

【寒冷地の場合】



【一般地の場合】



注意

スパウト連結ホースを切断する際は、カッターなどを用い、切断面が垂直になるようにする。斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。必ず守る

スパウト連結ホース接続後、軽く引っ張り抜けないこと

自動水栓 (電気温水器付) の場合

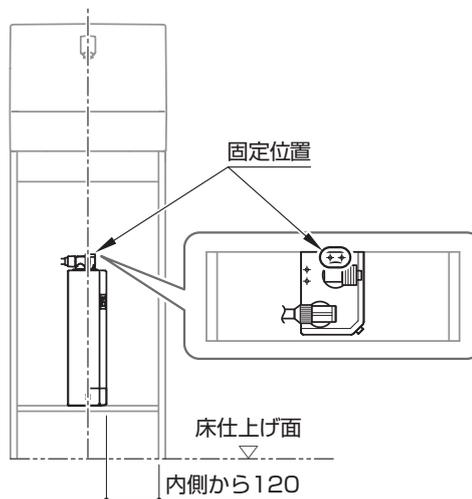
3 電気温水器の取り付け

参照 電気温水器の施工説明書を参照してください。
取付位置と機能部の接続については本書を参照してください。

電気温水器取付位置 ※図はハイバックタイプの場合

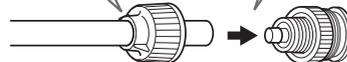
電気温水器が付く場合は底板を先に取り付けてください。(P.71参照)

【右勝手・左勝手共通】



スパウト連結ホースに袋ナットを通す

差し込む



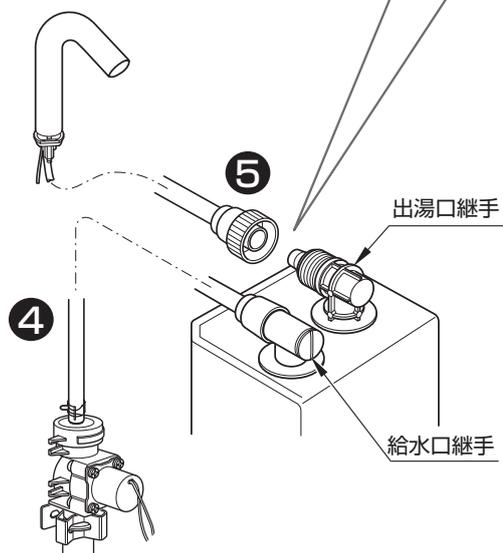
注意



必ず守る

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲らないよう注意する

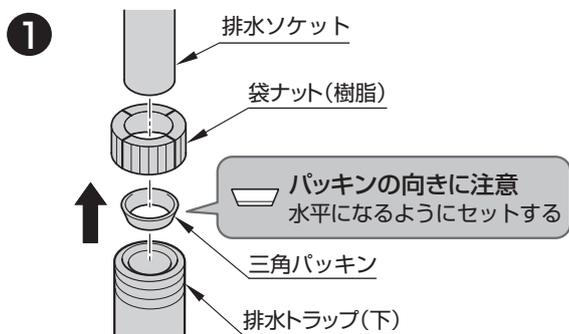
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



10.排水トラップ

手洗器なしの場合はP.65へ

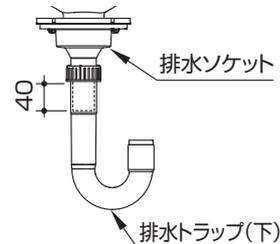
1 排水トラップの取り付け



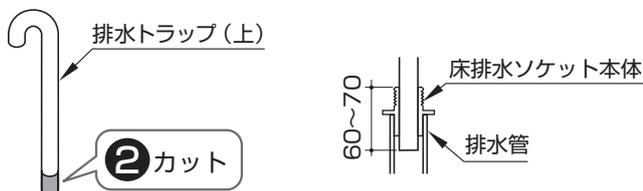
注意

- 排水ソケットを排水トラップ(下)の奥まで入れる
- 各部の袋ナットは手で確実に締める

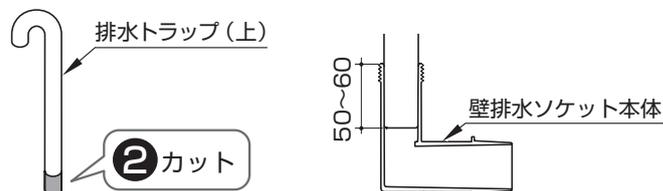
手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに 90 度以上締め付けるのが目安です。



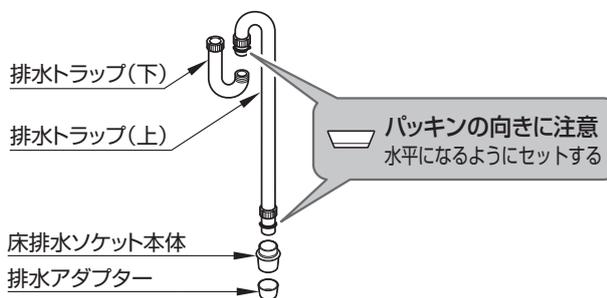
床排水の場合



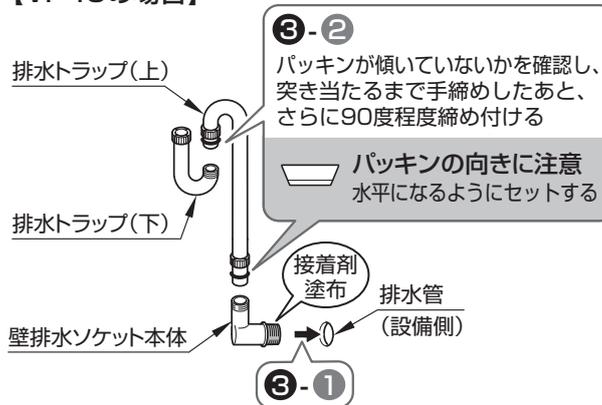
壁排水の場合



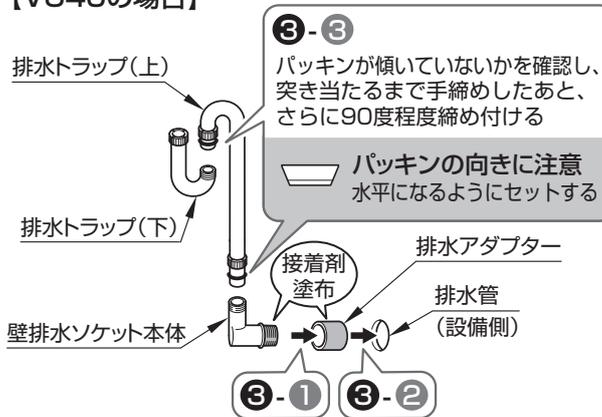
3



3 【VP40の場合】

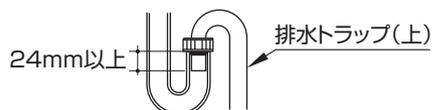


【VU40の場合】



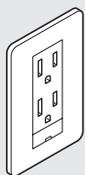
注意

- 排水トラップ(上)を排水トラップ(下)の奥まで入れる
- 各部の袋ナットは手で確実に締める
手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに 90 度以上締め付けるのが目安です。



11. 試運転・確認

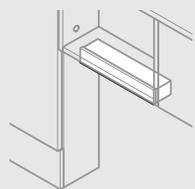
1 電気コンセントの確認



▶P.65

足元照明ありの場合

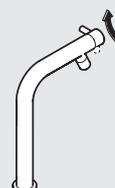
2 足元照明の動作確認



▶P.66

手洗器ありの場合

3 吐水の確認



▶P.66

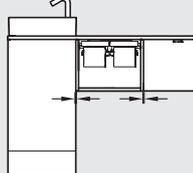
手洗器ありの場合

4 水漏れの確認



▶P.67

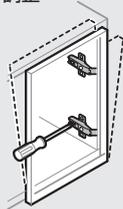
5 キャビネットすき間の確認



▶P.67

ハーフキャビネットの場合

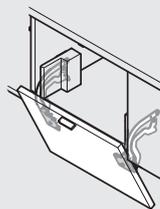
6 手洗器キャビネット扉の調整



▶P.67

ハーフキャビネットの場合

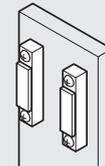
7 スライド扉の調整



▶P.68

ハーフキャビネットの場合

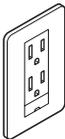
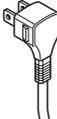
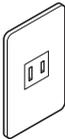
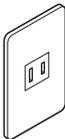
8 間口調整フィラー(固定)の調整



▶P.70

1 電気コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

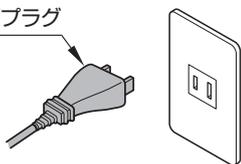
設置位置	設置機器			コンセント	プラグの差し込み位置	
	自動水栓	電気温水器	足元照明		下側	上側
手洗器キャビネット	○	○	—	 接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント	 電気温水器	 自動水栓
	○	—	—	 壁埋込式1口コンセント	 自動水栓	
間口調整フィラー(固定)	—	—	○	 壁埋込式1口コンセント	 足元照明	

足元照明ありの場合

2 足元照明の動作確認

1 電源プラグを差し込む

足元照明用電源プラグ



2 点灯確認

大便器に近づいて行くことで、足元照明が点灯することを確認してください。
(確認は、トイレの外に出てトイレのドアを閉め、100秒以上経過した後に実施)

【点灯しないとき】

部材の接続を再度確認してください。

- ・センサーの取り付け ▶P.30
- ・中継ハーネスの取り付け ▶P.31
- ・LED照明ユニットの取り付け ▶P.36

手洗器ありの場合

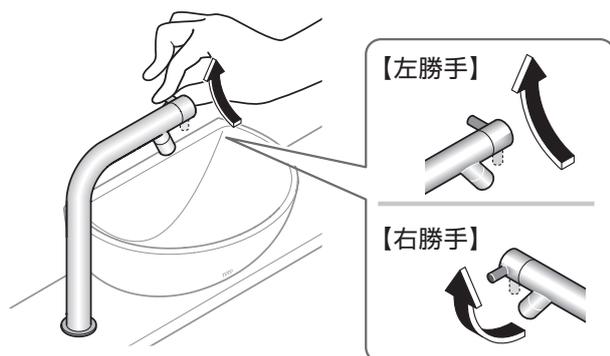
3 吐水の確認

参照 自動水栓・電気温水器の確認は、それぞれに同梱の施工説明書を参照してください。

ハンドル式水栓の場合

1 止水栓が閉まっていることを確認する

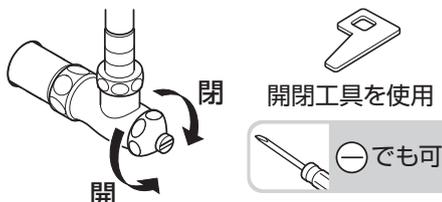
2 ハンドルを全開にする



※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

3 適切な流量になるまで、少しずつ止水栓を開ける

水の勢が強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、止水栓を回して、流量を調整してください。



⚠ 注意

流量は必ず調整する

- ・流量が多いと使用時水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・流量が少ないと複数個所の同時吐水時に流量不足となる場合があります。

必ず守る

★ 水があたる位置

【ベッセルタイプ(丸形)の場合】



流量が多い

流量が少ない

【ベッセルタイプ(角形)の場合】



流量が多い

流量が少ない

【ハイバックタイプの場合】



流量が多い

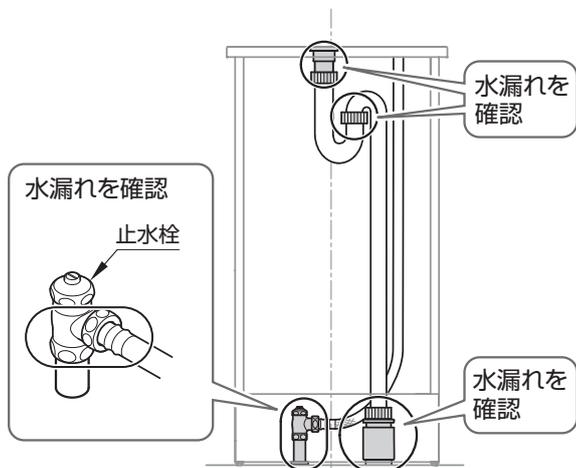
流量が少ない

手洗器ありの場合

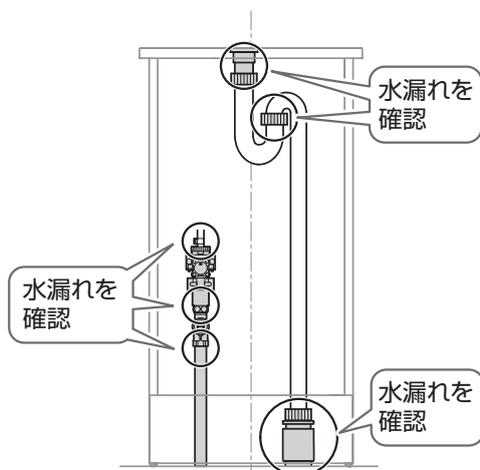
4 水漏れの確認

※図は床給水、床排水の場合

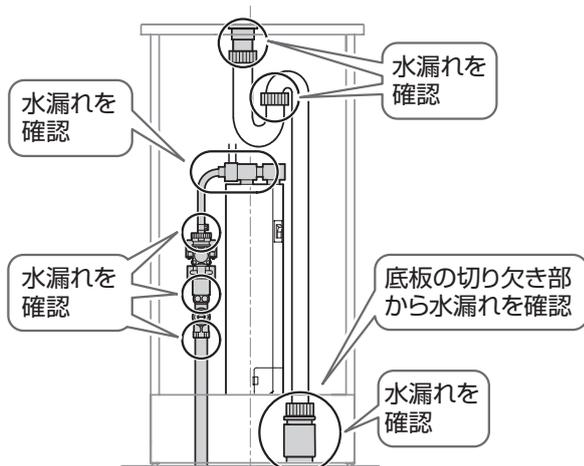
ハンドル式水栓の場合



自動水栓の場合



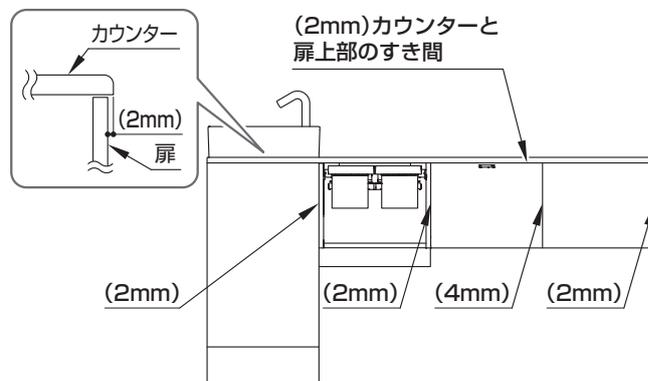
自動水栓(電気温水器付)の場合



5 キャビネットすき間の確認

すき間の調整は、

- ▶P.67「**6** 手洗器キャビネット扉の調整」、
- ▶P.68「**7** スライド扉の調整」、
- ▶P.70「**8** 間口調整フィラー(固定)の調整」を参照



注意

※図はハーフキャビネットの場合

【間口調整フィラー(固定)がある場合】

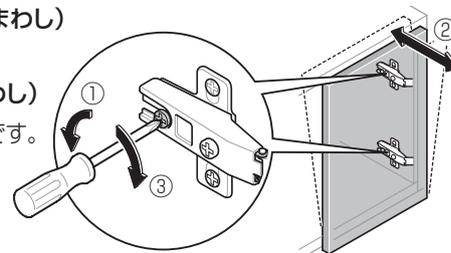
間口調整フィラーを基準にして各扉を調整する。

6 手洗器キャビネット扉の調整

前後を調整(右開き)

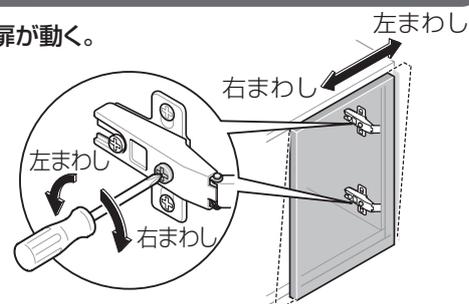
- ①ゆるめる(左まわし)
- ②扉を動かす
- ③しめる(右まわし)

※左開きも同様です。



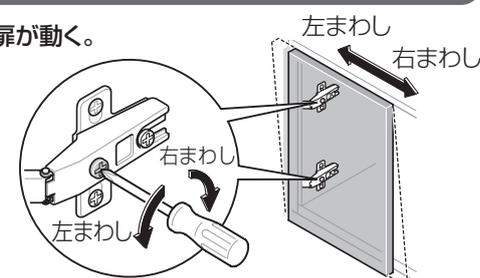
左右を調整(右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



左右を調整(右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



緩衝材の張り付け

扉を開けた時、壁などと当たる場合は
張り付ける



「施工説明書」に同梱
緩衝材

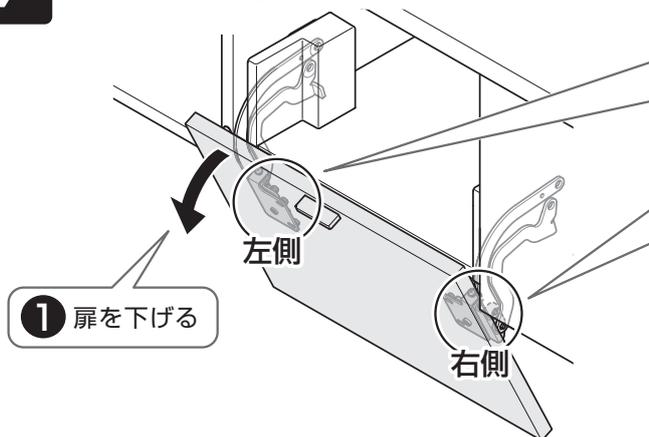
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。

ポイント

張付面は水拭きし、乾燥後張り付ける

ハーフキャビネットの場合

7 スライド扉の調整

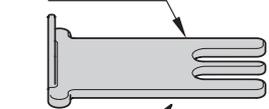


2 スペースを取り外す

【扉裏面を上から覗き込んだ場合】

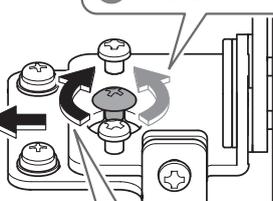
※図は右側の場合

スペース



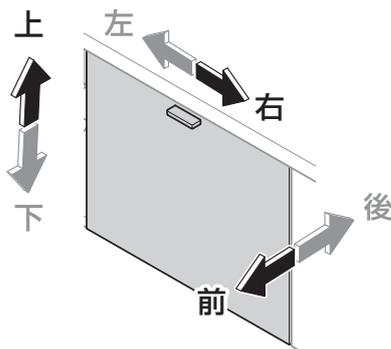
2 スペースを外す
外したスペースは
使用しない

1 ねじをゆるめる

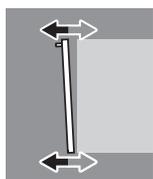


3 ねじを締め付ける

3 扉の調整を行う (前後・左右・上下)

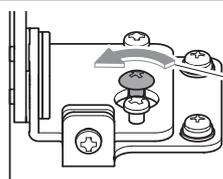


前後に動かす場合

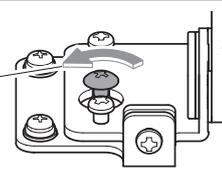


左側

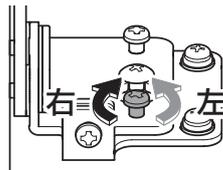
右側



1 少しゆるめる



【上側を動かす場合】

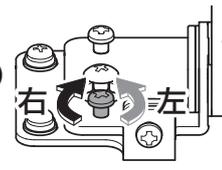


2 ねじを調整する

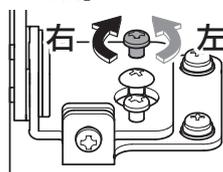
(右回し：扉が前に動きます)

(左回し：扉が後ろに動きます)

3 1のねじを締め付ける



【下側を動かす場合】

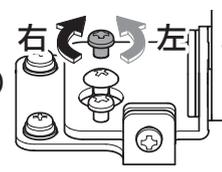


2 ねじを調整する

(右回し：扉が前に動きます)

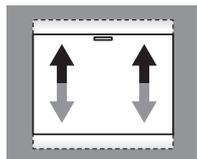
(左回し：扉が後ろに動きます)

3 1のねじを締め付ける



※スライド扉全体を前後に動かす場合は、上側・下側を同時に動かします。

上下に動かす場合

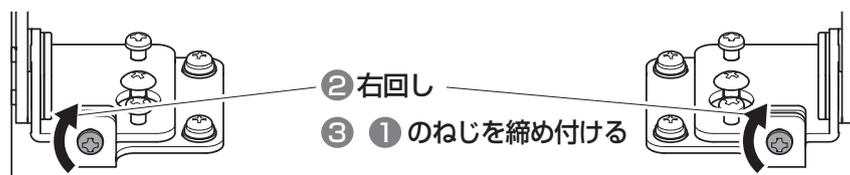


左側

右側



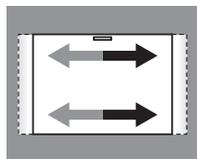
【上に動かす場合】



【下に動かす場合】

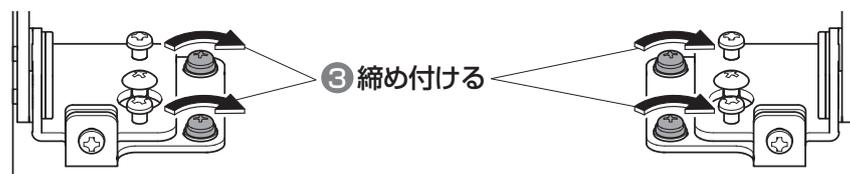
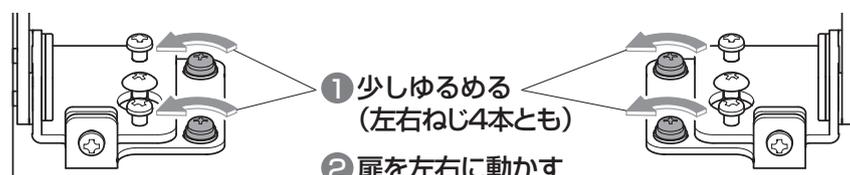


左右に動かす場合



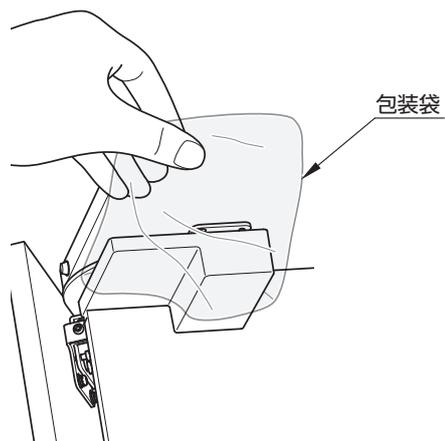
左側

右側



④ カバー(アーム)の包装袋を取り外す

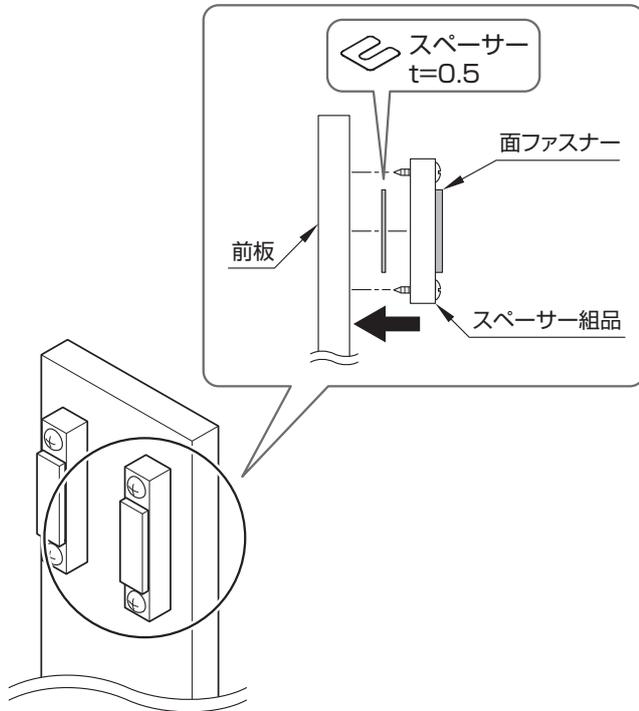
扉調整後、カバー(アーム)の包装袋を取り外す。
※扉調整前は包装袋を外さないこと



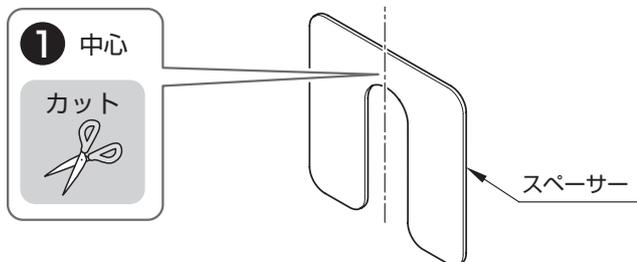
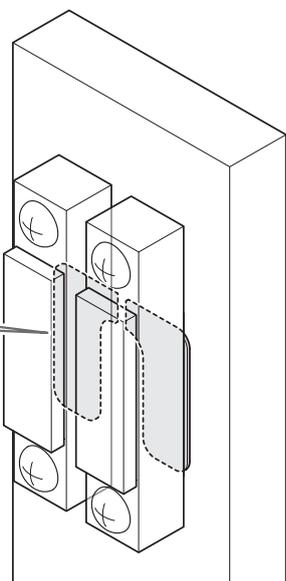
ハーフキャビネットの場合

8 間口調整フィラー(固定)の調整

前板とスペーサー組品の間にスペーサーを挟み、
前板の前後調整をする



前板の幅が狭い場合

**2** 挟む

MEMO

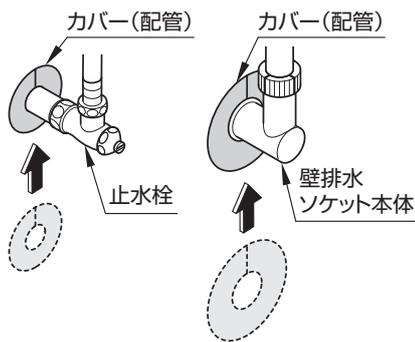
12.カバー(配管)

手洗器なしの場合はP.72へ

1 カバー(配管)の張り付け

壁給水・壁排水の場合

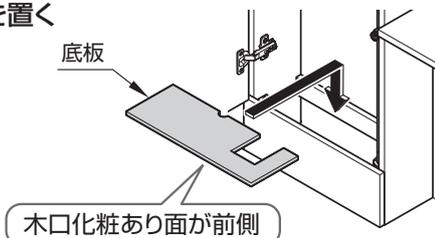
1 背板と給水・排水接続部にカバー(配管)を張り付ける



床給水・床排水の場合

1 底板を置く

※図はMサイズの場合

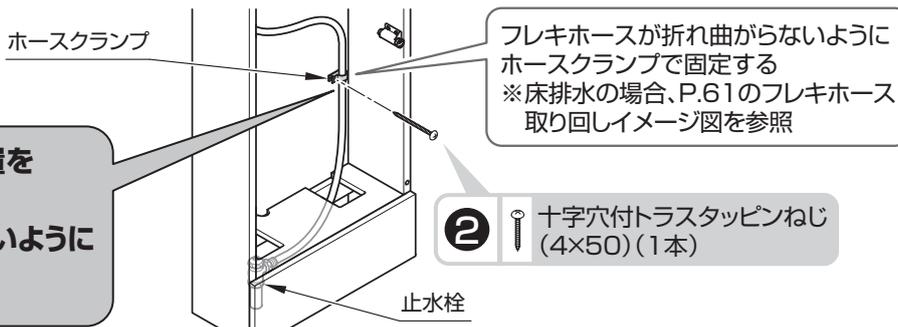


ハンドル式水栓	床・壁給水/床排水	壁給水/壁排水	—
自動水栓	壁給水/床排水	壁給水/壁排水	床給水/床排水
底板の形状	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ

ハンドル式水栓の場合

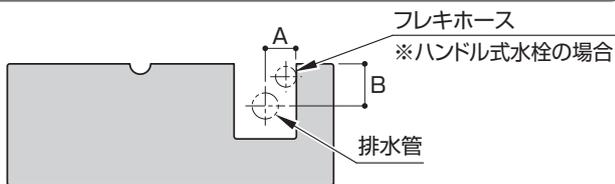
注意

- ・ホースクランプ固定はねじ位置を設置壁側にする
- ・フレキホースと底板が干渉しないように固定する
底板が取り外しにくくなります。

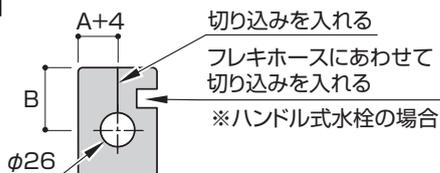


3 底板の形状がⒶⒸの場合、給排水管位置を測り、カバー(配管)をカットする

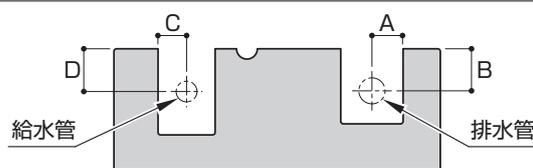
底板の形状Ⓐの場合



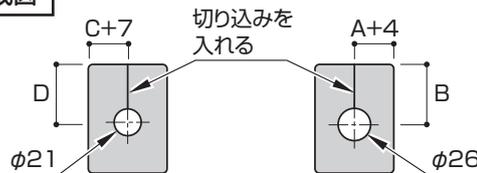
完成図



底板の形状Ⓒの場合

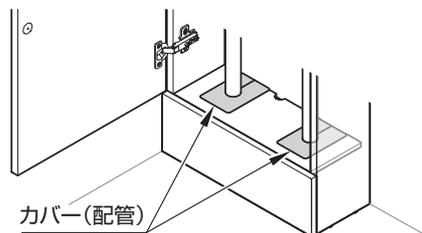


完成図



4 底板にカバー(配管)の剥離紙をはがして張り付ける

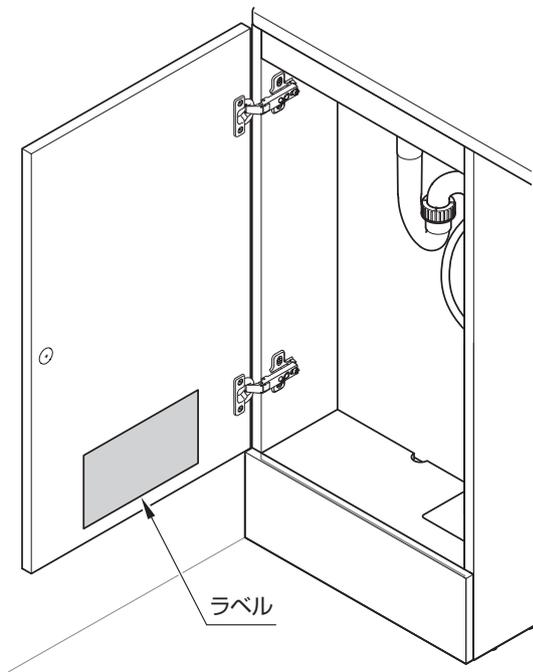
※電気温水器付きの場合は、底板内に漏水がないことを確認してからカバー(配管)を張り付けてください



13.ラベル

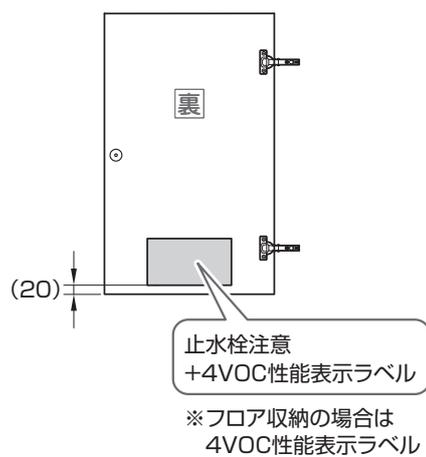
1 ラベルの張り付け

① 扉裏面にラベルを張り付ける



ラベル張り付け位置

図の位置（扉中央下部）にラベルを張り付ける



MEMO

14.シリコン系シール剤

1 シリコン系シール剤の塗布

警告



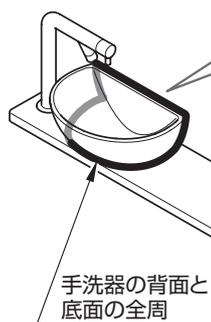
シリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセントに
かかり、火災や感電の原因となります。

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないでください。

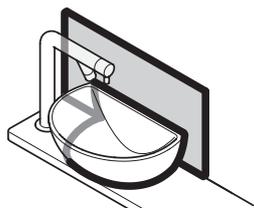
※TOTOおすすめシリコン系シール剤(別途手配)
メジシール(クリア) : YG903S

ベッセルタイプ(丸形)の場合

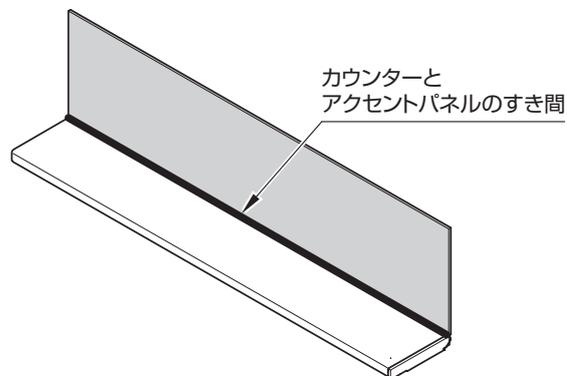
【アクセントパネルなしの場合】



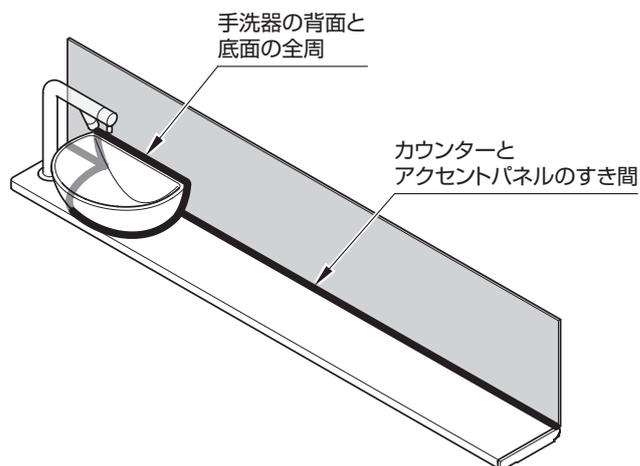
【バックパネルありの場合】



手洗器なしでアクセントパネルありの場合

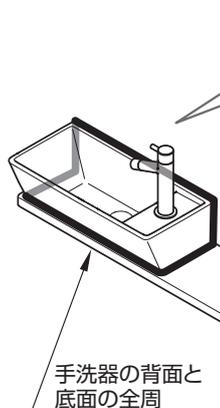


【アクセントパネルありの場合】

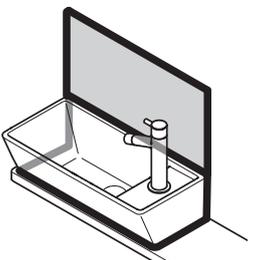


ベッセルタイプ(角形)の場合

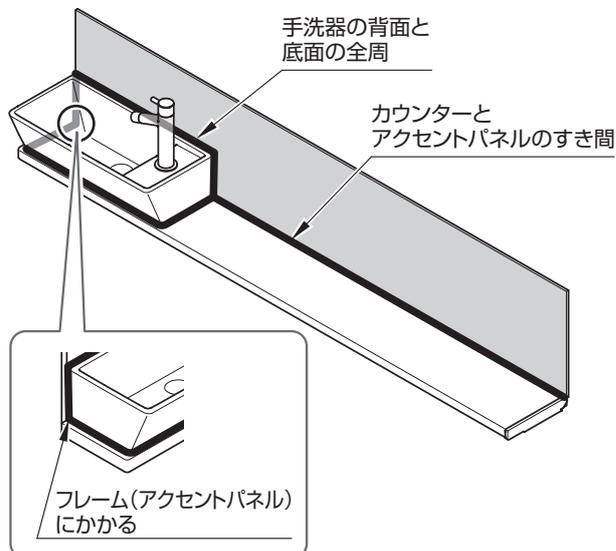
【アクセントパネルなしの場合】



【バックパネルありの場合】



【アクセントパネルありの場合】



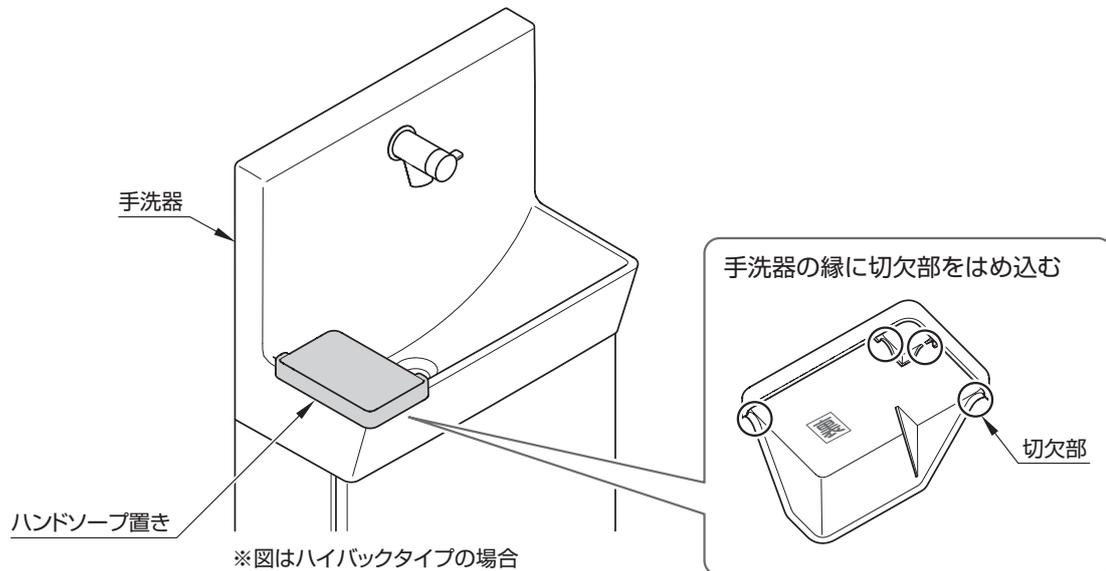
ハイバックタイプ、手洗器なし(アクセントパネルなし)の場合

シリコン系シール剤は不要です。

15.ハンドソープ置き(オプション)

ハンドソープ置きありの場合

1 ハンドソープ置きの取り付け



MEMO

MEMO

